

1949年（昭和24年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
5.21 千葉県知事、千葉大学設備費捻出のため、県下に協力を要請	1.12 「教育公務員特例法」公布（9.1施行）
5.31 千葉大学設置、当初の構成と所在地は以下の通り 本部（事務局、教務厚生部）千葉市矢作町（現千葉市中央区矢作町） 学芸学部（学芸部、教育部4年課程）—千葉市市場町（現千葉市中央区市場町） 学芸学部分校（教育部2年課程）—印旛郡千代田町四街道（現四街道市四街道） 医学部（医学科）—千葉市矢作町 医学部附属病院（本院、習志野分院）—千葉市亥鼻町（現千葉市中央区亥鼻）、千葉郡津田沼町大久保（現習志野市泉町） 薬学部（薬学科）—千葉市亥鼻町 工芸学部（学科制を取らない）—松戸市岩瀬園芸学部（園芸学科、農芸化学科、造園学科、附属農場）—松戸市戸定（現松戸市松戸） 腐敗研究所（腐敗研究部、微生物化学部）—千葉郡津田沼町大久保 附属図書館（本館、学芸学部分館、医学部分館、工芸学部分館、園芸学部分館）—該当各地区に分散設置	2.16 第3次吉田茂内閣成立、高瀬莊太郎、文部大臣に就任 3.7 ドッジ・ライン発表 4.12 大学基準協会、「大学院基準」を決定 4.25 1ドル360円の単一為替レート実施 5.31 「行政機関職員定員法」公布 5.31 「文部省設置法」公布（6.1施行） 5.31 「国立学校設置法」公布 ※新制国立大学69校設置 5.31 「教育職員免許法」公布（9.1施行） 5.31 東京大学に生産技術研究所を附置 7.6 下山事件 7.15 三鷹事件 8.17 松川事件 9.15 GHQ、シャウプ使節団の税制改革報告書（シャウプ勧告）を政府に伝達 10.1 中華人民共和国成立 10.20 日本戦歿学生手記編集委員会『きけわだつみのこえ』出版 11.3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞決定 12.15 「私立学校法」公布
5.31 小池敬事（千葉医科大学長）、初代学長に就任	
6.15 第1回千葉大学入学試験（～6.17）※2期校	
7.20 第1回入学式（医学部講堂）※定員800名・入学者652名	
10.6 千葉大学記章（バッジ）制定	
11.5 千葉大学開学式（医学部講堂）	
11.21 一般教養課程（学生自治会）第1回学生大会開催（12.2同学生自治会結成発足）	
12.15 千葉県、第5回宝くじ「千葉大学振興宝くじ」発行（～1950.1.14）	

1950年（昭和25年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 旧制東京医科歯科大学予科を包括し、学芸学部を改組して、文理学部（千葉市小中台町（現千葉市稲毛区小中台）〔旧陸軍防空学校施設〕）、教育学部（4年課程）、教育学	1.7 千円紙幣（聖徳太子）発行 2.3 大学設置委員会、大学基準協会設定の「大学院基準」を採択 4.3 「一般職の職員の給与に関する法律」

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>部分校（2年課程）を設置 ※文理学部には、人文科学、社会科学、自然科学の3課程が置かれ、併せて全学の学部学生のための一般教養課程も置かれた</p> <p>4.1 教務厚生部を文理学部構内へ移転</p> <p>4.1 附属図書館本館を文理学部構内に開設（旧陸軍防空学校の施設を改造）※教育学部、医学部、薬学部、工芸学部及び園芸学部に分館が、文理学部と腐敗研究所に図書室が置かれた</p> <p>6.17 文理学部校舎落成祝賀会</p> <p>7.15 園芸学部熱川暖地農場（静岡県）開設</p> <p>10.14 学生自治会常任委員会、レッドページ反対等要求貫徹のため「闘争宣言」を発表</p> <p>11.30 評議会、本学の統合整備計画の基本方針（東京大学生産技術研究所敷地を本学へ所管換し統合整備する）を確認</p>	<p>公布</p> <p>4.22 日本戦没学生記念会「わだつみ会」結成（1958.8.18解散）</p> <p>4.30 「図書館法」公布</p> <p>5.6 吉田茂内閣、天野貞祐、文部大臣に就任</p> <p>6.25 朝鮮戦争はじまる</p> <p>7.2 金閣寺、放火で全焼</p> <p>7.13 国立大学協会創立</p> <p>7.28 新聞・放送等報道機関のレッドページ始まる</p> <p>8.9 文部省、大学設置委員会を大学設置審議会に改組</p> <p>8.10 「警察予備隊令」公布</p> <p>9.1 全学連、レッドページ反対運動を開始</p> <p>10.17 早稲田大学学生大会で143人検挙</p> <p>12.7 池田勇人蔵相「貧乏人は麦を食え」発言</p>

1951年（昭和26年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 医学部に医学専門課程を設置</p> <p>4.1 工芸学部を工学部に改組して、5学科（工業意匠学科、建築学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科）を設置</p> <p>4.1 教育学部の4年課程および2年課程にそれぞれ小学校教員課程および中学校教員課程の履修課程を設置</p> <p>4.1 園芸学部を農業別科を設置 ※千葉農業専門学校実科の切替え</p> <p>4.1 医学部附属看護学校を設置 ※医学部附属病院厚生女学部の改組</p> <p>4.1 教育学部の附属学校として、附属第一小学校、附属第二小学校、附属第一中学校、附属第二中学校、附属幼稚園を設置 ※千葉師範学校附属学校の切替え</p> <p>6.1 大学設置審議会第9特別委員会、千葉大学は東京大学生産技術研究所敷地（千葉市弥生町（現千葉市稲毛区弥生町））に統合することが適当であると決定し、本学に通知</p> <p>7.18 附属図書館閲覧業務を開始</p> <p>8.1 「千葉大学学報」第1号を発行</p> <p>10.1 学生健康相談室開設</p>	<p>4.2 五百円紙幣（岩倉具視）発行</p> <p>4.24 桜木町事故</p> <p>6.2 「教育公務員特例法」改正</p> <p>6.18 大学設置審議会、大学の整備統合方針等を国立大学長会議に報告発表</p> <p>6.22 「大学入学資格検定規程」制定</p> <p>7.2 日本、ユネスコに加盟</p> <p>7.28 （社団法人）日本私立大学連盟設立</p> <p>7.1 連合国軍総司令部民間情報教育局（GHQ CIE）「高等教育の改善に対する勧告」を日本の大学関係諸機関に配布</p> <p>9.8 対日講和条約、日米安全保障条約調印</p> <p>12.1 五十円紙幣（高橋是清）発行</p> <p>12.1 「博物館法」公布</p>

1952年（昭和27年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 千葉大学工業短期大学部（印刷科、写真科／夜間・3年課程）を設置（松戸市岩瀬）	2.20 東京大学ボボロ事件
4.1 文理学部に4系列の履修課程（文科系、理科系、医学進学系、歯学進学系）を設置	3.11 「学校基本調査規則」制定
4.1 腐敗研究所に抗生物質部を増設	4.28 対日平和条約、安全保障条約発効、GHQ解消
4.1 健康管理審議会を設置	5.1 皇居前広場でメーデー流血事件
9.一 文部省、東京大学、同生産技術研究所、千葉大学の4者会議 ※将来生産技術研究所が他に移転する場合には、その敷地・建物を全面的に本学の統合整備に提供することを確認	6.6 中央教育審議会設置（文部大臣の諮問機関）※教育刷新審議会廃止
10.1 教務厚生部を学生部（教務課、学生課、厚生課）に改称	6.21 ユネスコ国内委員会設置
11.1 千葉大学祭（～11.3）	7.21 「破壊活動防止法」公布、公安調査庁設置
11.23 千葉大学稲毛祭（～11.24）	8.12 吉田茂内閣改造、岡野清豪、文部大臣に就任
	8.30 「文部省組織令」公布
	10.30 第4次吉田茂内閣成立、岡野清豪、文部大臣に再任

1953年（昭和28年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.18 第1回千葉大学卒業式挙行（医学部講堂）	2.1 NHKテレビ本放送開始
4.1 教育学部の履修課程の名称を改める 第一部（4年課程） 第一教育科（小学校教員課程）、第二教育科（中学校教員課程） 第二部（2年課程） 第一教育科（小学校教員課程）、第二教育科（中学校教員課程）	2.28 吉田茂首相、衆議院予算委員会で「バカヤロー」発言（→3.14衆議院解散）
4.1 園芸学部に総合農学科を増設	4.1 「学位規則」制定
4.30 第1回学長選挙を実施、小池敬事学長再選	4.1 国立大学12校（旧7帝大、東教大、東工大、一橋大、神戸大、広島大）に新制大学院を設置 ※国立新制大学院発足
6.1 小池敬事、学長に再任	4.22 文部省「国立大学の評議会に関する暫定措置を定める規則」制定
11.3 初の統一大学祭開催（～11.7）	4.23 文部省「国立大学学長選考等に関する事項（第1案）（第2案）」「国立大学学部長選考等に関する要項（案）」を通達
	5.21 第5次吉田茂内閣成立、大達茂雄、文部大臣に就任
	7.25 中央教育審議会「義務教育に関する答申」 ※戦後の教育全般の改善について
	7.27 朝鮮戦争休戦協定調印
	8.8 中央教育審議会「社会科教育の改善に関する答申」
	8.12 ソ連で最初の水爆実験
	8.23 「日本育英会法」公布
	8.28 民間テレビ放送開始
	10.31 「学校教育法施行令」公布
	12.1 百円紙幣（板垣退助）発行
	12.25 奄美群島日本復帰

1954年（昭和29年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.30 園芸学部『千葉農業専門学校沿革史』発行	1.18 中央教育審議会「教員の政治的中立維持に関する答申」
4.1 文理学部に5系列の履修課程（人文科学系、社会科学系、自然科学系、医学進学系、歯学進学系）を設置	2.8 中央教育審議会「医学および歯学の教育に関する答申」
4.1 園芸学部にて園芸学専攻科を設置	2.23 造船疑獄
4.1 千葉大学学生健康保険組合を設立	3.1 ビキニ水爆実験で第五福竜丸被災
11.23（勤労感謝の日）千葉大学永年勤続者感謝状贈呈式	3.31 「学校教育法」一部改正 ※医・歯学教育6年以上
	4.1 国費外国人留学生制度を実施
	6.7 「国立大学の講座に関する省令」公布
	7.1 防衛庁・自衛隊発足
	7.1 警察庁・都道府県警察発足
	7.1 千葉港開港
	8.23 中央教育審議会「義務教育学校教員給与に関する答申」
	9.2 小平邦彦、フィールズ賞受賞
	9.26 洞爺丸遭難事故
	11.15 中央教育審議会「大学入学者選考およびこれに関連する事項についての答申」
	12.6 中央教育審議会「特殊教育ならびにへき地教育振興に関する答申」
	12.10 第1次鳩山一郎内閣成立、安藤正純、文部大臣に就任
	12.20 中央教育審議会「かなの教え方についての答申」
	12.23 日本経営者団体連盟「当面の教育制度改善に関する要望」を文部省に提出 ※法文系偏重の打破、専門教育の充実、6年制専門大学の設置など

1955年（昭和30年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 医学部に医学進学課程を設置	3.19 第2次鳩山一郎内閣成立、松村謙三、文部大臣に就任
4.1 文理学部に東京医科歯科大学の医学進学課程および歯学進学課程を設置	4.18 アジア、アフリカ会議（バンドン会議）開く（植民地主義反対、平和10原則の決議採択）
4.1 大学院医学研究科（生理系、病理系、社会医学系、内科系、外科系／博士課程）を設置	5.11 紫雲丸衝突事故
4.1 工学部に工学専攻科を設置	8.6 広島で第1回原水爆禁止世界大会
7.1 大学院委員会を設置	8.24 森永ヒ素ミルク事件
7.18 中国科学院長郭沫若氏から文理学部へ図書（3,000冊）寄贈（12.5来学）	9.1 五十円硬貨発行
9.8 大学院医学研究科入学式（入学者15名）	9.12 中央教育審議会「私立学校教育の振興について」答申

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	11.22 第3次鳩山一郎内閣成立、清瀬一郎、文部大臣に就任 12.5 中央教育審議会「教科書制度の改善方策について」答申 12.19 「原子力基本法」「原子力委員会設置法」公布

1956年（昭和31年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.23 千葉大学統合整備計画 ※評議会、東京大学生産技術研究所敷地西側3分の2に本部及び文理学部、教育学部、工学部、園芸学部の4学部を統合することを決定 3.3 入学試験実施（～3.5）※この年から1期校となる 4.1 薬学部に薬学専攻科を設置 4.1 腐敗研究所に食中毒研究部を増設 9.7 第5回関東甲信越大学体育大会を当番大学として開催（～9.9） 10.13 腐敗研究所創立10周年記念式	3.14 大学設置審議会「博士の学位の種類について」答申 3.24 「日本学士院法」公布 3.31 「科学技術庁設置法」公布（5.19開庁） 4.1 医薬分業実施 5.1 水俣保健所が「原因不明の奇病発生」として水俣病を公表 6.15 東海村日本原子力研究所開所 7.1 気象庁発足 7.9 中央教育審議会「教育・学術・文化に関する国際交流の促進について」答申 7.17 「もはや戦後ではない」経済白書発表 9.28 初の「全国学力テスト」実施 10.19 日ソ共同宣言 ※ソ連と国交回復 10.22 「大学設置基準」制定 10.29 第2次中東戦争（スエズ戦争） 11.5 中央教育審議会「公立小・中学校の統合方策について」答申 12.10 中央教育審議会「短期大学制度の改善について」答申 12.18 国際連合総会、日本の国際連合加盟を可決 12.23 石橋湛山内閣成立、灘尾弘吉、文部大臣に就任

1957年（昭和32年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.13 山岳部員、白馬岳で二重遭難事故 3.23 園芸学部集会所竣工 4.1 医学部附属診療エックス線技師学校設置 4.1 工業短期大学部に木材工芸科を増設 4.30 学長選挙実施、小林政一前工学部長当選	2.25 第1次岸信介内閣成立、灘尾弘吉、文部大臣に再任 4.1 科学技術系学生8,000人増募計画の実施に着手（1960年度まで） 6.29 科学技術庁に放射線医学総合研究所を設置 7.10 岸信介内閣改造、松永東、文部大臣に

千葉大学関係	高等教育・社会一般
6.1 小林政一、第2代学長に就任 9.26 評議会、本学統合整備計画を再検討し、園芸学部は松戸地区に残ることを決定	就任 10.4 ソ連、世界最初の人工衛星スプートニクの打上げに成功 11.5 文部省、「科学技術者養成拡充計画」を公表 11.11 中央教育審議会「科学技術教育の振興方策について」答申 11.29 文部省、科学技術教育振興方策を公表 10.1 五千円紙幣（聖徳太子）発行 12.11 百円硬貨発行

1958年（昭和33年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 工学部に写真印刷工学科（写真映画専攻、印刷専攻）を増設 4.1 医学部附属助産婦学校設置 4.1 文理学部の東京医科歯科大学医学・歯学進学課程の入学を停止 6.29 ヨット部のヨット遭難 11.1 園芸学部創立50周年記念式典	1.31 米国、人工衛星打上げに成功 3.9 関門トンネル開通（世界初の海底トンネル） 4.10 「学校保健法」公布 4.28 中央教育審議会「勤労青少年教育の振興方策について」答申 5.1 「国家公務員共済組合法」公布 6.12 第2次岸信介内閣成立、灘尾弘吉、文部大臣に就任（2度目） 7.28 中央教育審議会「教員養成制度の改善方策について」答申 12.1 一万円紙幣（聖徳太子）発行 12.23 東京タワー完成（333m） 12.31 第2次岸信介内閣、橋本龍伍（厚生大臣）、文部大臣を兼任（臨時代理）

1959年（昭和34年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.10 谷川岳で学生2名転落事故 3.20 「千葉大学学位規程」制定 ※「千葉医科大学学位規程」廃止 3.23 大学院学位授与式（医学部本館講堂） 3.- 千葉市亥鼻町に医学部基礎医学教室新校舎竣工 ※本年7～9月に全教室の矢作町からの移転完了。なお医学部跡に薬学部が移転 3.31 文理学部の東京医科歯科大学医学・歯学進学課程を廃止 4.1 医学部附属肺癌研究施設を設置 4.1 工業短期大学部に工業意匠科を増設	1.1 「メートル法」施行 1.10 NHK教育テレビ本放送開始 1.12 第2次岸信介内閣、橋本龍伍、文部大臣専任 1.14 南極観測隊が昭和基地に残したタロとジロの生存を確認 2.20 総理府に「科学技術会議」設置 3.2 中央教育審議会「育英奨学および援護に関する事業の振興方策について」答申 4.10 皇太子ご成婚 4.15 安保改定阻止国民会議第1次統一行動 6.18 岸信介内閣改造、松田竹千代、文部大

第3部年表

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	臣に就任 9.26 伊勢湾台風 10.1 日本学術振興会において流動研究員、奨励研究員制度発足 10.31 文部省、教育白書「わが国の教育水準」を公表 11.2 水俣病の原因が工場汚染水と判明 11.27 安保改定デモ隊国会構内に入る 12.7 中央教育審議会「特殊教育の充実振興について」答申

1960年（昭和35年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.11 千葉大学歌・千葉大学旗制定 2.11 放射線同位元素委員会を設置 4.1 文理学部に留学生課程を設置（理科系のため）※文科系は東京外国語大学 6.18 多くの学生、授業放棄に入る（～6.23） 7.- 薬学部、矢作町の医学部跡へ移転 10.22 医学部の発祥地（現千葉市中央区院内）に「共立病院跡」記念碑を建立 11.4 医学部創立85周年記念式典	1.19 日米安全保障条約改定に調印 1.25 三井三池闘争 5.19 衆議院、安保審議会で混乱、警官隊導入、自民党単独で新安保条約採択（6.23新安保条約発効） 6.15 安保改定阻止国民会議統一行動、全学連国会構内で警官隊と乱闘（東大女子学生1人死亡） 6.16 東大学長、6月15日の国会デモ事件に関して民主主義的責任政治の回復を要望する声明を公表 6.17 国立大学協会、大学の秩序確立に関して声明を公表 6.18 松田文部大臣、国立大学長会議で大学教官の責任と学園の秩序確立について要望 7.19 第1次池田勇人内閣成立、荒木萬壽夫、文部大臣に就任 9.10 カラーテレビ本放送開始 10.4 科学技術会議「10年後を目標とする科学技術振興の総合的基本方策について」答申 10.12 社会党浅沼稲次郎委員長演説中に刺殺 11.8 文部省「国立大学施設の現状と対策」発表 12.8 第2次池田勇人内閣成立、荒木萬壽夫、文部大臣に再任 12.27 「国民所得倍増計画」閣議決定

1961年（昭和36年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.31 教育学部音楽教室新築落成	4.1 国民年金制度発足

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 教育学部分校（2年制）の学生募集停止	4.1 「国立の学校における授業料その他の費用に関する省令」公布
4.1 学生部に次長を置く	4.1 1961年度から科学技術系学生16,000人増募計画の実施に着手（1970年度まで）
4.14 留学生課程、東京大学生産技術研究所（千葉市弥生町）構内の校舎「留学生課程西千葉仮教室」へ移転	4.12 世界初の宇宙飛行士ガガーリングが地球を1周して帰還
4.27 学長選挙実施、荒木直躬前医学部長当選	5.16 韓国で軍事クーデター
5.9 関東財務局国有財産審議会、東京大学生産技術研究所敷地約495,000㎡のうち約389,170㎡を本学に移管決定。なお、文理学部、教育学部分校、工学部の敷地は大蔵省へ返還することに決定	6.17 「学校教育法」改正 ※高等専門学校法の法制化（5年制高等専門学校を1962年度から設置）
6.1 荒木直躬、第3代学長に就任	8.7 水俣病が公害によるものとして初の公式認定
6.一 園芸学部構内通過の国道6号線「松戸隧道」竣工	8.13 東ドイツで東西ベルリン境界封鎖（後のベルリンの壁）
	8.25 日経連・経団連「技術教育の画期的振興策の確立推進に関する要望」を政府・国会に提出 ※産学共同の推進、理工系増員計画の繰り上げなど
	9.1 文部省、科学技術系学生増募計画を16,000人から20,000人に改訂、目標年度を1964（昭和39）年度に繰り上げる
	9.16 第2室戸台風
	9.30 経済協力開発機構（OECD）発足

1962年（昭和37年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.30 荒木直躬学長逝去（2.7大学葬）	3.31 旧学位令による学位授与終了
1.30 谷川久治医学部長、学長事務取扱に就任	4.1 国立5大学の教員養成学部で養護学校教員養成課程を設置
2.27 学長選挙実施、谷川久治医学部長兼学長事務取扱が当選	4.1 工業高等専門学校（5年制）発足 ※国立12、公立2、私立5
3.2 谷川久治、第4代学長に就任	5.3 三河島事故
3.31 教育学部分校を廃止	8.1 国民年金支給開始
3.31 医学部附属病院習志野分院を廃止	8.13 堀江謙一、小型ヨットによる太平洋単独無寄港横断に成功（日本人初）
4.1 工学部写真印刷工学科を拡充改組して、写真工学科および印刷工学科とする	8.24 三宅島噴火
4.一 教育学部、附属学校を除き西千葉地区（東京大学生産技術研究所跡）へ移転	10.22 米ケネディ大統領、ソ連の核ミサイル配備に対し海上封鎖を宣言 ※キューバ危機
4.一 文理学部留学生課程、小中台町から西千葉地区へ移転（前年4月から一部移転）	
5.18 事務局、矢作町から西千葉地区へ移転	

1963年（昭和38年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.25 園芸学部新校舎竣工	1.28 中央教育審議会「大学教育の改善について」答申
3.31 文理学部新校舎（自然科学系）竣工	2.26 熊本大学医学部、水俣病はチッソ水銀が原因と発表
4.1 留学生課程、文理学部から分離し独立の課程となる	3.31 「国立大学の大学院に置く研究科の名称および課程を定める政令」公布
4.1 工学部附属天然色工学研究施設を設置	3.31 「国立学校設置法」改正 ※一般教養に関する教育を一括して行うための教養部設置など
4.1 腐敗研究所に食品防腐剤研究部を増設	3.31 吉展ちゃん誘拐事件
5.29 本学のロールワリン・ヒマール学術調査隊、未踏峰ヌンプール（6,958m）の初登頂に成功	4.1 国立学校の授業料等値上げ ※大学学部は年額9,000円から12,000円に
7.5 附属図書館、小中台町から西千葉地区へ移転	4.28 国鉄「千葉駅」完成移転
8.21 文理学部、学生部、小中台町から西千葉地区へ移転	7.18 池田勇人内閣改造、灘尾弘吉、文部大臣に就任（3度目）
11.1 西千葉地区における第1回千葉大祭	10.26 原子力研究所、日本で初めて原子力発電に成功
11.- 千葉県議会、本学工学部大学院の設置運動を起こし、「千葉大学工学部大学院設置促進期成同盟」（会長、県知事）が結成される	11.1 新千円紙幣（伊藤博文）発行
	11.9 鶴見事故
	11.22 米通信衛星による日米間テレビ中継成功
	11.22 米ケネディ大統領暗殺される
	12.9 第3次池田勇人内閣成立、灘尾弘吉、文部大臣に再任

1964年（昭和39年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.31 薬学部薬学専攻科を廃止	2.25 「国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令」「国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令」公布
3.31 工学部および工業短期大学部新校舎竣工	4.1 「国立学校設置法施行規則」全部改正 ※保健管理センターの設置など
3.- 医学部記念講堂竣工（9.27落成式）	4.3 「国立学校特別会計法」公布 ※附属病院の施設整備のための借入金など
4.1 留学生課程に換えて、留学生部を設置	4.28 日本、OECDに正式加盟
4.1 大学院薬学研究科（薬学専攻／修士課程）を設置	6.4 国立教育会館設立
4.1 医学部附属農山村医学研究施設を設置	6.16 新潟地震
4.1 事務局に部制が施行され、庶務部（庶務課、人事課）、経理部（主計課、経理課）、施設課の2部5課となる	7.18 池田勇人内閣改造、愛知揆一、文部大臣に就任
5.14 補導委員会を廃止、厚生補導委員会を設置	8.2 ベトナム戦争はじまる（トンキン湾事件）
6.27 評議会、薬学部の西千葉地区への統合決定	8.26 東京電力千住火力発電所（東京都足立区）の4本煙突（お化け煙突）解体開始（11月末解体完了）
7.23 工学部（附属天然色工学研究施設を除く）	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
く) および工業短期大学部、松戸市岩瀬から西千葉地区へ移転 7.- 工学部に電子計算機室を設置 8.25 西千葉地区にプール(25m)完成、プール開きを行う 8.25 千葉大学工業短期大学部拡充強化後援会(会長、千葉県知事)設立 9.1 附属図書館運営委員会を設置 9.16 附属図書館の教育学部分館、工学部分館、文理学部図書室を廃止して、本館に統合 9.- 『千葉大学医学部八十五年史』発刊 10.31 本学創立15周年並びに工学部・工業短期大学部新築落成記念式典 11.2 学生部編集「学園だより」第1号発行	8.31 文部省「大学拡充整備計画」決定 ※1965～1966年度で68,000人を増募 10.1 東海道新幹線開業(東京-新大阪間) 10.10 第18回オリンピック東京大会開催(～10.24) 11.8 パラリンピック東京大会開催 11.9 第1次佐藤栄作内閣成立、愛知揆一、文部大臣に再任

1965年(昭和40年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.5 工学部天然色工学研究施設焼失 3.25 教育学部教室研究室竣工 3.28 教育学部附属中学校校舎、体育館竣工 3.- 教育学部附属中学校、千葉市市場町および印旛郡四街道町から西千葉地区へ移転 3.- 文理学部一般教育関係新校舎竣工 4.1 大学院工学研究科(工業意匠学専攻、建築学専攻、機械工学専攻、電気工学専攻、工業化学専攻/修士課程)を設置 4.1 教育学部の第一・第二教育科をそれぞれ小学校教員養成課程、中学校教員養成課程に改める 4.1 教育学部に養護学校教員養成課程を増設 4.1 教育学部に教育専攻科を設置 4.1 教育学部附属第一中学校および附属第二中学校を統合して、教育学部附属中学校とする 4.1 工業短期大学部に機械科及び電気科を増設 4.1 事務局施設課に部制が施行され、施設部(企画課、施設課)となる 6.24 千葉大学生生活協同組合創立総会 8.27 第14回関東甲信越大学体育大会を当番大学として開催(～8.29) 10.4 千葉大学生生活協同組合開店	2.7 米軍機、北ベトナムへの爆撃(北爆)を開始 3.31 「国立養護教諭養成所設置法」公布 4.22 大学設置審議会設置 ※1950年設置の同審議会を改組 6.3 佐藤栄作内閣改造、中村梅吉、文部大臣に就任 6.22 日韓基本条約調印 8.30 文部省「大学入学志願者急増期間中における大学の拡充整備について」発表 10.21 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞決定 11.10 日本原子力研究所東海発電所、初めて営業用原子力発電に成功 11.19 戦後初の赤字国債発行を閣議決定

1966年（昭和41年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.13 評議会、矢作・亥鼻地区の統合整備計画を決定 ※薬学部移転の跡地に新附属病院を新築	4.5 東京大学に全国共同利用の大型計算機センターを設置
1.31 学長選挙実施（～2.1）、谷川久治学長当選	5.16 中国で文化大革命始まる
2.- 教育学部附属小学校校舎竣工	6.28 三里塚空港反対同盟結成
3.2 谷川久治、学長に再任	6.29 ビートルズ来日（～7.3離日）
3.22 教育学部四街道地区施設移転式 ※教育学部附属小学校および附属幼稚園が千葉市市場町および印旛郡四街道町から西千葉地区へ移転、これにより教育学部全施設の統合移転完了	7.4 政府、新東京国際空港建設地を成田市に決定（7.5関係政令公布）
3.31 教育学部附属幼稚園校舎竣工（6.1落成式）	8.1 佐藤栄作内閣改造、有田喜一、文部大臣に就任
3.31 薬学部新校舎竣工	10.31 中央教育審議会「後期中等教育の拡充整備について」答申
4.1 薬学部に製薬化学科を増設	12.1 「ひのえうま」で出生数136万974人（前年比25%減）
4.1 工学部に合成化学科を増設	12.3 佐藤栄作内閣改造、剣木亨弘、文部大臣に就任
4.1 大学院工学研究科（修士課程）に写真工学専攻を増設	
4.1 工業短期大学部に工業化学科を増設	
4.1 医学部附属脳機能研究施設を設置	
4.1 医学部附属病院に中央検査部を設置	
4.1 教育学部附属第一小学校および附属第二小学校を統合して教育学部附属小学校となる	
7.- 薬学部、矢作町から西千葉地区へ移転	
11.9 教育学部、校舎落成並びに附属学校統合記念式典 ※「師道」の石碑の除幕式を行う	

1967年（昭和42年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.31 工学部工学専攻科を廃止	2.11 初の「建国記念の日」
3.- 薬学部新校舎（製薬化学科）竣工	2.17 第2次佐藤栄作内閣成立、剣木亨弘、文部大臣に再任
3.- 工学部新校舎（合成化学科、天然色工学研究施設）竣工	3.18 千葉県文化会館完成
3.- 西千葉地区厚生施設（食堂）、体育館竣工	6.5 イスラエルとアラブ諸国交戦（第3次中東戦争）
3.- 市場地区敷地（現千葉市中央区市場町）を県に譲渡 ※1966年、1967年の2回に分けて譲渡	7.1 ヨーロッパ共同体（EC）成立
4.1 園芸学部の総合農学科を改組し、農業生産管理学科とする	8.1 （財）日本学術振興会を母体として特殊法人日本学術振興会を設立（9.21発足）
4.1 教育学部小学校教員養成課程に選修制	8.3 「公害対策基本法」公布
	8.8 東南アジア諸国連合（ASEAN）結成
	9.10 「学術審議会」設置

千葉大学関係	高等教育・社会一般
設置 4.1 大学院工学研究科（修士課程）に印刷工学専攻を増設 4.1 附属図書館の薬学部分館を廃止、本館に統合 6.1 腐敗研究所に有害真菌研究部を増設 7.- 工業短期大学部新校舎竣工 8.- 工学部附属天然色工学研究施設が松戸市岩瀬から西千葉地区へ移転 12.25 文部省内に千葉大学附属病院建設計画準備会設置（文部大臣裁定）	9.18 文部省、「大学の授業に支障のない限り自衛官の入学は認めるべきである」との見解を表明 10.20 吉田茂元内閣総理大臣逝去 ※10.31戦後初の国葬 11.25 佐藤栄作内閣改造、灘尾弘吉、文部大臣に就任（4度目） 12.1 学術審議会「学術に関する当面の基本的な施策について」第1次答申

1968年（昭和43年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.30 学長選挙実施、川喜田愛郎医学部教授当選 3.2 川喜田愛郎、第5代学長に就任 3.- 医学部附属病院で臨床研修医（登録医）制度反対スト 4.1 文理学部を拡充改組して、人文学部（人文学科、法経学科）、理学部（数学科、物理学科、化学科、生物学科）および教養部を設置 4.1 教育学部に幼稚園教員養成課程を増設 4.30 附属図書館本館竣工（8.28落成式） 5.- 医学部附属病院でインターン制度廃止 10.- 工業短期大学部教授会に対して、同部学友会が11項目要求書提出 ※この頃から同部の自衛官通入学問題が起きる 11.5 教育学部臨海実習所建設事業会、館山市大賀西台地に臨海実習所を建築	1.29 東京大学、研修医問題でスト ※いわゆる東大紛争の発端となる 2.12 日本初のレトルト食品「ボンカレー」発売 3.28 東京大学、安田講堂が占拠され、卒業式中止 4.12 霞が関ビル（地上36階）完成 4.25 東名高速道路営業開始（一部区間） 5.3 バリ大学文学部閉鎖 ※五月革命 5.8 政府、富山県のイタイイタイ病を公害病と認定 5.16 十勝沖地震 5.27 日本大学、使途不明金事件で全学共闘会議結成（6.11学内で乱闘） 6.10 「大気汚染防止法」「騒音規制法」公布 6.15 文化庁設置 6.15 東京大学、研修医問題で安田講堂占拠 6.26 小笠原諸島返還 7.1 郵便番号制スタート 9.26 水俣病・阿賀野川有機水銀中毒、公害病に認定 10.17 川端康成、ノーベル文学賞受賞決定 10.21 国際反戦デー、新宿騒乱事件 10.23 明治百年記念式典 11.1 東大、大河内学長、東大紛争の責任をとって辞任 11.30 佐藤栄作内閣改造、坂田道太、文部大臣に就任 12.6 文部省、「大学問題委員会」を設置 12.10 東京府中市で現金3億円奪われる（3

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	億円事件) ※1975.12.10時効成立 12.29 文部省、東京大学と協議し、入学試験中止を決定

1969年(昭和44年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.11 工業短期大学部学友会、自衛官通入学問題で同部教授会に公開質問状	1.18 東京大学、機動隊の出動により安田講堂等の封鎖解除、翌日解除完了
1.22 千葉県教育委員会、東京大学等の入学試験中止のため、本学に対して入学者定員増を要望	1.20 東京大学、入学試験中止を発表
2.10 工業短期大学部教授会、自衛官通入学問題に関する意見を発表	3.3 国立大学一期校、機動隊に守られ入試実施(～3.4)
3.6 医学部で報告医制度実施をめぐり授業放棄が再発(～3.22)	3.19 文部省、「自衛官等職業を有する者の入学者選抜について」通達
3.12 千葉大学生協同組合法人化	4.21 文部大臣「大学内における正常な秩序の維持について」談話
3.13 評議会、工業短期大学部教授会の意見を受け、自衛官通入学を従来通り承認	4.30 中央教育審議会「当面する大学教育の課題に対応するための方策について」答申
3.16 工業短期大学部入学試験、学生の妨害により簡易問題で実施	5.13 文部省「大学紛争の現状」発表 ※授業放棄または施設占拠・封鎖中の大学43校(国立30、公立4、私立9)→7月8日の発表では75校(国立43、公立8、私立24)となる
3.22 評議会、工業短期大学部入試のやり直しをしないことを決定。川喜田学長、その席上で辞意を表明	5.16 「行政機関の職員の定員に関する法律」(いわゆる総定員法)公布
3.25 教養部校舎竣工	5.26 東名高速道路全通
3.26 協議会、川喜田学長の辞意を認め、湊頭業学部長を学長事務取扱に選出	6.12 初の原子力船「むつ」が進水
3.31 教育学部附属小学校校舎(増築)竣工	6.- 大学紛争激化 ※6月には、4年制大学379校のうち109校が紛争中
3.31 園芸学部園芸学専攻科を廃止	7.20 米国アポロ11号、人類初の月着陸に成功
4.1 湊頭、学長事務取扱に就任	8.7 「大学の運営に関する臨時措置法」公布(8.17施行)
4.1 教育学部に特別教科(看護)教員養成課程を増設	9.13 文部省、大学運営臨時措置法施行後約1カ月間の大学紛争状況を発表、紛争校64(国立37、公立5、私立22)
4.1 工学部に電子工学科を増設	10.29 厚生省、人工甘味料チクロ使用全面禁止
4.1 大学院園芸学研究科(園芸学専攻、農芸化学専攻、造園学専攻/修士課程)を設置	11.1 新五百円紙幣(岩倉具視)発行
4.1 教育学部に養護教諭養成所(3年制)を併設	11.11 放送大学準備調査会発足
4.1 医学部附属診療エックス線技師学校を改組して医学部附属放射線技師学校とする	11.21 日米共同声明 ※1972年沖繩返還を発表
4.1 工業短期大学部の学科名を改称し、機械工学科、電気工学科、工業化学科、印刷工学科、写真工学科、木材工芸科、工業意匠学科とする	11.21 筑波研究学園都市新大学創設準備調査会発足
4.10 協議会、学長選挙を5月8日に実施する旨を公示	11.- 国立大学協会教養課程に関する特別委

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.25 各学部の全学共闘委員会（全学闘）学生、「団交」を要求し、翌日未明本部会議室を占拠（4.28退去命令を出す）</p> <p>4.26 千葉市文化の森に教育学部跡地の記念碑を建立</p> <p>4.29 評議会、「千葉大学教職員・学生諸君へ」（工短入試に関する経過・川喜田学長辞任の経緯・学長選挙の実施について）を表明</p> <p>5.2 協議会、学長選挙延期を公示</p> <p>5.15 一部の学生（全学闘）、本部庁舎（旧庁舎）を占拠封鎖</p> <p>5.17 評議会、湊学長事務取扱および全評議員（協議員）の辞任を決定</p> <p>6.17 新評議会、香月秀雄医学部教授（評議員）を学長事務取扱に選出</p> <p>6.17 医学部附属病院無給医、有給化等を要求して2週間ストに入る（～6.30）</p> <p>6.21 医学部学生（学1、2クラス）、長期授業放棄に入る（～12.12）</p> <p>6.24 香月秀雄、学長事務取扱に就任</p> <p>6.27 評議会、学長選挙を白紙に戻す旨公示</p> <p>7.18 評議会、「大学の運営に関する臨時措置法案」立法に対して反対の意を表明</p> <p>8.13 改革検討委員会代表者会議および広報委員会発足</p> <p>9.22 「全学闘」系学生、教養部6号館を占拠封鎖（9.26解除）</p> <p>10.6 青医連所属研修医、医学部記念講堂を封鎖（12.21解除）</p> <p>11.15 新本部庁舎竣工</p> <p>12.22 早朝本部職員を中心とする教職員によって本部庁舎の封鎖が解除される</p> <p>12.24 本部、新庁舎に移転完了して事務を開始</p>	<p>員会「大学における一般教育と教養課程の改善について」発表</p> <p>12.16 文部省、「大学紛争白書」をまとめる</p>

1970年（昭和45年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>3.23 卒業式を学部別実施（医学部は3.31）※1974年に全学統一の卒業式を再開</p> <p>3.25 教養部校舎（理・文）及び人文学部校舎竣工（5.21人文学部が教養部校舎から移転）</p> <p>4.1 大学院薬学研究所（修士課程）に製薬化学専攻を増設</p>	<p>1.14 第3次佐藤栄作内閣成立、坂田道太、文部大臣に再任</p> <p>1.16 文部省、授業放棄・施設占拠・封鎖等の行われている問題校一覧を公表（国立7、公立1、私立1）</p> <p>2.11 初の国産人工衛星「おおすみ」打ち上げ</p> <p>3.14 大阪でアジア最初の万国博覧会</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 大学院工学研究科（修士課程）に合成化学専攻を増設</p> <p>4.1 腐敗研究所に抗生物質製造試験施設を設置（学内措置）</p> <p>4.1 医学部附属病院で医員制度発足</p> <p>4.8 入学式を学部別実施（1977年度まで）</p> <p>6.5 評議会、学長選挙の実施に当たって「教職員・学生の皆さんへ」声明</p> <p>7.11 学長選挙実施、相磯和嘉医学部長当選</p> <p>7.30 本部庁舎落成記念式</p> <p>8.1 相磯和嘉、第6代学長に就任</p> <p>9.10 評議会にて名誉教授章を制定</p> <p>10.5 附属図書館腐敗研究所分館設置 ※腐敗研究所図書室を拡充</p> <p>11.12 評議会、学部教養部連絡協議会の設置を決定（12.4発足）</p>	<p>（～9.13）</p> <p>3.31 赤軍派、日航機「よど号」を乗っ取る</p> <p>3.- 東京浜松町の世界貿易センタービル（地上40階）竣工</p> <p>5.6 「著作権法」公布（1971.1.1施行）</p> <p>5.19 「筑波研究学園都市建設法」公布</p> <p>6.2 米民主党本部に盗聴器を仕掛けた5人を逮捕 ※後にウォーターゲート事件に発展</p> <p>6.22 政府、日米安全保障条約の自動延長を発表</p> <p>6.23 反安保闘争で全国132の大学で授業放棄</p> <p>6.24 文部省「学生の課外活動における暴力行為の防止について」通達</p> <p>7.27 東京で日本初の光化学スモッグ注意報</p> <p>8.2 東京の繁華街で初の歩行者天国を実施</p> <p>8.21 文部省「学内における暴力行為の根絶について」通達</p> <p>8.30 植村直己が北米マッキンリーの単独登頂に成功、世界初の五大陸最高峰征服を達成</p> <p>8.31 「大学設置基準」「教育職員免許法施行規則」一部改正 ※大学改革具体化の第一歩に着手</p> <p>9.1 広中平祐、フィールズ賞受賞</p> <p>10.1 国勢調査、日本の総人口1億人を突破</p> <p>11.25 三島由紀夫が陸上自衛隊東部方面総監部で割腹自殺</p> <p>12.10 ソ連の反体制作家ソルジェニーツィンがノーベル文学賞受賞</p>

1971年（昭和46年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.30 養護教諭養成所棟竣工（3.10移転）</p> <p>2.15 工学部電子工学科、工業意匠学科実験研究室竣工</p> <p>3.25 附属図書館医学部分館竣工（7.19開館）</p> <p>4.1 大学院園芸学研究科（修士課程）に農業生産管理学専攻を増設</p> <p>4.16 学長より環境科学研究機構について提案され、準備委員会が発足</p> <p>5.25 園芸学部「浩気寮」改築竣工</p> <p>7.1 環境科学研究機構第1回研究会開催</p> <p>7.8 併設短期大学問題特別委員会を設置</p>	<p>3.7 国鉄「山手線」の呼称を「やまて線」から「やまのて線」に統一</p> <p>4.20 国鉄山手線の「西日暮里駅」が開業</p> <p>6.5 新宿副都心の超高層ビル第1号として京王プラザホテル（地上47階）が開業</p> <p>6.11 中央教育審議会「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」答申</p> <p>6.23 国立大学協会、大学改革の最終報告をまとめ、共通入試を1975（昭和50）年度をめどに実施することを決定</p> <p>7.1 環境庁が発足</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
10.14 附属図書館工業短期大学部図書室を設置	7.1 文部省、教育改革推進本部発足 7.5 佐藤栄作内閣改造、高見三郎、文部大臣に就任 7.5 医科大学（医学部）設置調査会発足 7.20 マクドナルドが東京銀座に1号店オープン 7.30 自衛隊機が全日空機と衝突（零石衝突事故） 8.28 円、変動為替相場制へ移行 9.18 日清食品が「カップヌードル」発売 10.22 文部省「施設管理の厳正と学生指導の徹底について」依命通達 12.3 インドとパキスタンが全面戦争に突入 12.18 ワシントン10か国蔵相会議、多国間通貨調整決着 ※1ドル=308円（スミソニアン体制）

1972年（昭和47年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.18 医学部学生、研修制度をめぐり授業放棄（～3.23） 3.6 医学部附属病院無給医会、研修問題で1週間の診療拒否 3.20 園芸学部大学院等実験研究室校舎竣工 3.26 武道場建物完成（4.15開場式） 3.31 留学生部を廃止 4.1 留学生寮委員会を設置 4.1 環境科学研究機構を学内措置で設置 4.1 人文学部に人文学専攻科設置 4.1 事務局施設部を改組して3課（企画課、建築課、設備課）とする 5.1 医学部附属病院に手術部を設置 5.1 工学部改革調査委員会を設置 6.- 『千葉大学留学生部-12年の歩み-』刊行 7.19 千葉大学開放講座「環境と公害」実施（～7.26）※この年から、開放講座（のちの公開講座）を全学的に実施 11.27 名誉教授との懇談会（第1回）	1.24 グアム島で横井庄一元軍曹を発見・救出 2.3 第11回冬季オリンピックを札幌で開催（～2.13） 2.19 連合赤軍による人質籠城事件（～2.28）※浅間山荘事件 3.7 連合赤軍の妙義山中リレンチ殺人事件が発覚 3.15 山陽新幹線の新大阪・岡山間開業 3.18 「大学設置基準」一部改正（4.1実施）※大学の単位互換制度を認める 3.21 通産省がPCBの使用を禁止 3.21 高松塚古墳で極彩色の壁画を発見 5.13 大阪千日デパートビル火災 5.15 沖縄返還で沖縄県誕生。琉球大学、国へ移管 5.30 テルアピブ空港で日本赤軍乱射事件 7.1 初の「うるう秒」実施 7.7 第1次田中角栄内閣成立、稲葉修、文部大臣に就任 9.5 ミュンヘンオリンピック事件 9.29 日中国交正常化共同声明 11.5 上野動物園でパンダ初公開 12.22 第2次田中角栄内閣成立、奥野誠亮、文部大臣に就任

1973年（昭和48年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.20 医学部附属病院起工式	1.27 ベトナム和平協定（パリ協定）締結
4.1 教育学部附属養護学校を設置	2.14 円が変動相場制に移行
4.1 工学部に機械工学第二学科を増設	3.30 『日本沈没』（小松左京）刊行
4.1 医学部附属病院に放射線部を設置	8.8 金大中事件—東京のホテルから拉致される
4.1 附属図書館の事務部に部制が施かれ、2課（整理課、閲覧課）となる	10.1 筑波大学、第78番目の国立大学として発足
4.12 保健管理センターを設置	10.1 「動物の保護及び管理に関する法律」（現「動物の愛護及び管理に関する法律」）公布
6.28 園芸学部熱川暖地農場実習施設新築落成	10.6 第4次中東戦争
7.19 環境保全委員会を設置	10.16 ペルシャ湾6か国が原油21%値上げ（オイル・ショック）
9.29 腐敗研究所を改組して生物活性研究所とする（酵素化学、薬理活性、毒性病理、活性天然物化学、抗生物質、食中毒の6研究部）	10.23 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞決定
9.29 附属図書館腐敗研究所分館を生物活性研究所分館に名称変更	11.25 『ノストラダムスの大予言』（五島勉）刊行
9.30 工学部天然色工学研究施設建物完成	11.28 「大学設置基準」の一部改正 ※教育課程の弾力化など
11.3 教育学部附属小学校創立100周年記念式典	11.29 熊本市大洋デパート火災
	11.一 物不足によるトイレットペーパーなどの買い占め騒ぎ起こる
	12.6 第28回国連総会本会議「国連大学憲章」を採択し、国連大学本部の日本首都圏設置を決定
	12.22 政府、石油・電力の20%削減などの緊急対策を発表

1974年（昭和49年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.23 昭和48年度卒業式を全学統一で挙行（千葉公園体育館）※この年以降、学部の卒業式は原則3月23日に開催	3.10 ルバング島で小野田寛郎元陸軍少尉を救出
3.25 昭和48年度大学院学位記授与式（医学部記念講堂）※この年以降、大学院修了式（学位記授与式）は原則3月25日に開催（2023年まで）	3.11 大学設置審議会「修士の種類に新たに商船学修士を加えることの可否について」答申
4.1 理学部に地学科を増設	3.30 大学設置審議会「大学院および学位制度の改善について」答申 ※博士課程5年の一貫教育、独立大学院の設置など
4.1 園芸学部環境緑地学科を増設	4.20 ルーブル美術館所蔵「モナリザ」日本初公開（東京国立博物館）
4.1 大学院工学研究科（修士課程）に電子工学専攻を増設	4.22 国立大学協会理事会、国立大学共通1次入試センター（仮称）設置などの構想発表
4.1 教育学部附属養護学校に高等部を新設	4.25 筑波大学開校
4.11 看護学部創設準備室を設置	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.11 医学部附属農山村医学研究施設を改組して医学部附属環境疫学研究施設とする	5.15 セブン-イレブン1号店開店（東京都江東区豊洲）
6.13 学長選挙実施、相磯和嘉学長再選	5.20 新構想の教員養成大学等に関する調査会「教員のための新しい大学・大学院の構想について」報告
6.29 西千葉地区学生食堂等建物（第2厚生施設）竣工（11.18竣工式）	5.27 中央教育審議会「教育・学術・文化における国際交流について」答申
8.1 相磯和嘉、学長に再任	6.10 「文部省設置法」一部改正 ※大学学術局を大学局と学術国際局に分離
11.21 評議会、学長提案により、本学三十年史の編纂およびそのための編纂委員会を1975（昭和50）年度に発足させることを決定	6.20 「大学院設置基準」制定、「学位規則」一部改正 ※学術博士の新設
	8.8 ウォーターゲート事件でニクソン米大統領辞任
	8.30 三菱重工ビル爆破事件
	10.8 佐藤栄作前総理大臣、ノーベル平和賞受賞決定
	10.14 長嶋茂雄、巨人軍選手引退
	11.11 田中角栄内閣改造、三原朝雄、文部大臣に就任
	11.18 フォード米大統領来日（～11.22）
	12.9 三木武夫内閣成立、永井道雄、文部大臣に就任

1975年（昭和50年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.11 千葉大学創立30周年記念事業企画準備委員会を設置	3.7 大学設置審議会「短期大学設置基準の制定について」答申
4.1 大学院理学研究科（数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地学専攻／修士課程）を設置	3.10 山陽新幹線（新大阪－博多）全線開業
4.1 生物活性研究所附属抗生物質製造試験施設を設置 ※1970年に学内措置されたものを昇格	4.30 南ベトナムのサイゴン政権が無条件降伏、ベトナム戦争終結
4.1 園芸学部農業別科を拡充改組して園芸別科とする	5.7 英国エリザベス女王来日
4.1 学生部に入学主幹を置く	6.10 国連大学本部（東京都渋谷区）、正式にオープン（9.22事業開始）
4.1 医学部附属病院事務部を2課制（管理課、業務課）から3課制（総務課、管理課、医事課）に改組	6.10 経済企画庁、1974年度の実質GNPが戦後初のマイナス成長と発表
4.1 園芸学部附属農場に事務長を置く	7.19 沖縄国際海洋博覧会開幕（～1976.1.18）
4.22 看護学部（看護学科）を設置	8.30 文部省、初の学術白書「わが国の学術」を発表
4.26 看護学部第1回入学試験実施（～4.27）	10.23 文部省、1975（昭和50）年度高校進学率91.9%、大学進学率37.8%（大学生200万人を突破）と発表
5.10 看護学部入学式	11.15 仏・ランブイエで初の先進国首脳会議
6.21 医学部創立100周年記念式典	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
7.5 看護学部開学式 7.8 工学部機械工学第二学科校舎竣工 8.4 第24回関東甲信越大学体育大会を当 番大学として開催（～8.6） 10.21 千葉大学30年史編纂委員会を設置 11.20 評議会、工学部特設工学課程設置準 備委員会の設置を決定（12.2第1回開催、 1976.4.9解散）	

1976年（昭和51年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.25 昭和50年度大学院学位記授与式を挙 行（事務局5階会議室）※この年以降、大学 院学位記授与式（修了式）を全学統一で開催 3.25 教養部校舎竣工 4.1 養護教諭養成所の学生募集を停止 4.1 教育学部に養護教諭養成課程を増設 4.1 工学部の写真工学科および印刷工学科 を改組して、画像工学科とする 4.1 工業短期大学部を改組し、工学部に特 設工学課程（主として夜間に授業を行う課 程）を設置し、短大の学生募集を停止 5.10 薬学部附属薬用植物園を設置 5.10 生物活性研究所附属機器センター設置 5.10 医学部附属病院に看護部を設置 5.20 国際交流委員会を設置 6.17 学長選挙実施（～6.18）、香月秀雄医 学部学長当選 7.1 医学部附属病院に材料部を設置 7.22 学生寄宿舎（稲毛寮）竣工 8.1 香月秀雄、第7代学長に就任 8.21 看護学部校舎竣工（9.10に移転完了） 10.1 医学部附属病院に理学療法部を設置 10.1 千葉大学薬学系博士課程設置特別調査 委員会を設置 10.2 職員の週休2日制を試行（～1977.9. 23） 11.4 教育学部附属小学校統合10周年記念 式典	1.20 民間初の宅配便（クロネコヤマト宅急 便）開始 1.31 鹿児島市で五つ子誕生 2.4 米上院多国籍企業小委員会でロッキ ード事件発覚 4.1 大学における学生の正課中の災害事故 に対する補償制度（学生教育研究災害傷害保 険）発足 4.5 中国の天安門広場で民兵と群衆が乱闘 （第1次天安門事件） 5.25 「学校教育法」一部改正 ※独立大学 院の創設など 7.27 ロッキード事件で東京地検、田中角栄 前首相を逮捕 8.30 文部省、週休2日制の試行について国 立学校等に通知 9.6 ソ連のミグ25が函館空港に強行着陸 （乗員1人米国に亡命） 10.1 長岡と豊橋に技術科学大学発足 10.12 中国で江青ら「四人組」が逮捕 10.14 学術審議会「生命科学研究の推進につ いて」答申 10.18 大学設置審議会「医学及び歯学の大学 院及び学位制度の改善について」答申 11.18 国大協、国立大学共通第1次試験実施 による大学入試の改善について、「昭和54年 度大学入学者選抜から実施可能」との意向を 表明 12.21 1等1千万円のジャンボ宝くじ発売 12.24 福田起夫内閣成立、海部俊樹、文部大 臣に就任

1977年（昭和52年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.18 評議会で西千葉地区施設整備計画の骨子を決定	5.2 海洋二法が成立・公布 ※領海を12海里とする、200海里の漁業水域を新設など
4.1 大学院工学研究科（修士課程）に機械工学第二専攻を増設	5.2 大学入試センターが正式に発足
4.1 千葉大学大学院工学研究科と埼玉大学大学院工学研究科との単位互換実施	5.25 科学技術会議「長期的展望に立った総合的科学技術政策の基本について」答申
4.18 生物活性研究所に生体膜研究部を増設	6.17 学術審議会「大学教員等の発明に係る特許等の取扱いについて」答申
5.1 「放射線障害防止規程」制定	6.30 文部省、1979（昭和54）年度以降における大学入学者選抜実施要項を公表
7.30 生物活性研究所建物完成（10.29新築落成記念式）	7.2 大学入試センター、1979（昭和54）年度大学入試の共通第1次学力試験実施大綱を発表
9.12 江戸川艇庫竣工式	7.13 ニューヨークで25時間以上の大停電
9.16 総合大学院問題特別調査委員会を設置	9.3 プロ野球巨人の王貞治、通算756号の本塁打で世界記録達成（9.5国民栄誉賞受賞）
9.28 国際交流シンポジウム開催	11.28 福田赳夫内閣改造、砂田重民、文部大臣に就任
10.1 医学部附属助産婦学校創立20周年記念式	
10.15 生物活性研究所が習志野地区から亥鼻地区へ移転	
11.5 医学部附属看護学校創立30周年記念式典	
12.1 理学部銚子臨海実習所（銚子市外川町）が完成し、臨海研究分室（銚子市犬若）から移転（12.7開所披露式）※現海洋バイオシステム研究センター銚子実験場	
12.24 共通第1次学力試験試行テストを実施（～12.25）※本学も会場として参画	

1978年（昭和53年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.10 『千葉大学医学部百周年記念誌』発刊	3.26 新東京国際空港反対派、管理室に乱入し機器を破壊、開港（3.30予定）延期
1.14 医学部附属病院新築落成記念式典	4.6 東京池袋に超高層ビル「サンシャイン60」が完成
3.1 医学部附属病院、新病院で診療開始	5.20 新東京国際空港（成田空港）開港
3.20 人文学部校舎（増築）竣工	6.3 大学入試センター、共通第1次学力試験実施要項を発表
3.25 保健管理センター庁舎竣工（5.20落成式）	6.12 宮城県沖地震
3.30 理学部地学科校舎竣工	6.16 中央教育審議会「教員の資質能力の向上について」答申
3.31 養護教諭養成所を廃止（3.28閉所式）	6.22 文部省、「ゆとり」と「多様性」を目指す高校の新しい学習指導要領案を発表 ※8.30新「学習指導要領」を告示、1982年度の第1学年から適用
4.1 工学部に建築工学科を増設	7.25 英国で世界初の試験管ベビーが誕生
4.1 工学部特設工学課程を廃止し、その講座を工学部各学科に組み入れて、A・B両コースに再編成（Bコースは昼夜開講制）	
4.1 園芸学部農業生産管理学科を改組し園芸経済学科を設置、また園芸学科を拡充改組	
4.1 大学院園芸学研究科（修士課程）に環	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>境緑地学専攻を増設</p> <p>4.1 分析センターを設置</p> <p>4.1 教育学部附属教育学センターを設置</p> <p>4.1 医学部附属動物実験施設を設置</p> <p>4.1 附属図書館医学部分館、生物活性研究所分館、看護学部図書室を統合して、附属図書館亥鼻分館を設置</p> <p>4.1 工業短期大学部図書室を附属図書館本館に統合</p> <p>4.8 昭和53年度入学式を全学統一で挙行(千葉公園体育館) ※この年以降、学部入学式は原則4月8日に開催(2015年度まで)</p> <p>4.- 視覚・聴覚・肢体障害者の学生としての受入れに関し本格的な検討を開始</p> <p>9.21 「発明規程」制定、発明委員会を設置</p> <p>10.1 医学部附属病院に人工腎臓部を設置</p> <p>12.21 評議会、千葉市長から申入れのあった千葉都市モノレールに係る亥鼻地区校地割譲について、要望に応じられない旨の回答を文書で行うことを決定</p>	<p>7.29 隅田川の花火大会開催 ※終戦後休止していたがこの年復活した</p> <p>8.12 日中平和友好条約調印</p> <p>9.26 東芝、初の日本語ワードプロセッサ発売</p> <p>10.1 放送教育開発センター発足</p> <p>10.2 大学入試センターで、1979(昭和54)年度共通1次試験の志願票受付始まる(～10.16)</p> <p>10.16 原子力船「むつ」が佐世保港に入港</p> <p>12.7 第1次大平正芳内閣成立、内藤誉三郎、文部大臣に就任</p> <p>12.15 米中国交正常化発表</p> <p>12.- 第1回共通第1次試験の最終的な出願者数は34万1,876人</p>

1979年(昭和54年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.13 1979(昭和54)年度共通第1次学力試験実施(～1.14)</p> <p>3.15 人文学部改組特別調査委員会を設置(1981.4.13廃止)</p> <p>3.31 工業短期大学部を廃止(3.28閉学式)</p> <p>4.1 薬学部を改組して、総合薬品科学科のみの1学科制とする</p> <p>4.1 大学院薬学研究科(修士課程)に代えて、大学院薬学研究科(総合薬品科学専攻/博士課程)を設置</p> <p>4.1 大学院看護学研究科(看護学専攻/修士課程)を設置</p> <p>4.1 園芸学部園芸別科の1年課程を廃止して、2年課程のみとする</p> <p>4.1 教育学部附属中学校、帰国子女の受入れ開始</p> <p>4.12 昭和54年度大学院入学式を挙行(薬学部講堂) ※この年以降、大学院入学式は原則4月12日に開催(2015年度まで)</p> <p>4.19 教育学部に臨時言語障害教育教員養成課程(1年課程)を設置</p>	<p>1.13 国公立大学で初の共通第1次学力試験を実施(～1.14)、同追試験実施(1.20～21) ※受験者数32万7,449人(うち追試験286人)</p> <p>1.29 三菱銀行人質事件(大阪市)</p> <p>2.5 大学入試センター、共通第1次学力試験の結果を発表 ※5教科1,000点満点で平均636点</p> <p>2.11 イラン革命、ホメイニ体制確定</p> <p>3.28 米スリーマイル島原発放射能漏れ事故</p> <p>6.8 中央教育審議会「地域社会と文化について」答申</p> <p>6.28 先進国首脳会議(東京サミット)</p> <p>7.1 ソニーから携帯ヘッドホンステレオ「ウォークマン」発売</p> <p>7.11 東名高速道路の日本坂トンネルで大事故</p> <p>11.9 第2次大平正芳内閣成立、大平正芳、文部大臣臨時代理(～11.20)</p> <p>11.20 第2次大平正芳内閣、谷垣専一、文部大臣に就任</p> <p>12.29 ソ連軍がアフガニスタン政変に介入</p>

第3部年表

千葉大学関係	高等教育・社会一般
5.31 評議会内第2小委員会に身体障害者受入れのための施設整備を検討する専門委員会設置 7.11 学生部庁舎が完成し、新庁舎へ移転 10.1 医学部附属病院に救急部を設置 10.1 ゲストハウス（宿泊棟）の使用を開始 11.10 千葉大学創立30周年記念式典、講演、祝賀会を開催 11.30 工学部共通棟（事務棟）が完成し新庁舎へ移転	

1980年（昭和55年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.24 有害廃棄物処理施設を学内の共同利用施設として設置 1.31 『千葉大学三十年史』が完成、発刊 4.1 理学部附属海洋生物環境解析施設を設置 ※当初は銚子実験場のみ、1985年に小湊実験場が加わる 4.1 教育学部附属小学校に海外帰国子女学級を増設 6.5 学長選挙実施、香月秀雄学長再選 8.1 香月秀雄、学長に再任 9.1 医学部本館（旧病院）への移転が完了し、教育研究業務を開始（10.25移転披露・祝賀会） 9.11 「組換えDNA実験安全管理規程」制定（10.1施行） 10.1 工学部電子計算機室を工学部情報処理センターに名称変更 11.21 事務用電子計算機始動式 12.18 評議会、本年1月のモノレール計画に関する千葉県知事からの要望（書）について、「大学、県、市の三者からなる検討委員会（仮称）の設置を了承し、同委員会が今後の三者に関わる諸問題について、いっそうの連帯感を高めるものとして発展することを希望する」旨回答することを決定	1.29 学術審議会「今後における学術情報システムの在り方について」答申 3.7 早稲田大学商学部入試問題漏洩事件 4.25 銀座で現金1億円拾得 5.18 韓国光州市で反政府暴動デモ（光州事件） 5.24 モスクワ五輪に日本不参加を表明 6.12 大平正芳内閣総理大臣逝去 7.17 鈴木善幸内閣成立、田中龍夫、文部大臣に就任 8.14 富士山大規模落石事故 8.16 静岡駅前地下街爆発事故 8.19 新宿西口バス放火事件 9.22 イラン・イラク全面戦争開始 11.10 学術審議会「大学等における核融合研究の長期的推進方策について」答申 11.29 神奈川金属バット両親殺害事件 12.5 「臨時行政調査会」設置 12.8 ジョン・レノン暗殺

1981年（昭和56年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.12 「年史関係資料収集要項」施行 2.16 附属図書館新館竣工（9.1開館）	2.23 ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世来日 3.16 臨時行政調査会が初会合（会長：土光

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.- 大学院薬学研究科校舎竣工	敏夫)
3.10 園芸学部が『千葉大学園芸学部七十年史』を刊行	4.12 米スペースシャトル「コロンビア」初飛行
3.- 教養部（G号館）校舎竣工	6.11 中央教育審議会「生涯教育について」答申
4.1 工学部情報処理センターを改組し、教育研究および事務処理のための学内共同利用施設として情報処理センターを設置	7.1 放送大学学園設立
4.1 医学部附属病院に医療情報部を設置	8.25 「行政改革大綱」閣議決定
4.1 千葉大学広報委員会を設置	10.19 福井謙一、ノーベル化学賞受賞決定
4.1 人文学部が全盲の学生を専攻科独文学専攻に受入れ ※障害者への門戸開放の先鞭をつける	10.29 「大学通信教育設置基準」公布
4.14 人文学部を改組し、文学部（行動科学科、史学科、文学科）および法経学部（法学科、経済学科）を設置	11.13 沖縄で新種の鳥「ヤンバルクイナ」発見
7.7 園芸学部附属利根高冷地農場実習施設落成式	11.30 鈴木善幸内閣改造、小川平二、文部大臣に就任
7.10 「千葉大学広報」第1号を発行	
7.17 県・市・大学の三者協議会を開催（第1回、本学にて）	
8.21 県・市・大学の三者協議会を開催（第2回、県庁にて）	
10.31 附属図書館新館竣工式	
11.- 教育学部が『百年史 千葉大学教育学部』を刊行	

1982年（昭和57年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.25 緑風会館（松戸地区福利体育施設）利用開始	2.8 ホテルニュージャパン火災
3.5 「やよいの鐘」（附属図書館屋上設置）除幕式 ※この鐘の設置は30周年記念事業のひとつ	2.9 日航機、羽田沖に墜落
3.31 教育学部教育専攻科を廃止	4.1 五百円硬貨発行
3.31 サークル会館（西千葉地区課外活動共用施設）利用開始	4.2 フォークランド紛争勃発
4.1 工学部画像工学科を画像工学科と画像応用工学科に改組	6.23 東北新幹線、大宮－盛岡間開業
4.1 大学院教育学研究科（学校教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、音楽教育専攻、美術教育専攻、英語教育専攻／修士課程）を設置	7.30 臨時行政調査会第3次答申 ※国鉄・電電・専売3公社の分割・民営化、省庁の統廃合などを提言
4.1 看護学部附属看護実践研究指導センターを全国共同利用施設として設置	9.1 「国立又は公立の大学における外国人教員の任用等に関する特別措置法」公布
	9.24 内閣総理大臣、この年度の人事院勧告実施の見送りを決定
	9.24 「行政改革大綱（今後における行政改革の具体的方策について）」閣議決定
	11.10 中央自動車道が全線開通
	11.15 上越新幹線、大宮－新潟間開業

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 医学部附属病院に集中治療部を設置 4.1 事務局経理部（主計課、経理課）に情報処理課を増設 4.10 工学部が『千葉大学工学部六十年史』を刊行 5.13 ドイツ連邦共和国ゲオルグ・アウグスト大学ゲッティンゲンと初の姉妹大学協定を締結 5.31 大学会館（西千葉地区福利施設）利用開始 6.17 学長選挙実施（～6.18）、井出源四郎医学部長当選 6.29 教育学部附属養護学校、千葉市長沼原町（現千葉市稲毛区長沼原町）に新校舎竣工（7.26移転完了） 6.- 緑風会館内に園芸学部保健管理センター室（後の松戸地区保健室）設置 7.22 「千葉大学大学院学則」制定、「千葉大学学位規程」全部改正 ※ともに1983.4.1施行 8.1 井出源四郎、第8代学長に就任 9.22 教育学部附属養護学校落成記念・創立10周年記念式典 9.- 動物実験施設棟竣工、本格的運用開始	11.27 第1次中曽根康弘内閣成立、瀬戸山三男、文部大臣に就任 12.23 有楽町数寄屋橋に初のテレホンカード公衆電話設置

1983年（昭和58年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 教職員の身分証明書の電算化 ※全学統一様式で発行名義を学長とする 1.31 西千葉駅北口（千葉大学側）広場の完成 2.- 附属図書館園芸学部分館が新築落成 3.- 文学部・法経学部合同校舎完成（6.8落成式） 4.1 大学院教育学研究科（修士課程）に理科教育専攻、社会科教育専攻、保健体育専攻を増設 4.1 大学院工学研究科（修士課程）に建築工学専攻を増設 4.1 大学院園芸学研究科（修士課程）の農業生産管理学専攻を改組し、園芸経済学専攻を設置 4.1 教育学部問題行動総合研究指導室（通称「教育相談研究センター」）を設置 4.1 生物活性研究所食中毒研究部を病原真	1.27 青函トンネル貫通 3.13 東北大学医学部が日本初の体外受精に成功 3.14 臨時行政調査会、「行政改革に関する第五次答申」（最終答申）を首相に提出 3.18 国立歴史民俗博物館、佐倉市に開館 4.1 放送大学設置 4.4 NHKテレビ「おしん」放送開始 4.15 東京ディズニーランド、浦安市に開園 5.11 文部省「国立学校と民間等との共同研究の取扱いについて」通知 5.24 「新行政大綱（臨時行政調査会の最終答申における行政改革の具体化方策について）」閣議決定 5.25 「学校教育法」改正 ※獣医学の修業年限6年に延長 5.26 日本海中部地震 6.26 参議院議員通常選挙、全国区で比例代

第3部年表

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>菌研究部に名称変更</p> <p>4.1 庶務部庶務課に国際交流係を設置し、国際交流への本格的な取組みを開始 (1984.4.1国際主幹設置)</p> <p>5.1 亥鼻地区サークル会館 (課外活動共用施設) の使用を開始</p> <p>6.5 教育学部附属幼稚園創立80周年記念式典</p> <p>7.21 評議会、臨時行政調査会答申への対応を開始 (第4小委員会で検討を進めることを決定)</p> <p>9.5 生物活性研究所が第1回生物活性国際シンポジウムを主催 (～9.6、千葉市民会館にて) ※文部省国際シンポジウム開催経費を受けて本学が主催した最初の国際シンポジウム</p> <p>9.一 学生国際交流制度にもとづく最初の派遣学生がゲオルグ・アウグスト大学ゲッティンゲンに留学</p>	<p>表制を初めて導入</p> <p>6.30 中央教育審議会「教科書の在り方について」答申</p> <p>7.15 任天堂「ファミリーコンピュータ」(ファミコン) 発売</p> <p>8.31 文部省の懇談会「21世紀への留学生政策に関する提言」発表 ※「留学生受入10万人計画」を提言</p> <p>9.1 ソ連、領空内侵入の大韓航空機を撃墜</p> <p>10.3 三宅島噴火</p> <p>10.12 東京地裁でロッキード事件の田中角栄元首相に懲役4年追徴金5億円の実刑判決</p> <p>10.26 東京立川基地跡に国営昭和記念公園開園</p> <p>12.27 第2次中曽根康弘内閣成立、森喜朗、文部大臣に就任</p>

1984年 (昭和59年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.15 アメリカ合衆国アラバマ大学との交流協定書を交換</p> <p>1.19 「外国人教員の任期に関する規程」を制定・施行 ※任期3年、再任可</p> <p>2.16 「教員の停年に関する規程」の一部改正 (1985.3.31施行) ※停年に達する日を「学年の末日」とする</p> <p>3.15 評議会、18歳人口の急増に対処するための臨時増募計画 (1986年～) を決定</p> <p>4.1 事務局庶務部 (庶務課、人事課) に国際主幹を増設</p> <p>4.19 総合大学院設置特別調査委員会および、その下に自然科学総合研究科部会を設置</p> <p>8.7 第33回関東甲信越大学体育大会を当番大学として開催 (～8.9)</p>	<p>2.6 学術審議会「学術研究体制の改善のための基本的施策について」答申</p> <p>3.18 江崎グリコ社長誘拐事件 ※これを端緒に一連の企業テロ事件が発生 (グリコ・森永事件)</p> <p>7.1 文部省大学局を高等教育局と改称</p> <p>8.7 「日本育英会法」全部改正 ※有利子貸与制度の創設など</p> <p>8.8 文部省、臨時教育審議会を設置</p> <p>11.1 中曽根康弘内閣改造、松永光、文部大臣に就任</p> <p>11.1 新一万円紙幣 (福沢諭吉)、新五千円紙幣 (新渡戸稲造)、新千円紙幣 (夏目漱石) 発行</p>

1985年 (昭和60年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>3.31 旧人文学部人文学専攻科廃止</p> <p>3.31 教育学部特別教科 (看護) 教員養成課程廃止</p> <p>3.31 東京水産大学水産学部小湊実験実習場</p>	<p>3.10 青函トンネル本坑開通</p> <p>3.17 国際科学技術博覧会 (つくば科学万博) 開催 (～9.16)</p> <p>3.22 厚生省、国内エイズ患者第1号を認定</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>を本学（理学部）に移管 ※理学部附属海洋生物環境解析施設の小湊実験場となる（4.25開所披露）</p> <p>4.1 大学院文学研究科（行動科学専攻、史学専攻、日本文学専攻、欧米言語文化専攻／修士課程）を設置</p> <p>4.1 大学院社会科学研究科（法学専攻、経済学専攻／修士課程）を設置</p> <p>4.1 医学部附属病院に輸血部を設置</p> <p>5.10 中華人民共和国湖南大学と交流に関する協定を締結</p> <p>9.19 大学院自然科学総合研究科（博士課程）設置準備委員会を設置</p> <p>9.21 看護学部創立10周年記念式典、看護学部『千葉大学看護学部創立10年のあゆみ』を刊行</p>	<p>4.1 電電公社と専売公社の民営化で日本電信電話株式会社（NTT）と日本たばこ産業株式会社（JT）が発足</p> <p>6.8 鳴門大橋開通</p> <p>6.26 臨時教育審議会「教育改革に関する第一次答申」</p> <p>8.12 日航ジャンボ機が群馬県御巢鷹山に墜落</p> <p>10.2 関越自動車道の関越トンネル完成</p> <p>11.29 国電同時多発ゲリラ事件</p> <p>12.28 中曽根康弘内閣改造、海部俊樹、文部大臣に就任</p>

1986年（昭和61年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.27 医学部本館でヒポクラテス陶像除幕式</p> <p>2.20 「千葉大学教員に対する退職勧奨の取扱基準」を決定</p> <p>4.1 工学部附属天然色工学研究施設を改組し、学内共同利用施設として映像隔測研究センターを設置</p> <p>4.1 大学院工学研究科（生産科学専攻／後期3年博士課程）を設置 ※千葉大学総合大学院構想に基づき、将来は自然科学研究科の1専攻となることを予定</p> <p>5.5 国有財産関東地方審議会が、米軍柏通信所跡地約25haを千葉大学園芸学部附属農場用地とする旨を答申</p> <p>5.20 総合大学院設置特別調査委員会の下に人文・社会科学系総合研究科部会を設置</p> <p>6.12 学長選挙実施、井出源四郎学長再選</p> <p>8.1 井出源四郎、学長に再任</p>	<p>1.28 米スペースシャトル「チャレンジャー」空中爆発事故</p> <p>4.1 「男女雇用機会均等法」施行</p> <p>4.5 学術情報センター設置</p> <p>4.23 臨時教育審議会「教育に関する第二次答申」※一般教育の理念と組織について的大幅な見直しを求め、産・学・官の共同研究センター構想を提案</p> <p>4.26 ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故</p> <p>4.29 天皇在位60年記念式典</p> <p>4.ー ハレー彗星が地球に大接近</p> <p>5.4 先進国首脳会議（東京サミット）</p> <p>5.8 英国チャールズ皇太子とダイアナ妃が来日</p> <p>6.15 千葉ポートタワー開業</p> <p>7.22 第3次中曽根康弘内閣成立、藤尾正行、文部大臣に就任</p> <p>9.9 中曽根康弘内閣改造、塩川正十郎、文部大臣に就任</p> <p>11.21 伊豆大島三原山209年ぶりの大噴火</p>

1987年（昭和62年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.ー 大蔵省関東財務局より米軍柏通信所跡</p>	<p>3.30 ゴッホ「ひまわり」を約53億円で安</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>地の一部25haを普通財産として使用承認され、柏農場の新設整備（5カ年計画）に着手</p> <p>4.1 大学院理学研究科（数理・物質科学専攻／後期3年博士課程）を設置 ※千葉大学総合大学院構想にもとづき、将来は自然科学研究科の1専攻となることを予定</p> <p>4.1 大学院教育学研究科（修士課程）に技術教育専攻を増設</p> <p>4.1 大学院工学研究科（修士課程）の写真工学専攻および印刷工学専攻を、それぞれ画像工学専攻および画像応用工学専攻に名称変更</p> <p>5.21 生物活性研究所を廃止・転換し、全国共同利用施設として真核微生物研究センターを設置</p> <p>5.21 情報処理センターを改組して、総合情報処理センターを設置</p> <p>5.21 医学部附属病院に冠動脈疾患治療部を設置</p> <p>5.21 学生部入学主幹を振り替え、入試課を設置</p> <p>5.21 真核微生物研究センター等事務部を設置</p> <p>6.3 大学院棟（文学研究科・社会科学研究科）落成式</p> <p>7.16 留学生委員会を設置</p> <p>11.18 真核微生物研究センター開所記念式典</p> <p>12.17 「外国人研究者等受入規程」制定</p>	<p>田火災が落札</p> <p>4.1 国鉄分割民営化でJRグループ7社発足</p> <p>4.1 臨時教育審議会「教育に関する第三次答申」</p> <p>5.3 朝日新聞阪神支局襲撃殺傷事件</p> <p>8.7 臨時教育審議会「教育に関する第四次答申」（最終答申）</p> <p>9.10 文部省、大学審議会を設置</p> <p>10.12 利根川進、ノーベル医学・生理学賞受賞決定</p> <p>10.19 ニューヨーク株式市場大暴落（ブラックマンデー）</p> <p>11.6 竹下登内閣成立、中島源太郎、文部大臣に就任</p> <p>11.18 日本航空が完全民営化</p> <p>11.29 大韓航空機爆破事件</p> <p>12.17 千葉県東方沖地震</p>

1988年（昭和63年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>2.- 総合情報処理センター棟竣工（3.24落成記念祝賀会）</p> <p>3.12 医学部附属病院移転10周年記念式典</p> <p>4.1 大学院自然科学研究科を後期3年だけの博士課程として設置 ※環境科学専攻を設置し、従前の理学研究科数理・物質科学専攻および工学研究科生産科学専攻を自然科学研究科に振り替え</p> <p>4.1 附属図書館事務部の整理課・閲覧課を、それぞれ情報管理課・情報サービス課に名称変更</p> <p>4.8 医学部附属脳機能研究施設および環境疫学研究施設を発展的に改組し、医学部附属</p>	<p>3.13 青函トンネル開業</p> <p>3.17 東京ドーム完成</p> <p>3.28 千葉都市モノレール、千城台スポーツセンター間開業</p> <p>4.10 瀬戸大橋開通</p> <p>6.18 リクルート事件</p> <p>7.1 文部省社会教育局を改組し、生涯学習局を設置</p> <p>7.23 潜水艦なだしお・遊漁船第一富士丸衝突事件</p> <p>10.1 総合研究大学院大学設置</p> <p>12.1 JR京葉線、蘇我－新木場間開業</p> <p>12.19 大学審議会「大学院制度の弾力化につ</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
高次機能制御研究センターを設置 4.26 永井幸喜学術・教育国際交流基金国際研究集会派遣（若手研究員対象）が発足 5.19 「共同研究取扱規程」制定 ※民間との共同研究の開始 6.16 学長選挙実施、吉田亮医学部教授当選 7.6 大学院自然科学研究科設置記念式典 7.21 臨時教育審議会で提言された「新テスト」（後の大学入試センター試験）について、対応の検討を開始 7.- 全学部が参加する千葉大学説明会をこの年から毎年7月に開催 8.1 吉田亮、第9代学長に就任 11.24 1990年度入試を前期重視の分離・分割方式で実施することを決定	いて」答申 12.27 竹下登内閣改造、西岡武夫、文部大臣に就任 12.28 「教育職員免許法」改正 ※免許状を専修、一種、二種に分けるなど

1989年（昭和64年／平成元年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 工学部の工業意匠学科、機械工学科、機械工学第二学科、電気工学科および電子工学科の5学科（1共通講座）を、工業意匠学科、機械工学科、情報工学科および電気電子工学科の4大学科（1共通講座）に改組し、かつ大講座制を採用 4.1 入学者選抜方法研究委員会を学長の諮問機関として設置 5.29 教育学部附属教育学センターを改組し、教育学部附属教育実践研究指導センターを設置 5.29 理学部附属海洋生物環境解析施設を改組し、理学部附属海洋生態系研究センターを設置 5.29 医学部附属病院に卒後・生涯医学臨床研究部を設置 7.1 評議会内に置く委員会の再編成により、第1（管理運営、大学改革、将来計画）、第2（教育研究の組織体制）、第3（入試制度、選抜方法）の各小委員会を常置委員会とし、亥鼻地区統合整備委員会を特別委員会として設置 7.8 薬学部創立100周年記念式典、『千葉大学薬学部百年史』を刊行 9.1 石橋文部大臣、千葉大学を視察 11.17 薬学部百周年記念館落成式	1.7 昭和天皇崩御 ※平成と改元 2.6 千葉県立中央博物館開館（千葉市） 2.15 ソ連、アフガニスタンから全面撤退 2.22 佐賀県吉野ヶ里遺跡で弥生後期の大集落発見 3.29 女子高生コンクリート詰め殺人事件発覚 4.1 消費税導入（税率3%） 4.1 筑波大学、初の夜間大学院を開設 5.27 東京湾横断道路着工 6.3 宇野宗佑内閣成立、西岡武夫、文部大臣に再任 6.4 中国・北京の天安門広場で学生数百人がデモ（第2次天安門事件） 7.23 東京・埼玉連続幼女誘拐殺人事件、犯人逮捕 8.10 第1次海部俊樹内閣成立、石橋一弥、文部大臣に就任 9.1 「大学院設置基準」改正 ※大学院制度の弾力化 9.20 国連総会「児童の権利条約」全会一致で採択 10.1 エフエムサウンド千葉（BAY FM78）開局 10.9 幕張メッセ（日本コンベンションセンター）オープン

第3部年表

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	11.4 坂本堤弁護士一家殺害事件 11.9 ベルリンの壁崩壊 12.3 米ソ首脳のマルタ会談で東西冷戦終結宣言 12.22 「教育職員免許法」一部改正 ※高校社会を地理歴史と公民に

1990年（平成2年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.25 A日程・前期日程個別学力検査（～2.26）※1990年度入学者選抜に係る個別学力検査について、教育学部は連続方式A日程、その他の学部は分離分割方式前期日程・後期日程で実施 3.11 後期日程個別学力検査（～3.12） 4.1 前年度に引き続き、工学部の建築学科、建築工学科、工業化学科、合成化学科、画像工学科および画像応用工学科の6学科1共通講座を、建築学科、応用化学科、機能材料工学科および画像工学科の4大学科1共通講座に改組し、かつ大講座制を採用 5.24 「寄附講座及び寄附研究部門規程」を制定 ※最初の開設は1992年度開講の看護学部家族看護学（千葉銀行）講座 7.19 評議会、全学的検討組織（一般教育関係等）の設置について承認 9.19 千葉県留学生交流推進会議の設立に参画	1.13 共通第1次学力試験に代えて第1回大学入試センター試験が実施される（～1.14） 1.30 中央教育審議会「生涯学習の基盤整備について」答申 2.28 第2次海部俊樹内閣成立、保利耕輔、文部大臣に就任 3.10 JR京葉線、東京－蘇我間全線開通 3.24 千葉マリスタジアム、幕張にオープン 4.1 大阪で国際花と緑の博覧会（花の万博）開催（～9.30） 8.2 イラク軍がクウェートに侵攻 8.21 森重文、フィールズ賞受賞 8.一 文部省、生涯学習審議会を設置 10.3 東西ドイツ統一、ドイツ連邦共和国成立 11.12 即位の礼が行われる 11.17 長崎雲仙の普賢岳が約200年ぶりに噴火 12.2 TBS秋山豊寛記者、ソ連のソユーズ宇宙船で日本人初の宇宙飛行 12.29 海部俊樹内閣改造、井上裕、文部大臣に就任

1991年（平成3年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.21 学長が評議会に「千葉大学教養部・法経学部改組（学長提案）」を提出 3.5 評議会内第2小委員会に一般教育等検討専門部会を設置 3.13 学長から全部局長あてに「一般教育の在り方」に関するアンケート実施 3.23 平成2年度卒業式を千葉公園体育館で挙行 4.1 園芸学部を生物生産科学科、緑地・環境学科、園芸経済学科の3学科9大講座に改組 4.1 園芸学部、校内農場（松戸）を柏地区	1.17 湾岸戦争勃発（2.28事実上終結） 2.8 大学審議会「大学教育の改善について」「学位制度の見直し及び大学院の評価について」「学位授与機関の創設について」「短期大学教育の改善について」「高等専門学校教育の改善について」答申 3.9 新宿副都心に東京都庁の新庁舎が完成 3.19 JR成田エクスプレス運行開始 3.25 千葉ポートアリーナ開業 4.2 「学校教育法」「国立学校設置法」改正（7.1施行）※学士を学位に位置づけ、学位授

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>に移転、柏農場発足</p> <p>4.1 大学院教育学研究科(修士課程)に家政教育専攻を増設</p> <p>4.8 平成3年度入学式を千葉ポートアリーナで挙行 ※以後入学式会場は原則として千葉ポートアリーナとする(平成4年度は千葉公園体育館)</p> <p>4.12 留学生センターを設置</p> <p>4.12 学生部に留学生課を設置</p> <p>6.6 井上文部大臣、千葉大学を視察</p> <p>7.18 評議会内第1小委員会の審議事項に「大学の自己点検・評価」を追加</p> <p>7.18 評議会内に新たに拡大第1小委員会(大学改革関係)を設置</p> <p>9.19 「千葉大学学則」「千葉大学大学院学則」「千葉大学学位規程」を改正 ※学士を学位とする</p> <p>10.5 園芸学部創立80周年・柏農場開設記念式典</p> <p>10.25 学長、拡大第1小委員会に「千葉大学改革の視点と方策」を提出</p> <p>11.16 大学院自然科学研究科棟竣工記念式典</p> <p>11.21 名誉教授章のデザイン変更</p>	<p>与機構の創設など</p> <p>4.19 中央教育審議会「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」答申</p> <p>4.23 文部省、文教施策推進本部設置</p> <p>5.17 大学審議会、「平成5年度以降の高等教育の計画的整備について」「大学院の整備充実について」「大学設置基準等及び学位規則の改正について」答申</p> <p>6.3 長崎雲仙普賢岳で大規模火砕流</p> <p>6.3 「大学設置基準」「学位規則」等改正(7.1施行) ※設置基準の大綱化、自己評価制度の導入、学位制度の変更(博士・修士の種類廃止、専攻分野の付記など)</p> <p>6.12 千葉都市モノレール、スポーツセンター千葉開業</p> <p>7.1 学位授与機構設置</p> <p>7.11 学術審議会、学術研究環境の改善を図るよう文部大臣に要望</p> <p>9.17 かずさアカデミアパーク設立</p> <p>11.5 宮澤喜一内閣成立、鳩山邦夫、文部大臣に就任</p> <p>11.19 プロ野球ロッテオリオンズが本拠地を千葉マリスタジアム(千葉市)に移転し、球団名を千葉ロッテマリーンズに改名</p> <p>11.25 大学審議会「大学院の量的整備について」答申</p> <p>12.5 ソビエト連邦解体</p>

1992年(平成4年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>2.15 看護実践研究指導センター10周年シンポジウム</p> <p>2.20 「千葉大学自己点検・評価に関する要綱」を決定</p> <p>3.23 平成3年度卒業式を千葉ポートアリーナで挙行 ※以後卒業式会場は原則として千葉ポートアリーナとする</p> <p>4.1 千葉市の政令指定都市移行に伴い、西千葉地区および亥鼻地区の住所表示が、それぞれ千葉市稲毛区弥生町および千葉市中央区亥鼻に変更</p> <p>4.1 教育学部に特殊教育特別専攻科(発達障害教育専攻/1年課程)を設置 ※臨時言語障害教育教員養成課程は1992年度で廃止</p>	<p>1.24 科学技術会議「新世紀に向けてとるべき科学技術の総合的基本方策について」答申</p> <p>3.23 「学校教育法施行規則」改正 ※9月から月1回の学校週5日制導入</p> <p>4.1 千葉市が全国12番目の政令指定都市に移行</p> <p>5.2 国家公務員の完全週休2日制開始</p> <p>6.3 地球サミット(環境と開発に関する国連会議)開催(リオデジャネイロ)</p> <p>6.15 「国連平和維持活動等協力法」(PKO法)成立</p> <p>7.1 国立学校財務センター発足</p> <p>7.23 学術審議会「21世紀を展望した学術研究の総合的推進方策について」答申</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 看護学部へ寄附講座として家族看護学(千葉銀行)講座を開設(1997.3.31まで)	7.29 生涯学習審議会「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」答申
4.7 第1回千葉大学自己点検・評価委員会を開催 ※以降、全部局にそれぞれ自己点検・評価委員会が設置される	9.12 学校週5日制開始(毎月第2土曜日が休業)
4.8 平成4年度入学式を千葉公園体育館で挙げる	9.12 毛利衛、NASAスペースシャトル「エンデバー」で日本人宇宙飛行士として初の宇宙飛行
4.10 アイソトープ総合センターを学内共同利用施設として設置	9.17 PKOによる自衛隊第1陣カンボジアへ派遣
5.1 土曜閉庁(週休2日制)の完全実施	10.17 米国留学中の高校生、不審者と誤認され射殺される
5.22 教育学部附属養護学校創立20周年記念式典	12.1 気圧の単位がミリバールからヘクトパスカルに変更
6.11 学長選挙実施、吉田亮学長再選	12.6 成田空港第2ターミナルビル開業
8.1 吉田亮、学長に再任	12.10 「国家公務員の労働時間短縮対策について(総務庁人事局長通知)」に基づき、超過勤務縮減のための環境整備の1つとして、「全省庁一斉定時退庁日(毎週水曜日)」を設定 ※1993年1月より施行
9.17 千葉大学教務委員会を設置、あわせて普遍教育等専門部会を置く	12.12 宮澤喜一内閣改造、森山眞弓、文部大臣に就任
9.28 ティーチング・アシスタントを導入 ※大学院博士課程後期の優秀な学生に対して、教育補助業務を行わせる	
10.15 リカレント教育推進委員会を設置	
11.10 学長、部局長会議に「千葉大学の高度化・個性化・活性化のための方策」を提示	
12.24 千葉県、千葉市、千葉県商工会議所、県内他大学等関係機関と協力して、千葉地域リカレント教育推進協議会が発足	

1993年(平成5年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.9 拡大第1小委員会(大学改革関係)、「大学改革にかかる諸構想について」審議	4.1 行政文書の用紙規格のA判化 ※原則B5判からA4判に変更
3.15 理学部附属海洋生態系研究センター小湊実験場棟竣工披露	5.15 サッカーJリーグ開幕
3.18 教育学部臨時言語障害教育教員養成課程の閉課程ならびに特殊教育特別専攻科設置記念式典	6.9 皇太子徳仁親王ご成婚
3.- 冊子「千葉大学のめざす新しいカリキュラム 教育改革の基本計画」を公表、全学教職員に配布	7.7 先進国首脳会議(東京サミット)
4.1 大学院看護学研究科(修士課程)に代え、大学院看護学研究科(看護学専攻/博士前期課程・博士後期課程)を設置 ※国立大学で初めての看護系博士後期課程	7.12 北海道南西沖地震
4.1 大学院工学研究科(修士課程)の5専攻(工業意匠学専攻、機械工学専攻、機械工	7.15 千葉県船橋市に屋内人工スキー場SSAWS(ザウス)オープン
	7.16 横浜ランドマークタワー開業
	8.9 細川護熙内閣成立、赤松良子、文部大臣に就任
	8.26 東京レインボーブリッジ開通
	9.16 大学審議会「夜間に教育を行う博士課程等について」答申
	9.30 冷害でコメ緊急輸入決定
	11.1 欧州連合(EU)発足

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>学第二専攻、電気工学専攻、電子工学専攻)を改組し、専攻の増設を含め、4専攻(工業意匠学専攻、機械工学専攻、情報工学専攻、電気電子工学専攻)とする</p> <p>4.8 平成5年度入学式を千葉ポートアリーナで挙行 ※以後入学式会場は千葉ポートアリーナとする</p> <p>6.11 冊子「千葉大学のめざす新しいカリキュラム 実施計画」を公表、全学教職員に配布</p> <p>6.23 大学院看護学研究科博士課程設置記念式典</p> <p>8.4 第42回関東甲信越大学体育大会を当番大学として開催(～8.11)</p> <p>8.30 『田町・松戸・西千葉 写真で見る七十年史—千葉大学工学部のあゆみ』刊行</p> <p>9.- 千葉大学自己点検・評価報告書「現状と課題 千葉大学—常により高きものへ—」を刊行</p> <p>10.1 国費留学生のための日本語予備教育を開始</p> <p>11.1 千葉大学広報第75号「特集 千葉大学がめざす大学改革」発行</p> <p>12.1 教育学部音楽棟竣工記念式典</p>	<p>11.18 国立大学協会、1997年度入試から「分離・分割方式」に統合し「後期日程」の募集人員比率を30%以上とすることを決定</p> <p>11.19 「環境基本法」公布 ※「公害対策基本法」廃止</p> <p>12.9 白神山地、法隆寺、姫路城、屋久島が日本で初めての世界遺産登録</p>

1994年(平成6年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>2.- 「教育改革の基本計画」を主な内容とする大学教育ニュース「探究」第1号を発行</p> <p>3.31 教養部廃止、『教養部のあゆみ』刊行</p> <p>3.31 医学部の医学専門課程、医学進学課程を廃止</p> <p>3.31 拡大第1小委員会(大学改革関係)の廃止</p> <p>4.1 文学部を改組して、行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科の4学科とする</p> <p>4.1 教育学部にスポーツ科学課程を増設</p> <p>4.1 理学部を改組して、数学・情報数理学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科の5学科とする</p> <p>4.1 大学院自然科学研究科(博士後期課程)の数理・物質科学専攻を物質科学専攻に名称変更し、情報システム科学専攻を増設</p>	<p>4.26 中華航空機が名古屋空港で着陸に失敗炎上</p> <p>4.28 羽田孜内閣成立、赤松良子、文部大臣に再任</p> <p>5.6 英仏間の海峡トンネル開通</p> <p>6.27 松本サリン事件</p> <p>6.28 大学審議会「教員採用の改善について」答申</p> <p>6.30 村山富市内閣成立、与謝野馨、文部大臣に就任</p> <p>7.8 日本女性初の宇宙飛行士向井千秋がスペースシャトル「コロンビア」に搭乗</p> <p>9.4 関西国際空港開港</p> <p>10.4 北海道東方沖地震</p> <p>10.13 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞決定</p> <p>10.26 かずさDNA研究所オープン</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 前年度に引き続き、大学院工学研究科（修士課程）の6専攻（建築学専攻、建築工学専攻、工業化学専攻、合成化学専攻、画像工学専攻、画像応用工学専攻）を改組し、専攻の増設を含め、4専攻（建築学専攻、応用化学専攻、機能材料工学専攻、画像工学専攻）とする</p> <p>4.1 看護学部で社会人選抜を開始</p> <p>4.1 普遍教育科目および専門教育科目で構成される4(6)年一貫教育のための新カリキュラムを実施</p> <p>4.1 大学教育委員会を設置（教務委員会の廃止）※普遍教育等を全学協力体制により実施することを目的</p> <p>5.- 千葉大学学生健康保険組合を千葉大学学生保健互助会に改称</p> <p>6.21 留学生センター竣工記念式典</p> <p>6.23 学長選挙実施（～6.24）、丸山工作理学部長当選</p> <p>6.24 薬学部附属薬用植物園の改組により、薬学部附属薬用資源教育研究センターを設置</p> <p>6.24 外国語センターを設置</p> <p>6.24 共同研究推進センターを学内共同利用施設として設置</p> <p>6.24 事務局庶務部に企画室を設置して、普遍教育実施のための事務体制を整備</p> <p>7.- 新カリキュラム（普遍教育）について1年次学生へのアンケート調査</p> <p>8.1 丸山工作、第10代学長に就任</p> <p>9.22 「西千葉地区キャンパス整備計画大綱」策定</p> <p>11.25 共同研究推進センター開所式</p>	

1995年（平成7年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>2.1 留学生および外国人研究者のための宿舎として国際交流会館等を整備（3.14落成式）</p> <p>3.16 シンポジウム「普遍教育これでいいのか… 1年の反省と教訓」を開催</p> <p>3.29 阪神淡路大震災で被災した受験生に対し、平成7年度千葉大学特例入試を実施</p> <p>4.1 学長特別補佐を設置（学内措置）</p> <p>4.1 大学院社会文化科学研究科（日本研究専攻、都市研究専攻／博士後期課程）を設置</p>	<p>1.1 世界貿易機関（WTO）発足</p> <p>1.17 阪神淡路大震災</p> <p>3.20 地下鉄サリン事件</p> <p>4.22 月2回の学校週5日制が開始（毎月第2・第4土曜日が休業）</p> <p>7.30 八王子スーパー強盗殺人事件</p> <p>8.1 千葉都市モノレール、千葉-千葉みなと間開通</p> <p>8.8 村山富市内閣改造、島村宜伸、文部大</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 大学院園芸学研究科（修士課程）の5専攻（園芸学専攻、農芸化学専攻、造園学専攻、園芸経済学専攻、環境緑地学専攻）を3専攻（生物生産科学専攻、緑地・環境学専攻、園芸経済学専攻）に改組</p> <p>4.1 映像隔測研究センターを改組転換し、全国共同利用研究施設として環境リモートセンシング研究センターを設置</p> <p>4.1 医学部附属病院に病理部を設置</p> <p>4.1 けやき会館竣工、利用を開始</p> <p>4.1 生涯学習推進委員会を設置 ※この年から公開講座を全学公開講座（教務課担当）と部局主催講座（部局担当）の2本立てで実施</p> <p>4.27 けやき会館竣工記念式典</p> <p>4.28 けやき会館開館記念講演会</p> <p>8.8 戸田健夫元教育学部教授が水彩画「古城白月」を寄贈（けやき会館1階エントランスホール）</p> <p>9.21 国際交流基本構想委員会を設置</p> <p>9.25 『千葉大学看護学部創立20周年記念誌』刊行</p> <p>9.26 大学院社会文化科学研究科設置記念式典</p> <p>10.14 千葉大学生涯学習友の会「けやき倶楽部」発足</p>	<p>臣に就任</p> <p>8.28 文部省「教育・学術・文化・スポーツ分野における情報化実施指針」策定</p> <p>9.18 大学審議会「大学運営の円滑化について」答申</p> <p>11.15 「科学技術基本法」公布・施行</p>

1996年（平成8年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.31 環境リモートセンシング研究センター開所式</p> <p>3.- 国際交流基本構想委員会、報告書「21世紀の千葉大学国際化・国際交流推進基本構想」提出</p> <p>3.- 「千葉大学改革の歩みーより高きを求めて 1990-1994」を刊行</p> <p>4.1 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（後期3年のみの博士課程）が設置され、埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学が参画</p> <p>4.1 大学院自然科学研究科の4専攻を博士後期課程とし、新たに多様性科学専攻を増設。大学院理学研究科、工学研究科、園芸学研究科（各修士課程）を廃止し、当該各研究科に置かれていた専攻を広領域の10専攻に再編のうえ自然科学研究科の博士前期課程として</p>	<p>1.11 第1次橋本龍太郎内閣成立、奥田幹生、文部大臣に就任</p> <p>2.16 厚生大臣が薬害エイズ問題で謝罪</p> <p>4.1 千葉県庁、新庁舎使用開始</p> <p>4.24 生涯学習審議会「地域における生涯学習機会の充実方策について」答申</p> <p>6.18 「住専処理法」など金融関連6法成立</p> <p>7.2 「科学技術基本計画」閣議決定</p> <p>7.19 中央教育審議会「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」第1次答申</p> <p>10.20 初の小選挙区比例代表並立制選挙（衆議院）実施</p> <p>10.29 大学審議会「大学教員の任期制についてー大学における教育研究の活性化のためにー」答申</p> <p>11.7 第2次橋本龍太郎内閣成立、小杉隆、</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>組入れ ※これにより大学院自然科学研究科は前期10専攻(数学・情報数理学、理化学、生命・地球科学、デザイン科学、知能情報科学、電子機械科学、物質工学、像科学、生物資源科学、環境計画学)、後期5専攻(物質科学、情報システム科学、生産科学、環境科学、多様性科学)の区分制博士課程として新たにスタート</p> <p>4.1 国際交流基本構想委員会の答申に基づき、千葉大学国際交流委員会(委員長は学長)を設置</p> <p>5.11 副学長を設置 ※学長特別補佐を廃止</p> <p>5.11 教育学部附属教育実践研究指導センターおよび問題行動総合研究指導室を廃止転換し、教育学部附属教育実践総合センターを設置</p> <p>5.11 医学部附属病院に光学医療診療部を設置</p> <p>5.11 学生部を事務局に一元化</p> <p>5.11 事務局庶務部を総務部に名称変更、あわせて庶務部庶務課を総務部総務課に名称変更、総務部に国際交流課を増設</p> <p>5.11 創立五十周年記念事業委員会発足(この下に記念事業募金推進委員会および五十年史編集委員会を設置)</p> <p>7.19 共同研究推進センター棟竣工記念式典</p> <p>7.22 国際交流会館竣工記念式典</p> <p>7.28 第1回千葉大学サマースクールを開催(～8.30) ※高校生を対象に、大学における新しい教育研究の一端に触れてもらう</p> <p>7.- 附属図書館亥鼻分館新館竣工(11.26 竣工記念式典)</p> <p>8.30 リサーチ・アシスタントを導入 ※大学院博士課程後期の優秀な学生に対して、研究補助業務を行わせる</p> <p>9.20 教育学部附属教育実践総合センター設置記念式典</p> <p>9.- 医学部附属病院の理学療法部をリハビリテーション部に名称変更</p> <p>9.- 文部省短期留学推進制度に基づく派遣を実施</p> <p>10.4 短期留学国際プログラム(J-PAC)による集中受け入れを開始</p> <p>10.18 教育学部附属小学校統合30周年記念式典</p>	<p>文部大臣に就任</p> <p>11.21 総理大臣の直属機関として「行政改革会議」を設置</p> <p>12.17 ペルーの日本大使公邸占拠事件</p> <p>12.25 「行政改革プログラム」閣議決定</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
11.21 高校生および高校卒資格のない社会人に科目等履修生としての入学資格を認める(1997年度より実施)	

1997年(平成9年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.18 アイソトープ総合センター竣工記念式典	1.2 ロシアのタンカーが鳥根県沖で沈没し大量の重油が流出
2.25 個別学力検査を「分離・分割方式」に統合(～26前期、3.12後期)	1.24 文部大臣「教育改革プログラム」公表
4.1 大学院薬学研究科(博士課程)に独立専攻(医療薬学専攻)を設置	1.29 大学審議会「平成12年度以降の高等教育の将来構想について」答申
4.1 大学院自然科学研究科(博士後期課程)の改組により、生産科学専攻を廃止し、人工システム科学専攻、生命資源科学専攻を増設	3.22 秋田新幹線開業
4.1 真核微生物研究センターを廃止転換し、全国共同利用研究施設として真菌医学研究センターを設置	3.30 国内最大の三井三池炭鉱が閉山
4.15 教育学部附属中学校新校舎竣工記念式典	4.1 消費税率5%に引き上げ
4.- スペース・コラボレーション・システム(衛星を利用する大学間遠隔教育研究支援のシステム)を導入	4.15 財政改革で国立大学教員養成課程の定員5千人削減計画発表
6.11 大学としての公式ウェブサイトの運営を開始	5.27 神戸連続児童殺傷事件(酒鬼薔薇事件)発覚
6.26 評議会、先進科学プログラムの導入を了承(12月に選抜を実施)	6.13 「大学の教員等の任期に関する法律」公布(8.25施行)
9.18 先進科学センターを学内措置により設置	6.17 「臓器移植法」成立
10.6 真菌医学研究センター開所記念式典	6.26 中央教育審議会「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」第2次答申 ※希有な才能の持ち主に対して大学入学年齢制限を17才に緩和、当面対象分野は数学・物理に限る
11.8 医学部附属看護学校創立50周年記念式典	7.1 香港が英国から中国に返還
12.8 「千葉大学普遍教育シンポジウムー現状と課題」を開催	7.31 「学校教育法施行規則」改正 ※数学・物理学分野での大学への飛び入学
12.18 「千葉大学における教員の任期に関する規程」制定 ※教員任期制の導入	8.31 英ダイアナ元皇太子妃がパリで事故死
	9.11 橋本龍太郎内閣改造、町村信孝、文部大臣に就任
	10.1 長野新幹線開業
	11.17 北海道拓殖銀行が経営破綻
	11.24 山一証券が自主廃業申請
	12.3 行政改革会議、最終報告 ※1府12省庁への移行提言(文部省と科学技術庁を統合)など
	12.11 京都議定書採択(地球温暖化防止)
	12.18 大学審議会「高等教育の一層の改善について」「遠隔授業の大学設置基準における取扱い等について」「通信制の大学院について」答申
	12.18 東京湾アクアライン開通

1998年（平成10年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.22 学長、評議会で「普遍教育に対する学長提案」を発表（電子メールで教員全員に通知）</p> <p>2.19 「教員倫理規程」制定</p> <p>3.31 医学部附属高次機能制御研究センターを廃止（3.26閉所式）</p> <p>4.1 工学部を、都市環境システム学科、デザイン工学科、電子機械工学科、情報画像工学科、物質工学科の5学科に改組</p> <p>4.1 大学院医学研究科（博士課程）に独立専攻（高次機能系専攻）を設置</p> <p>4.1 大学院自然科学研究科（博士後期課程）の3専攻（物質科学専攻、情報システム科学専攻、環境科学専攻）を廃止し、物質高次科学専攻、情報科学専攻、人間・地球環境科学専攻の3専攻を設置</p> <p>4.1 大学院文学研究科（修士課程）の4専攻（行動科学専攻、史学専攻、日本文学専攻、欧米言語文化専攻）を人文科学専攻の1専攻に改組</p> <p>4.1 先進科学プログラムを開始（入学者3名）</p> <p>5.- 西川恵子教授（大学院融合科学研究科）が猿橋賞を受賞</p> <p>6.10 千葉大学有識者会議を設置</p> <p>6.11 学長選挙実施、磯野可一名誉教授当選</p> <p>6.- 各局の職員組合を統合して千葉大学教職員組合が発足</p> <p>8.1 磯野可一、第11代学長に就任</p> <p>8.10 第1回数理学コンクール開催（11.3表彰式）</p> <p>10.14 学長補佐を設置</p> <p>12.1 『看護学校のあゆみ 千葉大学医学部附属看護学校50周年記念誌』刊行</p>	<p>1.18 大蔵省接待汚職事件で東京地検特捜部が関係者を逮捕</p> <p>2.2 郵政省が新郵便番号制を導入（郵便番号が7ケタに）</p> <p>2.7 第18回冬季オリンピックを長野で開催（～2.22）</p> <p>3.11 金融持株会社の設立解禁</p> <p>3.25 「特定非営利活動促進法」（NPO法）公布</p> <p>3.31 「大学設置基準」「大学院設置基準」等改正 ※メディアを利用して行う授業、通信教育を行う修士課程など</p> <p>4.1 日本版金融ビッグバン開始</p> <p>4.5 明石海峡大橋開通</p> <p>5.6 「大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律」（TLO法）公布（8.1施行）</p> <p>5.29 「研究交流促進法」一部改正 ※産学共同研究に係る国有地の廉価使用</p> <p>6.22 金融監督庁発足</p> <p>6.30 中央教育審議会「新しい時代を拓く心を育てるために一次世代を育てる心を失う危機」答申</p> <p>7.25 和歌山毒物カレー事件</p> <p>7.29 教育課程審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教育課程の基準の改善について」答申 ※小中学校の授業内容3割削減など盛り込む（いわゆる「ゆとり教育」）</p> <p>7.30 小淵恵三内閣成立、有馬朗人、文部大臣に就任</p> <p>8.5 「特定大学技術移転事業の実施に関する指針」告示</p> <p>8.31 「大学等におけるヒトのクローン個体の作製についての研究に関する指針」告示</p> <p>8.31 北朝鮮ミサイル「テポドン」が日本列島上空を越え三陸沖に着弾</p> <p>9.17 生涯学習審議会「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申</p> <p>9.21 中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」答申</p> <p>10.21 「国民の祝日に関する法律」改正 ※ハッピーマンデー導入</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	10.26 大学審議会「21世紀の大学像と今後の改革方策について－競争的環境の中で個性が輝く大学－」答申 12.14 小学校、中学校の学習指導要領告示（2002年度から全面实施）

1999年（平成11年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.21 電子光情報基盤技術研究センターを設置	1.1 欧州連合単一通貨「ユーロ」誕生
4.1 法経学部にて総合政策学科を増設	2.28 臓器移植法に基づく初の脳死移植実施
4.1 教育学部に生涯教育課程を増設	3.9 大学審議会「大学設置基準等の改正について」答申
4.1 大学院教育学研究科（修士課程）に看護教育専攻を増設し、夜間専攻として学校教育臨床専攻を新設	3.24 千葉都市モノレール、千葉－県庁前間開通
4.1 大学院自然科学研究科（博士後期課程）に数理物性科学専攻を増設	4.1 「改正男女雇用機会均等法」施行
4.1 理学部附属海洋生態系研究センターの転換により、共同利用教育研究施設として海洋バイオシステム研究センターを設置	4.27 「国の行政組織等の減量、効率化等に関する基本的計画」閣議決定 ※国立大学の法人化は2003年までに結論
4.1 先進科学センター（学内措置）を改組拡充し、共同利用教育研究施設として先進科学教育センターを設置	5.28 「学校教育法」「国立学校設置法」改正（2000.4.1施行）※大学3年以上在学での早期卒業、研究科以外の基本組織、国立大学の運営諮問会議など
4.1 医学部附属病院に感染症管理治療部を設置	6.9 生涯学習審議会「学習の成果を幅広く生かす」「生活体験・自然体験が日本の子どもの心をはぐくむ」答申
4.1 事務局総務部に研究協力課および企画広報室を増設（企画室を廃止）、経理部に契約室を増設、学生部に普遍教育室を増設	6.23 「男女共同参画社会基本法」公布・施行
4.15 「セクシュアル・ハラスメントに関する規程」制定	6.29 学術審議会「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」答申
6.29 理学部校舎新館（第1期）竣工記念式典	7.16 「文部科学省設置法」「独立行政法人通則法」公布（2001.1.6施行）※中央省庁改革の関連法公布
7.19 学生の胸部レントゲン検査（臨時）を実施（～7.27）	7.26 厚生大臣、結核緊急事態を宣言
7.23 放送大学との単位互換協定（双方向）締結	7.27 内閣に「司法制度改革審議会」を設置（～2001.7.26）
8.6 電子光情報基盤技術研究センター竣工記念式典	8.9 大学審議会「大学院入学者選抜の改善について」答申
9.18 医学部附属病院で「西暦2000年問題」大演習を実施	8.13 「国旗及び国歌に関する法律」公布・施行
9.－ 学長メッセージ「独立行政法人化に関する千葉大学の対応」を発表	8.13 「国家公務員倫理法」公布（2000.4.1施行）
11.5 千葉大学創立50周年記念式典・講演会・祝賀会を開催	8.13 「産業活力再生特別措置法」公布 ※日本版バイ・ドール制度
11.5 『千葉大学五十年史』刊行	9.14 「大学設置基準」「大学院設置基準」改

千葉大学関係	高等教育・社会一般
12.31 医学部附属病院で年越し待機体制 (~2000.1.1) ※コンピュータ西暦2000年問題	正 ※大学の自己点検・自己評価と公表の義務化、履修科目登録の上限設定、専門大学院の創設、修士課程年限の弾力化 9.30 茨城県東海村のJOCウラン加工施設で臨界事故 10.5 小淵恵三内閣改造、中曽根弘文、文部大臣に就任 12.16 中央教育審議会「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」答申 12.20 マカオがポルトガルから中国に返還 12.22 「独立行政法人大学入試センター法」公布(2001.1.6施行) ※省庁再編の関連法(独立行政法人設置の個別法など)公布 12.31 パナマ運河が米国からパナマに返還

2000年(平成12年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.12 医学部附属病院で第1回有識者懇談会 4.11 西千葉キャンパスに「かたらいの森」が竣工、記念石碑除幕式 5.24 教育学部附属中学校管理棟・体育館等竣工記念式典 6.30 第1回運営諮問会議 7.18 社会文化科学系総合研究棟竣工記念式典 11.- 事務用電子計算機システムを導入し、事務職員に一人1台のパソコン環境を整備	3.28 「国家公務員倫理規程」制定(4.1施行) 4.1 介護保険制度スタート 4.1 学位授与機構が大学評価・学位授与機構に改組 4.5 第1次森喜朗内閣成立、中曽根弘文、文部大臣に再任 4.19 「産業技術力強化法」公布 ※TLOの国立大学施設無償使用 6.14 文部省研究調査協力者会議「大学における学生生活の充実方策についてー学生の立場に立った大学づくりを目指してー」報告 7.1 金融監督庁と大蔵省金融企画局を統合し、金融庁発足 7.4 第2次森喜朗内閣成立、大島理森、文部大臣に就任 7.19 二千円紙幣発行 7.21 先進国首脳会議(沖縄サミット) 7.31 文部省「国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議」発足 9.1 三宅島雄山噴火で全住民避難 10.10 白川英樹、ノーベル化学賞受賞決定 11.22 大学審議会「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」「大学入試の改善について」「大学設置基準等の改正について」答申 12.1 BSデジタル放送開始 12.1 「行政改革大綱」閣議決定 ※国立大

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	<p>学の法人化は2001年度中に調査検討の結果を整理</p> <p>12.5 森喜朗内閣改造、町村信孝、文部大臣に就任</p>

2001年（平成13年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>3.31 医学部附属肺癌研究施設を廃止</p> <p>4.1 大学院医学研究科（博士課程）、大学院薬学研究科（博士前期・後期課程）を改組し、研究組織として大学院医学研究部、大学院薬学研究部、教育組織として大学院医学薬学教育部（修士課程・4年博士課程・後期3年博士課程）を設置（2004に医学研究院、薬学研究院、医学薬学府に名称変更） ※大学院医学薬学教育部：修士課程（総合薬品科学専攻、医療薬学専攻）、4年博士課程（環境健康科学専攻、先進医療科学専攻、先端生命科学専攻）、後期3年博士課程（創薬生命科学専攻）</p> <p>4.1 大学院教育学研究科（修士課程）にカリキュラム開発専攻（夜間開設）を増設</p> <p>4.1 大学院社会科学研究科（修士課程）法学専攻に実践法学系コースを設置 ※法科大学院構想を試行的に実施するため</p> <p>4.1 総合情報処理センターの改組転換により、総合メディア基盤センターを設置</p> <p>4.1 遺伝子実験施設を設置</p> <p>4.1 薬学部附属薬用資源教育センターが大学院医学薬学教育部附属薬用資源教育センターに移行</p> <p>4.1 医学部附属病院に総合診療部を設置</p> <p>6.6 総合情報処理センター開設記念式典</p> <p>10.2 理学系総合研究棟竣工記念式典</p> <p>12.3 理学系総合研究棟に全国初の試みである大学ミニ科学館「サイエンスプロムナード」を設置し、一般公開</p> <p>12.27 松戸中央公園（松戸市）で、「千葉大学工学部跡記念碑」除幕式</p>	<p>1.6 中央省庁再編（1府22省庁から1府12省庁）、文部省と科学技術庁が統合され文部科学省発足</p> <p>1.6 森喜朗内閣改造、町村信孝、文部科学大臣に就任</p> <p>1.6 内閣府設置法に基づき、「総合科学技術会議」設置</p> <p>1.6 新「中央教育審議会」が発足 ※「大学審議会」は中央教育審議会の「大学分科会」に再編</p> <p>2.9 実習船えひめ丸、米潜水艦と衝突沈没</p> <p>3.3 スポーツ振興くじ発売開始（サッカーくじ「toto」）</p> <p>3.29 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」告示</p> <p>3.30 「第2期科学技術基本計画」閣議決定</p> <p>3.30 「大学設置基準」改正 ※講座・科目以外の教員組織が可能</p> <p>3.31 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業</p> <p>4.1 「情報公開法」施行</p> <p>4.1 各省庁の研究所など84の事務事業が整理統合され、57の独立行政法人が誕生 ※文科省・文化庁関連では、国立特殊教育総合研究所、国立科学博物館、国立博物館、国立美術館、国立国語研究所、文化財研究所など</p> <p>4.26 第1次小泉純一郎内閣成立、遠山敦子、文部科学大臣に就任</p> <p>5.11 総理大臣、国会答弁で国立大学の民営化に言及</p> <p>5.25 経済産業省、「新市場・雇用創出に向けた重点プラン」（平沼プラン）公表</p> <p>6.8 大阪教育大学附属池田小学校で学外者による児童殺傷事件</p> <p>6.11 文部科学大臣、経済財政諮問会議に「大学（国立大学）の構造改革の方針」（遠山プラン）および「大学を起点とする日本経済活性化のための構造改革プラン」を提示</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	6.12 司法制度改革審議会、意見書提出 ※法科大学院制度の創設 6.26 「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」閣議決定（骨太の方針） 9.4 東京ディズニーシー開園 9.10 狂牛病（BSE）感染、国内で発生確認 9.11 米国で同時多発テロ事件 10.10 野依良治、ノーベル化学賞受賞決定 10.29 「テロ対策特別措置法」制定 ※9.11の米国同時多発テロ事件を受けて 11.16 「司法制度改革推進法」公布（12.1施行） 12.4 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2000」結果公表 12.6 「保健婦助産婦看護婦法」改正（2002.3.1施行）※題名を「保健師助産師看護師法」に改める 12.13 文部科学省、「大学（国立大学）の構造改革の方針について」発表 12.24 「平成14年度予算政府案」閣議決定 ※トップ30の推進

2002年（平成14年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3.1 千葉大学校友会設立総会 3.31 医学部附属看護学校、同附属助産婦学校、同附属診療放射線技師学校廃止（3.8閉校式） 3.- 工学系総合研究棟竣工 4.1 大学院看護学研究科に看護システム管理学専攻（修士課程・3年）を増設 ※全国初の現職看護管理者の修士課程 4.1 大学院自然科学研究科（博士前期課程）の4専攻（デザイン科学専攻、知能情報科学専攻、電子機械科学専攻、物質工学専攻）を7専攻（デザイン専攻、建築専攻、機械システム専攻、電子情報システム専攻、知能情報工学専攻、物質化学工学専攻、材料・物性工学専攻）に改組し、都市環境システム専攻を増設 4.1 大学院自然科学研究科等事務部を設置 4.- 「大学法人化検討事務協議会」を設置 ※本学の法人化への対応を検討する組織 5.24 教育学部附属養護学校創立30周年記	2.21 中央教育審議会「新しい時代における教養教育の在り方について」「今後の教員免許制度の在り方について」「大学等における社会人受入れの推進方策について」答申 3.25 「国立大学の学科及び課程に関する省令」制定（4.1施行）※「国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令」廃止 3.26 国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議「新しい「国立大学法人」像について」（最終報告） 4.1 完全学校週5日制スタート 4.1 小・中学校の「学習指導要領」実施（1998年告示）※いわゆる「ゆとり教育」 5.31 サッカー・ワールドカップ日韓大会開幕（アジアで初の開催、初の2カ国共同開催） 6.14 文部科学省、「21世紀COEプログラム（研究拠点形成費補助金）」公募

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>念式典</p> <p>5.1 自然科学系総合研究棟2竣工</p> <p>6.6 学長選挙実施（～6.7）、磯野可一学長再選</p> <p>8.1 磯野可一、学長に再任</p> <p>8.5 猪鼻城跡（千葉大学亥鼻地区構内遺跡）発掘調査説明会 ※医薬系総合研究棟建設予定地でこの年の5月より発掘調査を実施</p> <p>8.26 第51回関東甲信越大学体育大会を主管大学として開催（～8.31）</p> <p>9.12 医薬系総合研究棟新営工事等安全祈願祭</p> <p>11.6 工学系総合研究棟及び自然科学系総合研究棟竣工合同記念式典</p> <p>12.1 創造工学センター竣工</p>	<p>6.25 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針」閣議決定（骨太の方針2002）※国立大学の法人化と教員・事務職員等の非公務員化を2004年度目途に開始</p> <p>7.29 中央教育審議会「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」答申</p> <p>8.5 中央教育審議会「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」「大学院における高度専門職業人養成について」「法科大学院の設置基準等について」答申</p> <p>8.5 住民基本台帳ネットワークシステム開始</p> <p>8.1 文部科学省、「国立大学等法人化準備推進本部」設置</p> <p>9.17 初の日朝首脳会談、日朝平壤宣言</p> <p>9.30 中央教育審議会「子どもの体力向上のための総合的な方策について」答申</p> <p>10.1 図書館情報大学が筑波大学に統合</p> <p>10.1 山梨大学と山梨医科大学が統合し、「山梨大学」となる</p> <p>10.2 「21世紀COEプログラム」採択大学を決定</p> <p>10.8 小柴昌俊、ノーベル物理学賞受賞決定</p> <p>10.9 田中耕一、ノーベル化学賞受賞決定</p> <p>10.15 北朝鮮の拉致被害者5人帰国</p> <p>11.29 「学校教育法」改正 ※自己点検・評価の実施及び結果の公表、第三者機関による大学認証評価の導入（2004.4.1施行）、専門職大学院制度の導入（2003.4.1施行）など</p> <p>12.4 「知的財産基本法」公布</p> <p>12.6 「法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律」公布（2003.4.1施行）</p> <p>12.13 文部科学省関連の特殊法人改革関係法の公布 ※放送大学学園の学校法人化など</p> <p>12.24 「平成15年度予算政府案」閣議決定 ※世界最高水準の大学づくりの推進</p>

2003年（平成15年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 大学院社会科学部研究科（修士課程）に総合政策専攻を増設</p> <p>4.1 フロントアメディカル工学研究開発センターを設置</p> <p>4.1 園芸学部附属農場の廃止・転換によ</p>	<p>2.1 米スペースシャトル「コロンビア」が空中分解</p> <p>3.1 知的財産戦略本部設置</p> <p>3.20 イラク戦争始まる</p> <p>3.20 中央教育審議会「新しい時代にふさわ</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
り、環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センターを設置	しい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」答申
4.1 医学部附属病院にこどものこころ診療部を設置	3.31 「専門職大学院設置基準」公布(4.1施行) ※法科大学院設置
4.1 千葉大学創立50周年記念事業基金による大学院博士(後期)課程学生の海外派遣経費の助成制度を創設	4.1 日本郵政公社発足
5.6 工学部創造工学センター看板上掲式	4.14 ヒトゲノム解読完了宣言
5.20 フロンティアメディカル工学研究開発センター開所記念式典	4.23 「国立大学設置法」改正(10.1施行) ※20大学を10大学に統合
5.23 千葉大学山中寮開所記念式典	5.8 新型肺炎(SARS)が中国などで大流行、世界保健機構(WHO)は拡大感染防止のため各地域への渡航自粛勧告を発表
6.5 三笠宮殿下が園芸学部にて御来訪	5.30 「個人情報保護法」公布
6.17 教育学部附属幼稚園創立100周年記念式典	7.16 「国立大学法人法」公布(10.1施行)
7.31 21世紀COEプログラムに3件採択「消化器扁平上皮癌の最先端多戦略治療拠点」「日本文化型看護学の創出・国際発信拠点(実践知に基づく看護学の確立と展開)」「超高性能有機ソフトデバイスフロンティア」	9.22 小泉純一郎内閣改造、河村建夫、文部科学大臣に就任
9.16 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター設置記念式典・シンポジウム	9.26 十勝沖地震
10.1 磯野可一学長、国立大学法人千葉大学の学長となるべき者として、文部科学大臣より指名される	10.1 東京商船大学と東京水産大学が統合し「東京海洋大学」となる
10.27 かたらいの森で「環境ISOキックオフ宣言」※ISO14001の取得を目指す旨の宣言	10.1 福井大学、島根大学、香川大学、高知大学、佐賀大学、大分大学、宮崎大学の7大学が、それぞれ県内の国立医科大学を統合し、新たに創設
11.- 初の千葉大学発ベンチャー企業設立	10.1 神戸商船大学が神戸大学に、九州芸術工科大学が九州大学に、それぞれ統合
12.17 創造工学センターが千葉市優秀建築賞を受賞	10.7 中央教育審議会「初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について」答申
	10.10 日本のトキが絶滅
	11.19 第2次小泉純一郎内閣成立、河村建夫、文部科学大臣に再任
	12.1 地上デジタルテレビ放送開始
	12.9 臨時閣議で「自衛隊のイラク派遣」を決定
	12.16 中央教育審議会「新たな留学生政策の展開について」答申
	12.24 BSE(牛海綿状脳症)問題で米国産牛肉輸入停止

2004年(平成16年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.10 臨時評議会「法人への移行期における学長の任期について」承認 ※現学長の任期(2002.8.1~2004.7.31)を8か月間延長して2005年3月31日までとする	1.9 陸上自衛隊にイラク派遣命令
	1.20 文部科学大臣、安全対策推進のための「学校安全緊急アピール」発表
	2.6 中央教育審議会「大学設置基準等の改

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>3.1 「千葉大学学報」第845号(最終号)発行(次号からは「国立大学法人千葉大学学報」として発行)</p> <p>3.17 理学部1号館改修工事竣工披露式</p> <p>3.- 亥鼻キャンパスに医薬系総合研究棟(第1期)が竣工し、西千葉地区から薬学の約半数の研究室が移転</p> <p>4.1 国立大学法人千葉大学発足</p> <p>4.1 第1期中期目標期間(2004年度～2009年度)開始</p> <p>4.1 磯野可一、国立大学法人千葉大学の学長に就任</p> <p>4.1 国立大学法人発足に伴う学長訓示</p> <p>4.1 第1回役員会・第1回教育研究評議会開催</p> <p>4.1 「国立大学法人千葉大学の組織に関する規則」、「国立大学法人千葉大学就業規則」等制定</p> <p>4.1 工学部物質工学科を共生応用化学科に改組し、メディカルシステム工学科を増設</p> <p>4.1 大学院専門法務研究科(法務専攻/専門職学位課程)を設置</p> <p>4.1 大学院医学研究部(研究組織)を大学院医学研究院に名称変更</p> <p>4.1 大学院薬学研究部(研究組織)を大学院薬学研究院に名称変更</p> <p>4.1 大学院医学薬学教育部(教育組織)を大学院医学薬学府に名称変更</p> <p>4.1 大学院自然科学研究科(博士後期課程)の3専攻(生命資源科学専攻、人間・地球環境科学専攻、多様性科学専攻)を4専攻(多様性科学専攻、人間環境デザイン科学専攻、地球生命圏科学専攻、生物資源応用科学専攻)に改組</p> <p>4.1 外国語センターと留学生センターを統合し、国際教育開発センターを設置</p> <p>4.1 遺伝子実験施設の廃止・転換により、バイオメディカル研究センターを設置</p> <p>4.1 電子光情報基盤技術研究センターを電子光情報基盤技術研究施設に名称変更</p> <p>4.1 アイソトープ総合センターをアイソトープ実験施設に名称変更</p> <p>4.1 共同研究推進センターの廃止・転換により、知的財産本部を設置</p> <p>4.1 保健管理センターおよび有害廃棄物処</p>	<p>正について」答申 ※大学等による自己点検・評価の実施およびその結果の公表を学校教育法に規定</p> <p>2.18 中央教育審議会「薬学教育の改善・充実について」答申</p> <p>2.19 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)施行</p> <p>3.4 中央教育審議会「今後の学校の管理運営の在り方について」答申</p> <p>4.1 89国立大学法人発足</p> <p>4.1 法科大学院(68大学、学生定員総数5,590人)創設</p> <p>4.1 文部科学省所管の6独立行政法人設立(大学評価・学位授与機構、国立高等専門学校機構、日本学生支援機構、海洋研究開発機構、メディア教育開発センター、国立大学財務・経営センター)</p> <p>4.1 大学の認証評価制度実施</p> <p>4.1 新東京国際空港が成田国際空港に改称</p> <p>4.- 新しい医師臨床研修制度が本格実施 ※大学病院等での2年以上の臨床研修必修化</p> <p>5.21 「学校教育法」等改正 ※薬学教育6年制</p> <p>5.21 「裁判員制度法」成立(運用開始は2009.5.21)</p> <p>6.1 長崎県佐世保市小学6年生女子児童同級生殺害事件</p> <p>8.6 中央教育審議会「大学入学資格検定の見直しについて」答申</p> <p>8.13 沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落</p> <p>9.27 小泉純一郎内閣改造、中山成彬、文部科学大臣に就任</p> <p>10.23 新潟県中越地震</p> <p>11.1 新一万円紙幣(福沢諭吉)、新五千円紙幣(樋口一葉)、新千円紙幣(野口英世)発行</p> <p>12.7 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2003」結果公表</p> <p>12.26 スマトラ島沖地震</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>理施設の廃止・転換により、総合安全衛生管理機構を設置</p> <p>4.1 工学部附属創造工学センター設置</p> <p>4.1 医学部附属病院で22診療科を臓器別、疾患別に再編成し、28診療科とした</p> <p>4.1 医学部附属病院の医療情報部を改組し、企画情報部を設置</p> <p>4.1 附属図書館園芸学部分館を松戸分館に名称変更 ※本館、亥鼻分館及び松戸分館において附属図書館としての組織の一元化を確立</p> <p>4.1 事務局の組織改編により、企画総務部（総務課、企画政策課、人事課、研究協力課、国際課）、財務部（財務課、経理課、契約課、情報課）、学生部（教務課、普遍教育課、学生生活課、学生支援課、入試課、留学生課）、施設環境部（施設企画課、施設整備課、施設管理課）の4部となった</p> <p>4.1 「国立大学法人千葉大学学报」第1号を発行</p> <p>4.5 第1回経営協議会開催</p> <p>4.9 大学院専門法務研究科看板上掲式</p> <p>4.- 環境マネジメントシステムの試験運用開始</p> <p>4.- キャンパスイノベーションセンター（田町）に東京サテライトオフィスを開設</p> <p>4.- 松戸キャンパス学生相談室を開設</p> <p>6.1 千葉大学柏の葉診療所設置（6.11開所式、6.15開院）</p> <p>6.- キャンパス整備企画室を設置</p> <p>7.2 医薬系総合研究棟竣工記念式典</p> <p>7.6 大学院専門法務研究科開設記念式典</p> <p>7.21 21世紀COEプログラムに採択「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」</p> <p>9.15 法科大学院等専門職大学院教育推進プログラムに採択「「実践ケース・スタディ」の開発」</p> <p>9.21 防災危機対策室を設置</p> <p>10.25 情報・広報室を設置</p> <p>12.14 学長選考に伴う学内意向聴取実施</p> <p>12.15 学長選考会議、古在豊樹園芸学部教授を次期学長に選考</p>	

2005年（平成17年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.27 西千葉キャンパスで環境ISO (ISO 14001) の認証取得 ※国立大学の総合的なキャンパスで全国初	1.28 中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像」答申
1.28 スマトラ島沖地震・津波災害被害者支援チャリティーコンサートを開催	2.16 地球温暖化防止の京都議定書発効
2.1 亥鼻キャンパス学生相談室を開設	3.25 日本国際博覧会（愛・地球博～愛知万博）開催（～9.25）
2.1 日本の大学で最初の機関リポジトリとして「千葉大学学術成果リポジトリ」(CURATOR)の正式運用開始	4.1 知的財産高等裁判所を設立
4.1 古在豊樹、第12代学長に就任	4.1 「個人情報保護法」全面施行
4.1 大学院教育学研究科（修士課程）に特別支援専攻及びスクールマネジメント専攻を増設	4.25 JR福知山線脱線事故（尼崎市）
4.1 大学院医学薬学府に医科学専攻（医学系修士課程）を増設	6.1 中央省庁で「クールビズ」開始
4.1 社会精神保健教育研究センターを設置	7.15 「学校教育法」改正（2007.4.1施行） ※大学等の准教授・助教の新設、短期大学の学位
4.1 先進科学教育センターを先進科学研究教育センターに名称変更	7.23 千葉県北西部地震
4.1 医学部附属病院に臨床試験部、フォトセンターを設置	8.24 つくばエクスプレス、秋葉原～つくば間開業
4.1 監査室を設置	8.29 米南部州に大型ハリケーン「カトリーナ」上陸、記録的被害
4.1 普遍教育委員会設置	9.5 中央教育審議会「新時代の大学院教育—国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて—」答申
7.1 医学部附属病院の卒後・生涯医学臨床研修部を改組し、総合医療教育研修センターを設置	9.11 郵政解散総選挙で自民党が圧勝
7.22 特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）に採択「診断能力向上をめざす臨床医学教育の取組み」	9.21 第3次小泉純一郎内閣成立、中山成彬、文部科学大臣に再任
8.1 事務局企画総務部人事課に給与室を設置（2006年4月、課相当の組織として企画総務部給与室に再編）	10.1 富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が統合して「富山大学」となる
8.29 大学・大学院における教員養成推進プログラムに2件採択「広域大学間連携による高度な教員研修の構築」「プレ10・ポスト10教員研修プログラム」	10.1 筑波技術短期大学が「筑波技術大学」として新たに創設
9.21 「災害対策規程」制定	10.1 日本道路公団分割民営化
9.22 看護学部創立30周年記念式典	10.21 「郵政民営化法」制定
10.1 医学部附属病院に医療安全管理部、地域医療連携部を設置	10.24 文部科学省「ポスト2005における文部科学省のIT戦略の基本的な考え方」発表
10.11 千葉大学憲章・千葉大学行動規範を制定	10.26 中央教育審議会「新しい時代の義務教育を創造する」答申
10.17 医学部附属病院に県内初の「和漢診療科」を開設	10.31 小泉純一郎内閣改造、小坂憲次、文部科学大臣に就任
10.25 魅力ある大学院教育イニシアティブに	11.17 耐震強度偽装事件発覚
	11.28 千葉都市モノレール再建問題で県が事業から撤退
	12.5 ユネスコ・OECDの共同プロジェクト「国境を越えて提供される高等教育の質保証に関するガイドライン」を新たに作成
	12.8 中央教育審議会「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」答申
	12.27 国勢調査速報値公表、初の人口自然減

千葉大学関係	高等教育・社会一般
3件採択「高度デザイン研究者養成プログラム」「地球診断学創成プログラム」「情報集積型医療創業を担う若手研究者の育成」 10.ー 附属図書館ライブラリーイノベーションセンターを設置 11.1 電子光情報基盤技術研究施設をベンチャービジネスラボラトリーに名称変更 12.19 工学部に36年間保管していた米国ウォルト・ディズニー社製作の初期アニメーション映画の原画約250点について報道機関に公表 12.21 株式会社千葉銀行と包括的連携協定を締結 12.ー 松戸及び柏の葉キャンパス、環境ISO(ISO14001)認証取得	少 ※その後2006～2009はほぼ横ばい

2006年（平成18年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.1 医学部附属病院に臨床栄養部を設置 3.1 『千葉大学看護学部創立30周年記念誌』刊行 3.14 千葉大学でAPEC国際シンポジウムを開催（けやき会館、～3.15） 4.1 薬学6年制教育導入に伴い、薬学部総合薬品科学科を薬学科（6年制）及び薬科学科（4年制）の2学科に改組 4.1 医学部に医学教育研究室を設置 4.1 大学院文学研究科（修士課程）、大学院社会科学部研究科（修士課程）、大学院社会文化科学研究科（後期3年博士課程）を改組し、大学院人文社会科学部研究科（博士前期課程・博士後期課程）を設置 ※大学院人文社会科学部研究科：博士前期課程（地域文化形成専攻、公共研究専攻、社会科学部研究専攻、総合文化研究専攻、先端経営科学専攻）、博士後期課程（公共研究専攻、社会科学部研究専攻、文化科学研究専攻） 4.1 大学院自然科学部研究科（博士前期課程）にナノスケール科学専攻を増設 4.1 普遍教育センターを設置 4.1 国際教育開発センターを改組し、国際教育センターおよび言語教育センターを設置 4.1 知的財産本部を改組し、産学連携・知的財産機構を設置	1.21 大学入試センター試験、ICプレイヤーで英語リスニングテスト開始 1.23 日本郵政株式会社発足 3.28 「第3期科学技術基本計画」閣議決定 3.30 文部科学省「大学院教育振興施策要綱」策定 3.31 「学校教育法」等の一部改正（2007.4.1施行）※成績評価基準および学位授与基準の明示など 4.1 薬剤師薬学教育6年制へ移行 4.1 「障害者自立支援法」施行 4.1 「改正高年齢者雇用安定法」施行 ※定年の引上げなど 5.1 「会社法」施行 ※商法などからの会社関係法の分離・統合 5.27 インドネシア・ジャワ島中部地震 6.2 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（行革推進法）公布 6.14 「医療制度改革関連法」成立 6.21 「学校教育法」等の一部改正（2007.4.1施行）※特別支援学校制度を創設 7.11 中央教育審議会「今後の教員養成・免許制度の在り方について」答申 ※教職大学院制度の創設、教員免許更新制の導入など 8.24 国際天文学連合が冥王星を惑星からは

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 教育総合機構、学生支援機構、アドミッション機構、学術推進機構を設置</p> <p>4.1 海外派遣及び留学生受入に関する危機管理対策室、地域連携推進企画室、情報化推進企画室、大学広報室、大学評価対応室、両立支援企画室を設置</p> <p>4.1 事務局財務部情報課と附属図書館事務部（情報管理課、情報サービス課）を再編し、事務局に情報部（情報企画課、情報システム基盤室、学術情報課、情報サービス課）を新設</p> <p>4.1 事務局企画総務部に給与室および産学連携課を増設</p> <p>4.1 事務局企画総務部に基金準備室を設置（2007年4月、課相当の組織として企画総務部基金室に再編）</p> <p>4.5 大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育研究実践支援）に採択「安全安心社会実現に資する先端ロボティクス」</p> <p>4.11 千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉と包括的連携協定を締結</p> <p>4.- 学術成果リポジトリCURATOR、学術情報検索エンジンScirusに搭載</p> <p>4.- 千葉大学やよい保育園を開設</p> <p>6.21 ジャワ島地震チャリティーバザー実施（けやき会館前）</p> <p>6.29 学術成果リポジトリ、平成18年度国立大学図書館協会賞を受賞</p> <p>7.7 産学連携・知的財産機構、技術移転機関（承認TLO）の認証を取得（7.27設置記念式典）</p> <p>8.4 特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）に2件採択「学生主体の環境マネジメントシステムの運営」「課題プロジェクトによる看護管理能力の開発」</p> <p>8.15 第55回関東甲信越大学体育大会を当番大学（主管は横浜市立大学）として開催（～9.2）</p> <p>9.1 「職員の暫定再雇用に関する規程」制定</p> <p>9.1 「千葉大広報」VOL. 135（最終号）発行 ※1981年7月創刊の「千葉大学広報」から続く広報誌「千葉大広報」は本号をもって終了</p> <p>9.20 「基金管理規程」制定</p>	<p>ずし準惑星（のちに冥王星型天体）に分類</p> <p>9.15 オウム事件・松本智津夫被告、最高裁で死刑確定</p> <p>9.26 第1次安倍晋三内閣成立、伊吹文明、文部科学大臣に就任</p> <p>10.1 認定こども園制度開始</p> <p>10.10 「教育再生会議の設置について」閣議決定</p> <p>11.22 景気回復、「いざなぎ景気」超え</p> <p>12.22 「改正教育基本法」公布・施行</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
11.10 千葉県と包括的連携協定を締結 11.20 千葉大学環境健康オフィス・柏の葉鍼灸院開設記念式典 12.20 地域観光創造センターを設置(2013.3.31廃止) ー.ー 文部科学省ががんトランスレーショナル・リサーチ事業に採択「NKT細胞免疫系を標的にした頭頸部がんの免疫細胞治療の開発に関する研究」	

2007年(平成19年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.22 亥鼻キャンパスが環境ISO(ISO14001)の認証取得 ※これにより4キャンパス全てにおいて認証取得 2.ー 「千葉大学基金」(6月に「千葉大学SEEDS基金」に名称変更)を設置し「基金後援会」を発足(7月から本格的な募金活動開始) 3.27 園芸学部卒業生による殺人事件が発覚、指名手配(2009.11.10犯人逮捕) 3.ー 「飛び入学制度」から博士誕生(大学院自然科学研究科博士後期課程修了) 4.1 園芸学部3学科を、園芸学科、応用生命化学科、緑地環境学科、食料資源経済学科の4学科に改組 4.1 大学院自然科学研究科を改組し、大学院理学研究科(基盤理学専攻、地球生命圏科学専攻/博士前期・後期課程)、大学院工学研究科(建築・都市科学専攻、デザイン科学専攻、人工システム科学専攻、共生応用化学専攻/博士前期・後期課程)、大学院園芸学研究科(環境園芸学専攻/博士前期・後期課程)、大学院融合科学研究科(ナノサイエンス専攻、情報科学専攻/博士前期・後期課程)を設置 4.1 教育学部の特殊教育特別専攻科を特別支援教育特別専攻科に名称変更 4.1 教育学部附属養護学校を附属特別支援学校に名称変更 4.1 医学部附属病院にME機器管理センターを設置 4.1 事務組織のフラット化、グループ制を実施	1.9 防衛庁から昇格して防衛省発足 1.21 国立新美術館(東京六本木)開館 1.24 教育再生会議「社会総がかりで教育再生をー公教育再生の第一歩」(第1次報告)公表 1.30 中央教育審議会「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」答申 2.15 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」決定 2.27 経済財政諮問会議「成長力強化のための大学・大学院改革について」 3.1 「専門職大学院設置基準」等の一部改正(4.1施行)※教職大学院新設など 3.10 中央教育審議会「教育基本法の改正を受けて緊急に必要とされる教育制度の改正について」答申 3.25 能登半島地震 3.29 中央教育審議会「今後の教員給与の在り方について」答申 4.1 「准教授」「助教」を新設(「助教授」廃止) 4.1 特別支援学校制度本格実施 ※盲学校・聾学校・養護学校制度からの移行 4.17 長崎市長狙撃殺害事件 4.24 全国学力・学習状況調査の実施 ※43年ぶりの「全国学力テスト」 5.1 「産業活力再生特別措置法」等の一部改正 ※イノベーションによる中長期的な生産性の向上を目指す 5.14 「日本国憲法の改正手続に関する法律」(憲法改正国民投票法)を制定 6.1 教育再生会議「社会総がかりで教育再

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 事務局の再編・合理化により、企画総務部から研究協力課、産学連携課、国際課を分離し学術国際部を新設、企画総務部の人事課、給与室を再編し人事課、職員課を設置、企画総務部に基金室を設置、学生部の学生生活課、学生支援課を学生支援課、就職支援課に再編</p> <p>4.1 医学部附属病院事務部管理課内の企画情報室を廃止し経営企画課を新設</p> <p>4.1 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター事務長を新設</p> <p>4.1 「化学物質管理規程」制定</p> <p>4.3 大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育研究実践支援）に採択「ユニバーサル生活デザイン研究の国際化」</p> <p>4.23 医学部附属病院、財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価（Ver. 5.0）認定</p> <p>4.25 「動物実験実施規程」制定</p> <p>4.- 千葉大学化学物質管理システム（CUCRIS）を導入</p> <p>5.18 女性研究者支援モデル育成プログラムに採択「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」</p> <p>5.- 理数学生応援プロジェクトに採択「理数大好き学生の発掘・応援プロジェクト」</p> <p>6.1 予防医学センターを設置（5.30開設記念式典）</p> <p>6.29 「アジア人財資金構想」（経済産業省、文部科学省）高度専門留学生育成事業に採択「グローバルアジア・デザインスクール・プログラム」</p> <p>7.6 青森県と包括的連携協定締結</p> <p>7.18 「底力宣言！千葉大学」を表明し、キックオフイベントを開催</p> <p>7.26 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラムに採択「訪問看護師として再就職したい看護職者を支援する学び直しプログラム開発」</p> <p>7.30 現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に3件採択「共生環境デザインによる房総半島活性化支援」「自律した医療組織人育成の教育プログラム」「統合型英語Online CALLシステム」</p> <p>7.31 がんプロフェッショナル養成プランに</p>	<p>生をー公教育再生に向けた更なる一歩と「教育新時代」のための基盤の再構築」（第2次報告）公表</p> <p>6.19 「経済財政改革の基本方針2007（「美しい国」へのシナリオ）」閣議決定（骨太の方針2007）※国際化・多様化を通じた大学改革、世界トップレベルを目指す大学院教育の改革、国立大学法人運営費交付金の改革など</p> <p>6.27 教育三法の改正 ※「学校教育法」（義務教育の目標、各学校の目標など）、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（教育委員会の責任体制の明確化など）、「教育職員免許法及び教育公務員特例法」（教員免許更新制の導入、指導が不適切な教員の人事管理の厳格化など）</p> <p>7.16 新潟県中越沖地震</p> <p>7.31 「大学設置基準」等の一部改正（2008.4.1施行）※成績評価基準等の明示など</p> <p>8.16 ペルー沖で地震</p> <p>8.30 日光国立公園から分離して尾瀬国立公園が誕生</p> <p>9.26 福田康夫内閣成立、渡海紀三朗、文部科学大臣に就任</p> <p>10.1 大阪大学と大阪外国語大学が統合して「大阪大学」となる</p> <p>10.1 日本郵政公社民営化</p> <p>10.20 千葉市に官民複合ビル「Qiball（きぼーる）」開館</p> <p>12.4 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2006」結果公表</p> <p>12.24 「独立行政法人整理合理化計画」閣議決定</p> <p>12.24 「平成20年度予算政府案」閣議決定 ※大学改革の推進</p> <p>12.25 教育再生会議「社会総がかりで教育再生をー学校、家庭、地域、企業、団体、メディア、行政が一体となって、全ての子供のために公教育を再生するー」（第3次報告）公表</p> <p>12.26 大学等における「履修証明制度」実施</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>採択「関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点」</p> <p>7.ー 日本学術振興会北京研究連絡センター内に中国オフィスを設立</p> <p>8.5 千葉大学中国校友会設立大会を中国農業大学内国際会議センター（北京市）において開催</p> <p>8.7 特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）に採択「パーソナルデスクラボによる実験教育の展開」</p> <p>8.9 専門職大学院等教育推進プログラムに採択「総合的実務基礎教育のモデル形成」</p> <p>8.ー 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）に採択「双方向の多様な場づくりによる学生総合支援」</p> <p>9.6 大学院教育改革支援プログラム（大学院教育GP）に5件採択「実践的公共学実質化のための教育プログラム」「高度デザイン教育プログラム」「大学院環境園芸学エキスパートプログラム」「専門看護師育成・強化プログラム」「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」</p> <p>9.15 「千葉大学校友会報」創刊号発刊</p> <p>9.19 「公的研究費等の適正な取扱いに関する規程」制定</p> <p>9.28 前期中に卒業・修了した者等による卒業式、大学院修了式・学位記授与式を開催（けやき会館）</p> <p>9.29 第1回高校生理科研究発表会開催</p> <p>9.ー 医学部附属病院、新病棟（ひがし棟）竣工（2008年5月開院）</p> <p>10.1 大学院医学薬学府博士課程、10月入学導入</p> <p>10.29 女性研究者育成キックオフシンポジウム開催</p> <p>11.1 医学部附属病院に臨床腫瘍部を設置</p> <p>11.7 千葉大亥鼻イノベーションプラザ（大学連携型インキュベーション施設）を開設し、オープニングセレモニーを開催</p> <p>11.7 千葉大学SEEDS基金のホームページ開設</p> <p>11.9 学長選考に係る学内意向聴取実施</p> <p>11.13 学長選考会議、齋藤康理事を次期学長に選考</p> <p>11.21 「千葉大学ロボット憲章」を制定</p>	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
11.ー 「グローナカルユニバーシティ」を商標登録 12.19 「公益通報者保護規程」制定	

2008年（平成20年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.1 医学部附属病院に遺伝子診療部を設置 2.ー 西千葉地区に両立支援企画室を開設し、総合相談窓口を設置 3.1 「国立大学法人千葉大学学報」第51号（最終号）発行 ※1951年8月に創刊した「千葉大学学報」は本号（2008年3月号）をもって廃刊 3.12 保坂高殿准教授（文学部）が日本学士院賞を受賞 3.25 大学院修了式・学位記授与式で千葉大オリジナルアカデミックガウンを着用 ※この年から、大学院修了式・学位記授与式は千葉県文化会館で開催（2023年まで） 3.26 大学教育の国際化加速プログラム（海外先進教育研究実践支援）に採択「感染現象の生物学フロンティア人材育成」 4.1 齋藤康、第13代学長に就任 4.1 工学部6学科を、建築学科、都市環境システム学科、デザイン学科、機械工学科、メディカルシステム工学科、電気電子工学科、ナノサイエンス学科、共生応用化学科、画像科学科、情報画像学科の10学科に改組、Bコース（夜間主コース）を廃止 4.1 教育学部養護学校教員養成課程を特別支援教育教員養成課程に名称変更 4.1 先進科学研究教育センターを先進科学センターに名称変更 4.1 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センターを環境健康フィールド科学センターに名称変更 4.1 「全学の点検・評価に関する実施要項」制定 5.4 医学部附属病院に未来開拓センターを設置 5.4 医学部附属病院、新病棟（ひがし棟）開院（4.17開院記念式典） 5.ー 学術総合推進室を設置 5.ー 広報誌「CHIBADAI Press」創刊	1.17 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」答申 1.31 教育再生会議「社会総がかりで教育再生をー教育再生の実効性の担保のためにー」（最終報告）公表 2.10 韓国南大門で放火により国宝の楼閣全焼 2.19 中央教育審議会「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策についてー知之循環型社会の構築を目指してー」答申 3.28 「学習指導要領」改訂告示（生きる力）（2011年小学校、2012年中学校で全面实施） 4.1 教職大学院制度開始 4.1 後期高齢者医療制度（長寿医療制度）スタート 4.18 中央教育審議会「教育振興基本計画についてー「教育立国」の実現に向けてー」答申 5.1 「ふるさと納税制度」開始 6.8 東京秋葉原で無差別殺傷事件 6.11 「研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律」（研究開発力強化法）公布 6.18 「学校保健法」改正 ※「学校保健安全法」に変更 7.1 「教育振興基本計画」閣議決定 ※教育基本法に基づき政府として初めて策定 7.7 先進国首脳会議（洞爺湖サミット） 7.29 「留学生30万人計画」骨子公表 8.2 福田康夫内閣改造、鈴木恒夫、文部科学大臣に就任 9.15 米国大手投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻（リーマン・ショック） 9.24 麻生太郎内閣成立、塩谷立、文部科学大臣に就任 10.1 日本政策金融公庫発足 10.6 中央教育審議会「大学設置基準等の改

千葉大学関係	高等教育・社会一般
5.- 若手研究者の自立的な研究環境整備促進プログラムに採択「優れた若手研究型人材育成システム」 6.2 未来の科学者養成講座に採択「高等教育への連続性を持つ科学体得プログラム「ラボ on the デスク」によるタウンアカデミアの展開」 6.18 グローバルCOEプログラムに2件採択「免疫システム統御治療学の国際教育研究拠点」「有機エレクトロニクス高度化スクール」 6.- 卒業生室を設置 7.- 亥鼻地区保健室を開設 8.1 「危機管理規程」「危機管理委員会規程」制定 8.19 戦略的・大学連携支援事業に採択「ユニバーサルコミュニケーションのための教養教育に向けた千葉圏域コンソーシアム」 9.11 大学院教育改革支援プログラム（大学院教育GP）に採択「ナノイメージング・エキスパートプログラム」 9.24 「教員のサバティカル研修に関する規程」制定 9.30 質の高い大学教育推進プログラムに2件採択「学習成果基盤型教育による医学教育の実質化」「高度ビジュアル化による化学実験教育」 10.29 マヒドン大学と大学間交流協定を締結 11.- 生命系科学研究推進機構を設置 12.15 「飛び入学」設立10周年記念シンポジウムを開催	正について」答申 10.7 南部陽一郎、小林誠、益川敏英、ノーベル物理学賞受賞決定 10.8 下村脩、ノーベル化学賞受賞決定 11.13 「大学設置基準」等の一部改正（2009.3.1施行）※共同教育課程制度の創設 11.26 インドのムンバイで同時多発テロ 12.1 新しい公益法人制度（一般社団法人、一般財団法人など）へ移行開始 12.24 中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」答申

2009年（平成21年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.- 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業に採択「次世代リハビリテーション医工学国際研究教育拠点の形成」 2.- 日本学術振興会若手研究者国際ショナル・トレーニング・プログラムに採択「健康植物科学コンソーシアムによる若手研究者育成プログラム」 4.1 看護学部附属看護実践研究指導センターが大学院看護学研究科附属に移行 4.1 大学院融合科学研究科附属分子エレク	3.31 「独立行政法人に係る改革を推進するための文部科学省関係法律の整備等に関する法律」公布 ※メディア教育開発センター廃止、国立国語研究所移管、国立高等専門学校再編など 4.1 教員免許更新制実施 4.27 世界保健機構（WHO）の「フェーズ4」引き上げを受けて、厚生労働省が新型インフルエンザ等感染症発生を宣言 5.21 「裁判員法」施行 ※裁判員制度スタート

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>トロイクス高等研究センターを設置</p> <p>4.1 事務局学術国際部の研究協力課、国際課をそれぞれ研究推進課、国際企画課に改組</p> <p>4.1 「特定雇用職員就業規則」制定</p> <p>4.27 「千葉大学新型インフルエンザ対策行動計画」に従い危機対策本部を設置</p> <p>4.- 「ふれあいの環」学生総合支援センター創設</p> <p>5.14 イノベーション創出若手研究人材養成プログラムに採択「先進的マルチキャリア博士人材養成プログラム」</p> <p>6.11 千葉大学経済人倶楽部「絆」発足</p> <p>6.- 医学部附属病院、病棟（みなみ棟）改修（7月開院）</p> <p>7.23 教育研究高度化のための支援体制整備事業（文部科学省）に採択「教育研究高度化サポートシステムの構築」</p> <p>8.28 植物工場基盤技術研究拠点整備事業（経済産業省）に採択</p> <p>10.1 「事務職員等人事評価実施規程」制定</p> <p>10.16 天皇后両陛下、松戸市戸定歴史館へ行幸啓になり、千葉大学園芸学部創立百周年記念展示会「江戸時代の園芸文化史」をご鑑賞</p> <p>10.22 園芸学部の女子学生が殺害される（強盗殺害放火事件）</p> <p>10.27 創立60周年記念展示—大学の歩みと、活躍する卒業生たち—（附属図書館、～11.30）</p> <p>10.29 園芸学部創立100周年記念式典、『千葉大学園芸学部創立100周年記念誌 戸定ヶ丘の時空百彩』刊行</p> <p>11.5 創立60周年記念国際シンポジウムを開催</p> <p>12.3 行政刷新会議「事業仕分け」第3WGによるグローバルCOEプログラム評価に対する声明（全グローバルCOE拠点リーダー）</p> <p>12.4 「国立大学法人等運営費交付金」に関する行政刷新会議「事業仕分け」について（共同声明）※関東甲信越地区の15大学機関の学長等による声明、千葉大学長も参画</p> <p>-.- モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業（農林水産省）に採択</p>	<p>6.11 世界保健機構（WHO）、新型インフルエンザの警戒水準を最高レベルに引き上げ、世界的大流行宣言</p> <p>7.19 国際宇宙ステーション（ISS）で日本の実験棟「きぼう」完成</p> <p>8.30 衆議院選挙で民主党圧勝、政権交代へ</p> <p>9.1 消費者庁発足</p> <p>9.16 鳩山由紀夫内閣成立、川端達夫、文部科学大臣に就任</p> <p>10.9 オバマ米国大統領、ノーベル平和賞受賞決定 ※「核なき世界」を訴える</p> <p>10.27 中央教育審議会「大学設置基準の改正について」答申</p> <p>11.- 政府の行政刷新会議、概算要求「事業仕分け」を公開</p> <p>12.4 国立感染症研究所、新型インフルエンザの累積推計患者数が1,264万人に上ると発表</p> <p>12.25 「独立行政法人の抜本的な見直しについて」「政府関連公益法人の徹底的な見直しについて」閣議決定</p>

2010年（平成22年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.1 「資金運用規程」制定</p> <p>1.25 創立60周年記念大学改革シンポジウム</p> <p>2.4 千葉市と包括的連携協定を締結</p> <p>3.4 国産農畜産物競争力強化対策整備費補助金（農林水産省）に採択「未来志向型技術革新対策事業」</p> <p>3.10 マヒドン大学（タイ）に国際交流センターを開設</p> <p>3.19 教育研究評議会で最終的に全学的教育ポリシーを決定</p> <p>4.1 第2期中期目標期間（2010年度～2015年度）開始</p> <p>4.1 大学院医学薬学府の修士課程（薬学系）2専攻（総合薬品科学専攻・医療薬学専攻）を、総合薬品科学専攻1専攻に改組</p> <p>4.1 医学部、看護学部及び真菌医学研究センターの事務部を統合し、亥鼻地区事務部（管理課、医学部事務部、看護学部事務部）を設置</p> <p>4.1 真菌医学研究センター、共同利用・共同研究拠点（真菌感染症研究拠点）に認定</p> <p>4.1 環境リモートセンシング研究センター、共同利用・共同研究拠点（環境リモートセンシング研究拠点）に認定</p> <p>4.1 大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター、教育関係共同利用拠点（看護学教育研究共同利用拠点）に認定</p> <p>4.1 「教員のテニュアトラック制に関する規程」制定</p> <p>6.29 国産農畜産物競争力強化対策事業費補助金（農林水産省）に採択「産地収益力向上支援事業」</p> <p>6.- 女性研究者養成システム改革加速事業に採択「理系女性教員キャリア支援プログラム」</p> <p>7.- 薬学部創立120年</p> <p>8.31 キャンパス・アジア中核拠点支援に採択「植物環境デザインングプログラム[P-SQUARE]」</p> <p>10.1 大学院医学薬学府修士課程、10月入学導入</p> <p>10.1 契約、学務等を担当する一部の事務組織を除いて従来の「係制」へ再編</p> <p>10.1 事務局企画総務部の基金室を渉外企画課に改組、施設環境部の施設整備課と施設管</p>	<p>1.1 日本年金機構発足 ※社会保険庁廃止</p> <p>1.12 ハイチ大地震</p> <p>2.1 中央教育審議会「専門職大学院設置基準及び学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令の改正について」答申 ※法科大学院法学既修者の修了要件単位数の在り方について見直すなど</p> <p>3.26 経済同友会「経済格差を教育格差に繋げないために－高等教育の機会均等に向けて－」提言</p> <p>4.1 高等学校授業料無償化・就学支援金支給制度の導入</p> <p>4.27 「刑事訴訟法」改正 ※殺人の時効廃止</p> <p>5.21 知的財産戦略本部「知的財産推進計画2010」発表（以降、毎年策定）</p> <p>6.8 菅直人内閣成立、川端達夫、文部科学大臣に再任</p> <p>7.15 文部科学省「国立大学法人化後の現状と課題について（中間まとめ）」公表</p> <p>7.22 日本学術会議「回答 大学教育の分別質保証の在り方について」公表</p> <p>9.17 菅直人内閣改造、高木義明、文部科学大臣に就任</p> <p>10.6 鈴木章、根岸英一、ノーベル化学賞受賞決定</p> <p>12.4 東北新幹線、新青森まで全線開通</p> <p>12.7 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2009」結果公表</p> <p>12.24 「平成23年度予算政府案」閣議決定 ※博士課程教育リーディングプログラム、大学の世界展開力強化事業など</p> <p>12.24 総合科学技術会議答申（→翌年3月に東日本大震災発生のため、第4期科学技術基本計画の策定を先送り）</p> <p>12.- 文部科学省「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」公表</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
理課を建築環境課と設備環境課に改組し同部に亥鼻分室を設置 10.12 シャリテ・ベルリン医科大学と大学間交流協定を締結 10.- 理系女性教員キャリア支援室を設置 11.10 学長選考に係る学内意向聴取実施 11.12 学長選考会議、齋藤康学長の再任を決定 11.12 高木文部科学大臣、千葉大学を視察 -.- 「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に採択 -.- 頭脳循環を加速する若手研究者海外派遣プログラム・アジア研究教育拠点事業に採択「アジアにおける最先端有機化学の新展開」	

2011年（平成23年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.10 最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択「日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインの開発」 2.- 医学部附属病院、病棟（にし棟）改修（7月開院） 3.11 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）により被災 3.12 「平成23年度千葉大学個別学力試験等（後期日程）の延期について」（7:00更新）、 「平成23年度千葉大学個別学力検査等（後期日程）の実施日変更について」（14:00更新）を公表 ※3月12・13日に予定されていた個別学力検査（後期日程）を3月17・18日に延期 3.14 「平成23年度千葉大学個別学力検査等（後期日程）について（第3報）」発表 ※3月17・18日に予定していた検査を実施せず、大学入試センター試験の成績及び調査書の内容により合格者を選抜（文・法経・理・薬・工・園芸各学部）、医学部については後日に日程を変更（1日に短縮）して実施 3.16 第1回災害対策本部会議開催（以後6月の第19回会議まで継続） 3.17 「平成22年度千葉大学卒業式及び大学院修了式・学位記授与式の中止について」発表 3.23 平成22年度卒業式の中止、学長メッ	1.1 「チーバくん」が千葉県マスコットキャラクターに就任 1.31 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」「グローバル化社会の大学院教育―世界の多様な分野で大学院修了者が活躍するために―」答申 3.11 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）、福島第一原子力発電所で事故 3.11 震災により千葉県旭市などで津波被害、京葉コンビナートの製油施設で爆発、浦安市・千葉市などで液状化現象発生 3.14 1都8県で計画停電開始 4.1 千葉県「災害復旧・復興本部」設置 4.1 小学校の改訂学習指導要領全面实施 ※高学年での外国語活動の導入 5.31 科学技術・学術審議会「東日本大震災を踏まえた今後の科学技術・学術政策の検討の視点」決定 6.1 NHK教育テレビがEテレに変更 6.2 経済同友会「科学技術立国を担う人材育成の取り組みと施策」提言 6.24 「東日本大震災復興基本法」公布・施行 7.24 テレビ放送、地上デジタルに完全移行（東北3県除く） 8.19 「第4期科学技術基本計画」閣議決定

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>セージ「卒業生の皆さんへ」発表</p> <p>3.25 平成22年度大学院修了式・学位記授与式の中止、学長メッセージ「大学院修了生の皆さんへ」発表</p> <p>3.25 「平成23年度千葉大学入学式及び大学院入学式の中止について」発表</p> <p>4.1 齋藤康、学長に再任</p> <p>4.1 大学院教育学研究科（修士課程）の16専攻を、学校教育科学専攻、教科教育科学専攻の2専攻に改組</p> <p>4.1 アカデミック・リンク・センターを設置</p> <p>4.1 大学院医学研究院附属子どものこころの発達研究センターを設置</p> <p>4.1 学長企画戦略室を設置</p> <p>4.1 事務局企画総務部に学長企画室を新設、学生部の普遍教育課を教務課普遍教育室として再編・統合</p> <p>4.1 工学部事務部を工学系事務センターに再編</p> <p>4.8 平成23年度入学式の中止、学長メッセージ「新入生の皆さんへ」発表</p> <p>4.12 平成23年度大学院入学式の中止、学長メッセージ「大学院新入生の皆さんへ」発表</p> <p>4.- 千葉大学サイエンスパークセンターを設置</p> <p>7.8 千葉大学・上海交通大学国際共同研究センターを設置</p> <p>7.16 薬学部創立120周年記念講演会・祝賀会</p> <p>8.5 夏季特別集中討議（～8.6）※役員・副学長・部局長が合宿形式で集中討議</p> <p>9.- 亥鼻キャンパスに医薬系総合研究棟（第2期工事）竣工（11.2記念式典）※薬学部は西千葉キャンパスから亥鼻キャンパスへ全面移転</p> <p>10.1 薬学部事務部を亥鼻地区事務部内に移管</p> <p>10.29 柏市と包括的連携協定を締結</p> <p>10.- テニユアトラック普及・定着事業に採択</p> <p>11.1 大学の世界展開力強化事業に採択「大陸間デザイン教育プログラム [CODE]」</p> <p>11.6 園芸学部創立100周年記念館「戸定ヶ丘ホール」竣工式</p>	<p>※3月の東日本大震災の発生のため策定が遅れた</p> <p>9.2 野田佳彦内閣成立、中川正春、文部科学大臣に就任</p> <p>10.11 大津いじめ自殺事件</p> <p>10.26 2010国勢調査で日本人の人口が初の減少 ※人口減少社会の始まり</p> <p>10.- タイ大洪水</p> <p>12.19 文部科学大臣・財務大臣合意「今後の国立大学の改革について（基本的考え方）」</p> <p>12.24 「平成24年度予算政府案」閣議決定 ※国立大学改革強化推進事業</p>

2012年（平成24年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.1 未来医療教育研究センターを設置</p> <p>1.1 大学院理学研究科附属ハドロン宇宙国際研究センターを設置</p> <p>2.1 大学院医学研究院附属クリニカル・スキルズ・センターを設置</p> <p>2.24 ナショナルバイオリソースプロジェクト（中核的拠点整備プログラム）に採択「病原微生物の収集・保存・提供体制整備事業」</p> <p>3.14 附属図書館増改築／アカデミック・リンク・センター設置記念式典</p> <p>3.16 附属図書館がリニューアルオープン</p> <p>3.29 がんプロフェッショナル養成基盤推進プランに採択「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」（連携大学として参加）</p> <p>3.- 「千葉大学キャンパスマスタープラン2012」策定</p> <p>4.1 大学院医学薬学府（4年博士課程）の3専攻（環境健康科学専攻、先進医療科学専攻、先端生命科学専攻）を、先端医学薬学専攻の1専攻に改組</p> <p>4.1 大学院医学薬学府（後期3年博士課程）創薬生命科学専攻を、先端創薬科学専攻に名称変更</p> <p>4.1 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科（3年制後期博士課程）に参画</p> <p>4.1 医学部附属病院に認知症疾患医療センターを設置</p> <p>4.1 医学部附属病院の輸血部を改組し、輸血・細胞療法部を設置</p> <p>4.1 情報化推進企画室を改組し、情報環境機構を設置</p> <p>4.1 事務局情報部の改組により、情報企画課を学術国際部へ移行、学術情報課・情報サービス課を附属図書館事務部（利用支援企画課、学術コンテンツ課）として再編</p> <p>4.1 「安全保障輸出管理規程」制定</p> <p>4.9 平野文部科学大臣、千葉大学を視察</p> <p>5.31 『千葉大学医学部135周年記念誌』発刊</p> <p>6.8 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業（厚生労働省）に採択</p> <p>6.15 医学部附属病院、公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価（Ver. 6.0）に認定</p>	<p>1.13 野田佳彦内閣改造、平野博文、文部科学大臣に就任</p> <p>2.10 復興庁設置 ※東日本大震災で被災した自治体の復興を支援</p> <p>2.29 東京スカイツリー完成（634m）</p> <p>3.14 「大学院設置基準」等改正 ※博士論文研究基礎力審査の導入など</p> <p>3.21 中央教育審議会「学校安全の推進に関する計画の策定について」答申</p> <p>4.1 中学校の改訂学習指導要領全面实施 ※保健体育で武道・ダンス必修化</p> <p>4.27 「学校安全の推進に関する計画」閣議決定</p> <p>6.5 文部科学省「大学改革実行プランー社会の変革のエンジンとなる大学づくりー」公表 ※「ミッションの再定義」開始</p> <p>8.10 「社会保障・税一体改革関連法」成立 ※消費税率を2014年4月8%、2015年10月10%に引上げ予定（その後2015年10月は実施見送り）</p> <p>8.28 中央教育審議会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けてー生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へー」答申</p> <p>9.11 政府、尖閣諸島の国有化決定</p> <p>10.1 野田佳彦内閣改造、田中眞紀子、文部科学大臣に就任</p> <p>10.1 日本郵便株式会社設立</p> <p>10.8 山中伸弥、ノーベル生理学・医学賞受賞決定</p> <p>10.11 文部科学省、「国立大学のミッションの再定義に関する説明会」開催</p> <p>10.21 「ちばアクアラインマラソン」初開催</p> <p>11.2 文部科学大臣が翌年度開設予定の大学3校の不認可方針を公表（11.7認可する旨を表明）</p> <p>12.2 中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故</p> <p>12.16 衆議院選挙で自民党圧勝、再び政権へ</p> <p>12.26 第2次安倍晋三内閣成立、下村博文、文部科学大臣に就任</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>7.13 基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成に採択（連携大学として参加）「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」</p> <p>7.17 教育学部卒業生の辻村深月氏「鍵のない夢を見る」が第147回直木賞受賞</p> <p>7.27 株式会社京葉銀行と包括的連携協定を締結</p> <p>7.－ 千葉大学知識集約型共同研究拠点を設置</p> <p>8.3 役員と学部長等との夏季特別集中討議（～8.4）</p> <p>9.3 大学間連携共同教育推進事業に採択「実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム」</p> <p>9.24 グローバル人材育成推進事業に採択「スキップワイズ・プログラム〔SKIPWISE〕」</p> <p>9.24 大学の世界展開力強化事業に採択「ツイン型学生派遣プログラム〔TWINCLE〕」</p> <p>10.1 博士課程教育リーディングプログラムに2件採択「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」「災害看護グローバルリーダー養成プログラム」</p> <p>10.1 医学部附属病院にアレルギーセンターを設置</p> <p>10.1 「公募型企画競争に関する取扱要項」制定</p> <p>10.25 インドネシア大学「国際交流センター」開所式を挙げる</p> <p>11.18 教育学部創立140周年記念式典</p> <p>11.22 アカデミック・リンク・センターが2012年度グッドデザイン賞を受賞</p> <p>12.5 イングリッシュ・ハウス オープン</p> <p>12.20 アカデミック・リンク・センターが2012年度千葉市都市文化賞（建築部門）を受賞</p> <p>－.－ 創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業に採択「創薬ターゲットとして重要なヒト膜タンパク質の生産及び結晶化支援基盤」</p> <p>－.－ 文部科学省概算要求特別プロジェクトに採択「国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実：植物を多面的に活用する教育研究拠点の構築プロジェクト」</p>	

2013年（平成25年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.1 平成24年度経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択	1.15 「教育再生実行会議」発足
3.1 平成24年度国立大学改革強化推進事業に採択「真の疾患予防を目指したスーパー予防医科学に関する3大学（千葉・金沢・長崎）革新予防医科学共同大学院の設置」	1.21 中央教育審議会「今後の青少年の体験活動の推進について」答申
3.6 国立六大学（千葉大学・新潟大学・金沢大学・岡山大学・長崎大学・熊本大学）間の包括連携協定締結	2.26 教育再生実行会議「いじめ問題等への対応について」（第1次提言）
3.21 「グローバル・キャンパス・千葉大学」の新たなコミュニケーションマークを正式決定	3.29 「大学設置基準」改正 ※授業期間の弾力化
3.31 地域観光創造センターを廃止	4.15 教育再生実行会議「教育委員会制度等の在り方について」（第2次提言）
3.一 総合学生支援センター棟改修工事完成	4.25 中央教育審議会「第2期教育振興基本計画について」答申
4.1 分析センターを改組し、共用機器センターを設置	5.2 国立大学協会「「国立大学改革」の基本的考え方について—国立大学の自主的・自律的な機能強化を目指して—」公表
4.1 総合メディア基盤センターを改組し、統合情報センターを設置	5.28 教育再生実行会議「これからの大学教育等の在り方について」（第3次提言）※大学のガバナンス改革を推進、グローバル化に対応した教育環境づくりを進める（スーパーグローバル大学、理工系分野の強化など）
4.1 大学院工学研究科附属次世代モビリティパワーソース研究センターを設置	6.7 「科学技術イノベーション総合戦略」閣議決定
4.1 教育学部附属教育実践総合センターを同附属教員養成開発センターに改組	6.7 「知的財産政策に関する基本方針」閣議決定
4.1 教育総合機構、学生支援機構、アドミッション機構を統合・改組し、高等教育研究機構（高等教育研究戦略室、教育総合推進部門、ICT推進部門、学生支援部門、アドミッション部門、高大連携・地域貢献部門、FD推進部門）を設置	6.7 知的財産戦略本部「知的財産政策ビジョン」を決定
4.1 生命系科学研究推進機構を改組し、若手人材育成推進機構を設置	6.14 「第2期教育振興基本計画」閣議決定 ※国立大学の機能強化に向けた改革の推進
4.1 地域連携推進室を設置	6.14 「日本再興戦略—JAPAN is BACK—」閣議決定 ※大胆な金融政策、新たな成長戦略、機動的な財政出動など
4.1 国際戦略本部（国際戦略室）を設置	6.20 文部科学省「今後の国立大学の機能強化に向けての考え方」提示 ※「ミッションの再定義」、第3期中期目標期間を通じて各大学が機能強化に取り組むための出発点と位置づけ
4.1 事務局学生部を学務部に名称変更し、学務部に次長を置き教育企画課を増設	6.22 富士山が世界文化遺産に決定
4.1 医学部附属病院事務部医事課を、医事課及び医療サービス課に整備	6.28 「いじめ防止対策推進法」公布
4.1 全学副専攻プログラム「国際日本学」開始	9.7 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定
4.1 「学章、コミュニケーションマーク及び大学カラーに関する規程」制定	10.11 大学病院を支援する議員連盟設立
4.15 松戸市と包括的連携協定を締結	10.29 文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」キャンペーンを公表
5.31 フロンティアメディカル工学研究開発センター創立10周年記念式典	10.31 教育再生実行会議「高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方」
7.一 薬学部薬科学科、帰国子女対象の9月	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
入学（秋入学）特別選抜入試を導入 8.2 役員と学部長等との夏季特別集中討議（～8.3） 8.9 未来医療研究人材養成拠点形成事業に2件採択「未来医療を担う治療学CHIBA人材養成」「超高齢社会に対応する総合診療医養成事業」 8.- 地（知）の拠点整備事業に採択「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学[COC]」 9.24 コミュニティ再生・ケアセンター設置（10.28開所式） 10.1 フロンティアメディカル工学研究開発センターをフロンティア医工学センターに名称変更 11.21 環境健康フィールド科学センター創立10周年記念式典 11.28 学長選考に係る学内意向聴取実施 11.28 学長選考会議、徳久剛史理事を次期学長に選考 12.11 教育再生実行会議委員が千葉大学を視察 12.13 全国の大学で初めてエネルギーマネジメントシステムISO50001を取得 -.- 文部科学省特別経費（プロジェクト分）に採択「低侵襲治療技術プロジェクト」	ついて」（第4次提言） 11.26 文部科学省「国立大学改革プラン」策定・提示 ※大学の自主的・自律的な改善・発展を促す仕組みの構築、年俸制導入など 11.27 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」制定（2014.11.25施行） 12.3 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2012」結果公表 12.11 「産業競争力強化法」公布 ※国立大学法人によるベンチャーキャピタルへの出資が可能に 12.13 「特定秘密保護法」公布 ※国家の機密情報を漏らした者に罰則 12.13 「大学教員任期法」「研究開発力強化法」改正 ※無期労働契約に転換する期間を5年から10年に延長 12.13 中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」答申 12.13 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」公表 12.17 日本経済団体連合会「イノベーション創出に向けた国立大学の改革について」提言 12.24 「平成26年度予算政府案」閣議決定 ※年俸制導入促進費、スーパーグローバル大学創成支援経費の新設など

2014年（平成26年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 病院地区健康管理室を開設 2.9 医学部新ものはな同窓会館竣工 3.14 平成25年度国立大学改革強化推進事業に採択「次世代対応型医療人育成と「治療学」創成のための亥鼻キャンパス高機能化構想」 3.- 医学部記念講堂の改修工事完了 3.- 西千葉キャンパス、サッカー・ラグビー場リニューアル 4.1 徳久剛史、第14代学長に就任 4.1 法経学部を改組し、法政経学部（法政経学科）を設置 ※法政経学科：1学科4コース（法学コース、経済学コース、経営・会計系コース、政治学・政策学コース） 4.1 大学院医学研究院附属法医学教育研究	1.29 理化学研究所「STAP細胞」発表（4.1理化学研究所の調査委員会が不正を認定、5.8論文撤回） 2.12 中央教育審議会大学分科会「大学のガバナンス改革の推進について」（審議まとめ） 4.1 消費税5%から8%に引上げ 4.16 韓国大型旅客船「セウォル号」沈没 4.- 文部科学省スーパーグローバル大学創成事業を打ち出す 5.19 内閣府の総合科学技術会議を総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）に改称 5.30 内閣官房に内閣人事局設置 6.27 「学校教育法」「国立大学法人法」等改正（2015.4.1施行）※教授会の諮問機関化、ガバナンス改革など

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>センター、同附属超高齢社会研究センターを設置</p> <p>4.1 大学院看護学研究科に、5大学（高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学）による共同災害看護学専攻（5年博士課程）を設置</p> <p>4.1 医学部附属病院に入退院センター、周術期管理センター、東金九十九里地域臨床教育センターを設置</p> <p>4.1 学長企画戦略室の廃止に伴い、事務局企画総務部の学長企画室を廃止し、その機能を総務課に移管</p> <p>4.1 文学部・法経学部事務部を人文社会科学系事務部に改組</p> <p>4.4 法政経学部看板上掲式</p> <p>4.1 西千葉キャンパス、第1体育館改修工事完了</p> <p>5.1 医学部附属病院、新外来診療棟竣工（7.6記念式典、7.22開院）</p> <p>5.1 大学院工学研究科附属次世代モビリティパワーソース研究センター竣工（7.4竣工記念式典）</p> <p>6.6 医学部附属病院、千葉県で初の脳死肝移植を実施</p> <p>7.1 未来医療教育研究機構（未来医療教育研究戦略室）を設置</p> <p>7.1 医学部附属病院に高齢者医療センター、糖尿病コンプリケーションセンターを設置</p> <p>7.8 医学部附属病院、千葉県で初の生体肺移植を実施</p> <p>8.1 学長と学部長等との夏季特別集中討議（～8.2）</p> <p>8.20 大学教育再生加速プログラム（AP）に採択「県下高校との科学教育コンソーシアム構築による「次世代才能スキップアップ」グローバル科学教育プログラム」</p> <p>9.26 スーパーグローバル大学創成支援事業に採択「グローバル千葉大学の新生－Rising Chiba University－ [RISING]」</p> <p>10.1 医学部附属病院に国際医療センターを設置</p> <p>10.1 情報環境機構、大学評価対応室、両立支援企画室、理系女性教員キャリア支援室、地域連携推進室、キャンパス整備企画室、防</p>	<p>7.3 教育再生実行会議「今後の学制等の在り方について」（第5次提言）</p> <p>7.24 文部科学省「今後の国立大学の機能強化に向けての考え方」改訂 ※ミッションの再定義を踏まえて</p> <p>7.1 「集团的自衛権行使容認」閣議決定</p> <p>8.26 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」公表</p> <p>9.27 御嶽山が7年ぶりに噴火</p> <p>10.7 赤崎勇、天野浩、中村修二、ノーベル物理学賞受賞決定</p> <p>10.21 中央教育審議会「道徳に係る教育課程の改善等について」答申</p> <p>12.10 「特定秘密保護法」施行</p> <p>12.15 文部科学省「国立大学法人の組織及び運営に関する制度の概要について」公表</p> <p>12.22 中央教育審議会「子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築について」「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」答申 ※大学入試センター試験に代わる新たなテスト、英語4技能評価など</p> <p>12.24 第3次安倍晋三内閣成立、下村博文、文部科学大臣に再任</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
災危機対策室、卒業生室等を統合し、運営基盤機構（運営基盤戦略室、危機管理部門、大学評価部門、IR部門、男女共同参画推進部門、地域連携推進部門、アラムナイ部門、情報環境部門、キャンパス整備企画部門）を設置 10.1 学術推進機構、産学連携・知的財産機構、若手人材育成推進機構を統合・改組し、学術研究推進機構（学術研究推進戦略室、研究推進部門、若手研究者養成部門、学術資料部門、学術研究IR部門、研究活動適正推進部門、産学連携研究推進ステーション、研究推進人材ステーション）を設置 10.1 広報戦略本部（広報戦略室）を設置 10.1 「年俸制職員給与規程」制定 10.2 日本政策金融公庫と包括的連携協定を締結 10.4 「千葉大学サテライトキャンパス美浜」開校	

2015年（平成27年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター設置 1.- 「国立大学法人千葉大学における公的研究費等の不正使用防止に関する基本方針」策定 3.- グローバル人材の育成に向けたESD推進事業に採択「人間力を育む千葉ESDの地域展開」 4.1 再生治療学研究センターを設置 4.1 大学院医学研究院附属子どものこころの発達研究センターを改組し、学内共同教育研究施設として、子どものこころの発達教育研究センターを設置 4.1 大学院融合科学研究科附属分子エレクトロニクス高等研究センターを同附属分子キラリティー研究センターに改組 4.1 医学部附属病院に緩和ケアセンター、成田赤十字病院肺がん治療センターを設置 4.1 「クロスアポイントメント制度に関する規程」制定 4.1 「研究活動の適正推進及び研究活動上の不正行為への対応に関する規程」制定 4.1 「人を対象とする生命科学・医学系研	1.9 内閣にサイバーセキュリティ戦略本部設置 1.16 文部科学省「高大接続改革実行プラン」策定 3.4 教育再生実行会議「「学び続ける」社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について」（第6次提言） 3.13 文部科学省「理工系人材育成戦略」公表 3.14 北陸新幹線、長野ー金沢間開業 4.2 経済同友会「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」提言 5.14 教育再生実行会議「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方について」（第7次提言） 5.17 大阪都構想の住民投票、反対多数で否決 6.8 文部科学省「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」通知 ※教員養成系・人文社会科学系学部・大学院の廃止、転換 6.15 文部科学省「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方につ

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>究の適正な推進に関する規程」制定</p> <p>4.8 スーパーグローバル茶室「千庵」オープン</p> <p>4.18 教育学部附属中学校統合50周年記念式典</p> <p>4.- 医学部附属病院の入退院センターを患者支援センターに改称</p> <p>4.- 医学部附属病院、外来診療棟改修（7月開院）</p> <p>5.1 柏の葉診療所、医学部附属病院の一部門に移管</p> <p>7.1 医学部附属病院に包括的脳卒中センターを設置</p> <p>7.15 科学技術人材育成費補助事業に採択「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」</p> <p>7.30 アカデミック・リンク・センター、教育関係共同利用拠点（教職員の組織的な研修等の共同利用拠点）に認定</p> <p>7.31 学長と学部長等との夏季特別集中討議（～8.1）</p> <p>8.28 『千葉大学看護学部創立40周年同窓会記念誌』刊行</p> <p>9.9 大学の世界展開力強化事業に採択「ポスト・アーバン・リビング・イノベーション・プログラム（PULI）」</p> <p>9.28 地（知）の拠点大学による地方創成推進事業に採択「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業〔COC+〕」</p> <p>10.1 事務局学務部にスーパーグローバル大学事業推進事務室を新設</p> <p>10.23 浦安市と包括的連携協定を締結</p> <p>10.27 「遺伝子治療等臨床研究の適正な実施に関する規程」制定</p> <p>11.9 NBRPゲノム情報等整備プログラムに採択「Aspergillus fumigatus 関連種におけるゲノム情報整備」</p> <p>11.13 国立大学改革強化推進事業に採択「国立六大学連携による新たな国際連携モデルの構築」</p> <p>11.25 千葉大学生協同組合 創立50周年記念レセプション</p> <p>11.30 環境リモートセンシング研究センター20周年記念式典</p>	<p>いて」審議のまとめ ※機能別分化・3類型</p> <p>6.16 文部科学省「国立大学経営力戦略」公表</p> <p>6.19 「科学技術イノベーション総合戦略2015」閣議決定 ※運営費交付金等の改革による国立大学の機能強化の推進、特定研究大学の創設など</p> <p>6.19 「公職選挙法」改正 ※選挙権年齢を満20歳以上から満18歳以上に改める</p> <p>6.30 「日本再興戦略（改訂2015）—未来への投資・生産性革命—」閣議決定 ※イノベーション創出のためには国立大学改革が不可欠、運営費交付金の重点配分導入による大学間競争の促進など</p> <p>7.2 英科学誌ネイチャー、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター（神戸市）執筆のSTAP論文を撤回したと発表</p> <p>7.8 教育再生実行会議「教育立国実現のための教育投資・教育財源の在り方について」（第8次提言）</p> <p>9.9 日本経済団体連合会「国立大学改革に関する考え方」提言</p> <p>9.16 「公認心理師法」公布</p> <p>9.18 文部科学省高等教育局「新時代を見据えた国立大学改革」公表 ※「6.8通知」について釈明</p> <p>9.19 「安全保障関連法」成立 ※国の存立が脅かされる明白な危険などの要件を満たす場合、自衛隊が海外で武力を行使できる</p> <p>9.25 国連総会で「持続可能な開発目標（SDGs）」を盛り込んだアジェンダ採択</p> <p>10.1 スポーツ庁を設置（文部科学省の外局）</p> <p>10.1 防衛装備庁を設置（防衛省の外局）</p> <p>10.5 大村智、ノーベル生理学・医学賞受賞決定</p> <p>10.6 梶田隆章、ノーベル物理学賞受賞決定</p> <p>10.7 安倍晋三内閣改造、馳浩、文部科学大臣に就任</p> <p>10.26 財政制度審議会における財務省提案 ※国立大学の運営費交付金を2016年度から毎年1%減額し、その減額分に見合う自己収入を毎年1.6%増やす</p> <p>10.28 中央教育審議会「教職員定数に係る緊急提言」「高等教育予算の充実・確保に係る緊急提言」公表</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
	12.1 日本医学教育評価機構（JACME）設立 12.12 地球温暖化対策の新たな国際的な枠組み（パリ協定）が条約締結国会議（COP21）で採択 12.21 中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上についてー学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けてー」「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」答申 12.24 「平成28年度予算政府案」閣議決定 ※3つの重点支援の枠組みなど

2016年（平成28年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.25 医学部記念講堂、BELCA賞（ロングライフ部門）を受賞 3.28 工学部学生による少女監禁事件が発覚 ※犯人はこの3月にすでに卒業していたが、大学は卒業を取り消した 3.31 教育学部スポーツ科学課程および生涯教育課程を廃止 3.31 教育学部の特別支援教育特別専攻科を廃止 3.31 事務局学務部教務課の廃止 ※普遍教育に関する事務は国際教養学部事務部に移管 3.一 西千葉地区（小仲台）の稲毛寮および陸寮を廃止、薫風寮を竣工（2025.9.30閉寮） 4.1 第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）開始 ※千葉大学は第3群の国立大学に分類 4.1 国際教養学部（国際教養学科）を設置 4.1 文学部4学科を、人文学科1学科4コース（行動科学コース、歴史学コース、日本・ユーラシア文化コース、国際言語文化学コース）に改組 4.1 大学院教育学研究科（修士課程）の学校教育科学専攻および教科教育科学専攻を学校教育科学専攻に改組 4.1 大学院教育学研究科に高度教職実践専攻（専門職学位課程：教職大学院）を新設 4.1 大学院医学薬学府（4年博士課程）に	1.1 マイナンバー制度運用開始 1.15 軽井沢スキーバス転落事故 1.22 「第5期科学技術基本計画」閣議決定 4.1 大学評価・学位授与機構と国立大学財務・経営センターを統合し、大学改革支援・学位授与機構を設置 4.1 放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構の一部を統合し、量子科学技術研究開発機構を設置 4.1 「障害者差別解消法」施行 4.14 熊本地震 4.19 日本経済団体連合会「今後の教育改革に関する基本的考え方」提言 5.18 「国立大学法人法」改正（2017.4.1施行）※指定国立大学法人制度創設、国立大学法人等の財政基盤の強化など 5.20 教育再生実行会議「全ての子供たちの能力を伸ばし可能性を開花させる教育へ」（第9次提言） 5.26 先進国首脳会議（伊勢志摩サミット） 5.27 オバマ米大統領、現職として史上初めて広島市を訪問 5.30 中央教育審議会「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様性と質保証の在り方について」答申 6.23 イギリスEU離脱

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>先進予防医学共同専攻（金沢大学、長崎大学との共同教育課程）を設置</p> <p>4.1 大学院医学研究院附属国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究所を設置 ※カリフォルニア大学サンディエゴ校と共同で双方に設置</p> <p>4.1 医学部附属病院に周産母子センターを設置</p> <p>4.1 グローバルプロミネント研究基幹（研究部門、育成部門、次世代研究インキュベータ、運営部門）を設置</p> <p>4.1 国際未来教育基幹（国際未来教育基幹キャビネット：全学教育センター、入試センター、国際教育センター、学生支援センター、キャリアセンター、（アカデミック・リンク・センター））を設置 ※教育3センター（普遍教育センター、国際教育センター、言語教育センター）は、基幹キャビネットの全学教育センターおよび国際教育センターに改組</p> <p>4.1 高等教育研究機構にコミュニティ・イノベーションオフィスを設置</p> <p>4.1 松韻会館・インフォメーションセンターを設置</p> <p>4.1 千葉大学情報危機対策チーム(C-csirt)を設置</p> <p>4.1 国際教養学部事務局を新設</p> <p>4.1 事務局学務部の教務課を廃止（普遍教育に関する事務を国際教養学部事務局に、その他の機能を教育企画課に移行）</p> <p>4.1 医学部附属病院事務局に医療安全課を増設</p> <p>4.1 「学長の任期に関する規程」改正 ※これまでの1期3年・最長6年を1期4年・最長8年に変更（ただし現学長は最長7年）</p> <p>4.1 ターム制（6ターム制）を全学的に導入</p> <p>4.1 千葉大学コミュニケーションマークをリニューアル</p> <p>4.4 国際教養学部看板上掲式</p> <p>4.5 平成28年度千葉大学入学式および大学院入学式（千葉ポートアリーナ）※午前に大学院、午後学部入学式を開催（この年以降、学部入学式と大学院入学式は原則4月5日の同日に開催）</p> <p>4.8 国際教養学部開設記念シンポジウム「グローバル千葉大学の新生」</p>	<p>7.26 相模原「津久井やまゆり園」殺傷事件</p> <p>8.3 安倍晋三内閣改造、松野博一、文部科学大臣に就任</p> <p>8.8 天皇「退位」表明</p> <p>9.12 「未来投資会議」設置</p> <p>10.3 大隅良典、ノーベル生理学・医学賞受賞決定</p> <p>11.4 地球温暖化対策のパリ協定発効</p> <p>11.20 JR千葉駅、53年ぶり新装開業</p> <p>11.28 全国知事会議「地方創生に資する人材育成・確保等に関する緊急決議」決定 ※東京23区における大学・学部新增設等の抑制</p> <p>12.6 OECD生徒の学習到達度調査「PISA 2015」結果公表</p> <p>12.21 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」答申</p> <p>12.22 新潟県糸魚川市で大火</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.- カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部に「千葉大学サンディエゴ・キャンパス」を開設</p> <p>4.- 医学部附属病院、病棟（みなみ棟）改修・開院</p> <p>5.11 先端研究基盤共用促進事業（新たな共用システム導入支援プログラム）に採択「共用機器センター」</p> <p>5.14 園芸学部洗心倶楽部竣工記念式典</p> <p>5.- シャリテ・ベルリン医科大学（ドイツ）内に「千葉大学ベルリン・キャンパス」を開設</p> <p>6.12 皇太子同妃両殿下が環境健康フィールド科学センターをご視察</p> <p>6.30 文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究」に採択「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」</p> <p>7.1 松韻会館竣工記念式典</p> <p>7.29 科学技術人材育成費補助事業「卓越研究員事業」において3名が卓越研究員に決定</p> <p>7.29 学長と学部長等との夏季特別集中討議（～7.30）</p> <p>8.18 シャリテ・ベルリン医科大学（ドイツ）に国際交流センターを開設</p> <p>8.26 住宅・建築関連先端技術助成事業（国土交通省）に採択「構造用集成材を用いた建築物の火災時倒壊時間予測に基づく設計技術の開発」</p> <p>9.1 学長選考に係る学内意向聴取実施</p> <p>9.2 学長選考会議、徳久剛史学長の再任を決定</p> <p>10.1 医学部附属病院に肺高血圧症センター、認知行動療法センターを設置</p> <p>10.1 医学部附属病院の感染症管理治療部、光学医療診療部、ME機器管理センターを改組し、感染制御部、内視鏡センター、臨床工学センターを設置</p> <p>10.7 国立歴史民俗博物館と包括的連携協定を締結</p> <p>10.31 大学の世界展開力強化事業に採択「植物環境イノベーション・プログラム〔CAPE〕」</p> <p>11.21 医学部学生による集団暴行事件が発覚</p> <p>12.15 国内大学初の学生による「セキュリティバグハンティングコンテスト」開催</p> <p>12.16 医学部附属病院、千葉県で初の脳死肺</p>	

千葉大学関係	高等教育・社会一般
移植を実施 12.28 地域科学技術実証拠点整備事業（文部科学省）に採択「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター（CIRIC）の設立」	

2017年（平成29年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
2.2 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と包括的連携協定を締結 2.20 日本学術振興会研究拠点形成（A、先端拠点形成型）事業に採択「マルチモーダル計測医工学の国際拠点形成」 3.9 研究開発施設共用等促進費補助金（ナショナルバイオリソースプロジェクト：中核的拠点整備プログラム）に採択「病原真核微生物の収集、保存、提供体制の整備」 3.22 東京都墨田区と包括的連携協定を締結 3.23 医学部附属病院、医療法上の臨床研究中核病院に承認 4.1 徳久剛史、学長に再任 4.1 工学部10学科を、総合工学科1学科9コース（建築学コース、都市環境システムコース、デザインコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コース、共生応用化学コース、情報工学コース）に改組 4.1 大学院人文社会科学研究科を改組し、研究組織として大学院人文科学研究院及び大学院社会科学研究院、教育組織として大学院人文公共学府（博士前期課程、博士後期課程）を設置 ※大学院人文公共学府：博士前期課程（人文科学専攻、公共社会科学専攻）、博士後期課程（人文公共学専攻） 4.1 大学院理学研究科、大学院工学研究科及び大学院融合科学研究科を統合改組し、研究組織として大学院理学研究院及び大学院工学研究院、教育組織として大学院融合理工学府（博士前期課程、博士後期課程）を設置 ※大学院融合理工学府：博士前期課程（数学情報科学専攻、地球環境科学専攻、先進理化学専攻、創成工学専攻、基幹工学専攻）、博士後期課程（数学情報科学専攻、地球環境科学専攻、先進理化学専攻、創成工学専攻、基	2.3 中央教育審議会「第2次学校安全の推進に関する計画の策定について」答申 4.25 文部科学大臣、経済財政諮問会議で「高等教育の一体改革について」説明 ※国公立の枠を超えた経営統合や再編など 5.31 「学校教育法」改正 ※専門職大学・専門職短期大学制度の創設 6.1 教育再生実行会議「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子供を育て教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上」（第10次提言） 6.9 「未来投資戦略2017－Society 5.0の実現に向けた改革－」閣議決定 6.16 「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」公布 6.21 「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」改正 ※テロ対策強化の観点から準備段階でも逮捕し処分可能 6.30 文部科学省、指定国立大学法人として3法人（東北大学、東京大学、京都大学）を指定 7.13 文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について」通知 ※選抜区分を「一般入試」「AO入試」「推薦入試」から「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に変更、「大学入学共通テスト実施方針」正式発表など（2021年度入試から） 8.3 安倍晋三内閣改造、林芳正、文部科学大臣に就任 8.29 中央教育審議会「学校における働き方改革に係る緊急提言」公表 9.11 「人生100年時代構想会議」設置 11.1 第4次安倍晋三内閣成立、林芳正、文部科学大臣に再任 11.17 文部科学大臣、未来投資会議で「経営的視点に基づく大学運営の推進について」説明

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>幹工学専攻)</p> <p>4.1 グローバル関係融合研究センターを設置</p> <p>4.1 大学院融合科学研究科附属分子キラリティー研究センターを改組し、共同利用教育研究施設として、分子キラリティー研究センターを設置</p> <p>4.1 大学院理学研究科附属ハドロン宇宙国際センターおよび大学院工学研究科附属次世代モビリティパワーソース研究センターが、それぞれ大学院理学研究院附属および大学院工学研究院附属に移管</p> <p>4.1 人文社会科学系教育研究機構および自然科学系教育研究機構を設置 ※未来医療教育研究機構と合わせトリプル・ピーク・チャレンジを推進</p> <p>4.1 事務局学術国際部の国際企画課を学務部に移管するとともに、学術国際部を研究推進部に名称変更</p> <p>4.1 亥鼻地区事務部を未来医療系事務部に名称変更、同事務部管理課の名称を管理企画課に変更、同課に未来医療企画室を設置</p> <p>4.1 学士課程教育、大学院課程教育とともに、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受入れの方針の一体的な見直しを実施</p> <p>4.18 石原安野准教授（グローバルプロミネント研究基幹（ハドロン宇宙科学））が猿橋賞を受賞</p> <p>4.21 船橋市と包括的連携協定を締結</p> <p>4.- 医学部附属病院、救急外来棟竣工・開院</p> <p>6.20 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONナル）」養成プランに採択「関東がん専門医療人養成拠点」</p> <p>6.23 株式会社千葉興業銀行と包括的連携協定を締結</p> <p>7.1 医学部附属病院にプレストセンターを設置</p> <p>7.10 基礎研究医養成活性化プログラムに採択「病理・法医学教育イノベーションの構築」（千葉・群馬・山梨の3大学連携）</p> <p>7.28 課題解決型高度医療人材養成プログラムに採択「病院経営スペシャリスト養成プログラム」</p> <p>7.28 学長と学部長等との夏季特別集中討議</p>	<p>12.8 「新しい経済政策パッケージ」閣議決定 ※高等教育の無償化</p> <p>12.26 文部科学省「学校における働き方改革に関する緊急対策」公表</p> <p>12.28 中央教育審議会大学分科会将来構想部会「今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理」</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
(～7.29) 7.31 「千葉大学キャンバスマスタープラン2017」策定 8.8 大学の世界展開力強化事業に採択「極東ロシアの未来農業に貢献できる領域横断型人材育成プログラム [FARM]」 8.15 第66回関東甲信越大学体育大会を主管大学として開催 (～9.6) 9.19 タイ・マヒドン大学に「千葉大学バンコク・キャンパス」を開設 9.29 株式会社JTB総合研究所と包括的連携協定を締結 10.1 医学部附属病院に臨床研究開発推進センターを設置 11.14 株式会社リコーと包括的連携協定を締結 12.1 特定雇用職員、非常勤職員、非常勤医師に係る「無期転換職員就業規則」を制定	

2018年 (平成30年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.18 医学部附属病院にがんゲノムセンターを設置 2.7 千葉大学と企業4社が合同で包括的連携協定を締結 (千葉ヨウ素資源イノベーションセンターの活動) し、記者発表 2.- 教育学部「アジア・アセアン教育研究センター」を設置 3.2 富士ゼロックス株式会社と包括的連携協定を締結 3.14 イオン株式会社と包括的連携協定を締結 3.31 園芸学部園芸別科を廃止 3.31 西千葉地区 (小仲台) の無名寮を廃止 4.1 ソフト分子活性化研究センターを設置 4.1 大学院医学研究院附属治療学人工知能 (AI) 研究センター、同附属バイオリソース教育研究センターを設置 4.1 医学部附属病院に造血細胞移植センター、メドテック・リンクセンター、病院経営管理学研究センターを設置 4.1 高等教育研究機構を廃止し、国際未来教育基幹にイノベーション教育センター、高大接続センター、地域連携教育センターを設置	1.26 国立大学協会「高等教育における国立大学の将来像 (最終まとめ)」 2.1 文部科学大臣、未来投資会議で「大学の「経営力」の飛躍的強化を促す改革の連鎖について」説明 ※人事給与とマネジメント改革、外部理事の登用、大学ガバナンスコード、国立大学改革方針など 2.8 文部科学大臣、人生100年時代構想会議で「今後の高等教育の将来像について」説明 3.8 中央教育審議会「第3期教育振興基本計画について」答申 3.20 文部科学省、指定国立大学法人として2法人 (東京工業大学、名古屋大学) を指定 5.6 日本大学アメリカンフットボール部選手の危険タックル問題 5.25 「著作権法」改正 (2020.4.28施行) ※授業目的公衆送信補償金制度の創設 6.1 「地方大学・産業創生法」公布 ※東京23区内における大学学部等の収容定員抑制など 6.13 人生100年時代構想会議「人づくり革命基本構想」とりまとめ ※リカレント教育 6.15 第3期「教育振興基本計画」閣議決定

千葉大学関係	高等教育・社会一般
4.1 理学部事務部と工学系事務センターを統合し、理工系事務部（企画・研究支援課、理学部事務部、工学部事務部）を設置	6.15 「経済財政運営と改革の基本方針2018」「未来投資戦略2018」「統合イノベーション戦略」閣議決定 ※給付型奨学金、新年俸制など
4.1 医学部附属病院事務部に研究推進課を増設、医療安全課を廃止、医事課に医療安全室を新設	6.18 大阪北部地震
5.16 東京東信用金庫と包括的連携協定を締結	6.19 日本経済団体連合会「今後のわが国の大学改革のあり方に関する提言」公表
5.- 平成28年度文部科学省「地域科学技術実証拠点整備事業」による千葉ヨウ素資源イノベーションセンター（CIRIC）竣工	6.20 「民法」改正（2022.4.1施行）※成人年齢を20歳から18歳に引き下げ
6.8 先進科学センター創立20周年記念シンポジウムを開催	7.6 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」改正 ※時間外労働の上限規制、年次有給休暇の確実な取得など
6.- 分子キラリティー研究センター、国立陽明交通大学（台湾）キャンパス内に国際交流センターを設置	7.6 法務省、オウム真理教の元代表松本智津夫（麻原彰晃）死刑囚と元幹部6人の刑を一斉に執行
7.1 医学部附属病院に画像診断センター、データセンターを設置	7.25 「健康増進法」改正 ※受動喫煙対策、学校敷地内の禁煙など
7.24 藤田誠特別荣誉教授称号記授与式	8.7 東京医科大学不正入試
7.27 学長と学部長等との夏季特別集中討議	9.6 北海道胆振東部地震
8.1 医学部附属病院に高齢社会医療政策研究センターを設置	10.1 本庶佑、ノーベル生理学・医学賞受賞決定
8.1 グローバル・キャンパス推進基幹を設置	10.2 安倍晋三内閣改造、柴山昌彦、文部科学大臣に就任
8.22 大学の世界展開力強化事業に採択「COILを使用した日米ユニーク・プログラム [COIL-JUSU]」	10.11 東京・豊洲市場開場
9.6 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）に採択「ゼロ次予防戦略によるWell Active Communityのデザイン・評価技術の創出と社会実装」	10.16 文部科学省、生涯学習局を廃止し総合教育政策局を設置
9.19 課題解決型高度医療人材養成プログラムに採択「メンタル・サポート医療人とプロの連携養成」	10.23 文部科学省、指定国立大学法人として1法人（大阪大学）を指定
9.29 教育学部幼稚園教員養成課程50周年記念シンポジウムを開催	11.26 中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザインについて」答申
11.23 理学部創立50周年記念式典	12.8 「出入国管理法」改正 ※高度な専門分野に限ってきた外国人労働者の在留資格を介護、農業、建設など多分野に広げる
11.- アカデミック・リンク松戸（図書館）の整備を目的としてクラウドファンディングを実施	12.14 「研究開発力強化法」改正 ※名称を「科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律」に変更
12.- 文部科学省より「数理及びデータサイエンスに係る教育強化の協力校」に選定	12.14 文部科学省、大学医学部不正入試に関する緊急調査結果を公表 ※10大学で女性、浪人生への不利な扱い
-.- 医療研究開発推進事業費補助金に採択「新治療法開発のための医薬品・医療機器・再生医療等製品創造と科学の双翼プロジェクト」	12.21 中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申
	12.26 「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」公布
	12.30 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）発効

2019年（平成31年／令和元年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 医学部附属病院にスポーツメディクスセンターを設置	1.22 中央教育審議会大学分科会「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿－社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策－」（審議まとめ）
1.24 記者会見で、「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”」を策定し2020年度から実施することを公表	1.25 中央教育審議会「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」答申
2.1 千葉県農業組合中央会と包括的連携協定を締結	2.1 文部科学省「高等教育・研究改革イニシアティブ－高等教育機関における、教育・研究改革の一体的推進－」公表
2.11 環境ISO学生委員会15周年記念シンポジウムを開催	4.1 新元号「令和」発表
2.13 株式会社ZOZOと包括的連携協定を締結	4.1 専門職大学・専門職短期大学制度実施
3.7 千葉大学と8社（キッコーマン株式会社、京成電鉄株式会社、小湊鐵道株式会社、株式会社JTB総合研究所、株式会社千葉銀行、株式会社ちばぎん総合研究所、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、米屋株式会社）が連携し、「地方創生戦略研究推進プラットフォーム」を創設	4.9 財務省、2024年度に新一万円紙幣（渋沢栄一）、新五千円紙幣（津田梅子）、新千円紙幣（北里柴三郎）を発行すると発表（2024.7.3発行）
3.31 国際戦略本部を廃止	4.19 池袋自動車暴走事故
4.1 教育学部5課程を、学校教員養成課程のみの1課程7コース（小学校コース、小中専門教科コース、中学校コース、英語教育コース、特別支援教育コース、乳幼児教育コース、養護教諭コース）に改組	4.23 文部科学省「研究力向上改革2019」公表
4.1 医学部附属病院に救命救急センター、ハートセンター、浦安リハビリテーション教育センター、スタッフケアセンターを設置	4.30 明仁天皇が退位し、「平成」終了
4.1 人文社会科学系教育研究機構に地方創生戦略研究教育推進センターを設置	5.1 徳仁天皇が即位し、「令和」に改元
4.1 千葉大学マスコット（ニシ、イノ、マツ）が誕生し、任命式を挙行	5.17 教育再生実行会議「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」（第11次提言）
4.9 市原市と包括的連携協定を締結	5.17 「大学等における修学の支援に関する法律」（大学無償化法）公布（2020.4.1施行）
6.7 記者会見でENGINEプログラムについて説明し、併せて授業料改定を計画していることを公表	5.24 「学校教育法」「国立大学法人法」等改正（2020.4.1施行）※一人複数大学制度の創設など
7.1 医学部附属病院に痛みセンターを設置	5.28 神奈川県川崎市で登校中の私立小学生殺傷事件
7.1 事務局企画総務部の人事課と職員課を人事労務課に改組、財務部の財務課を財務企画課に改組、研究推進部の情報企画課を企画総務部に移管、学務部のスーパーグローバル大学事業推進事務室を廃止、施設環境部の玄鼻分室を廃止	6.13 中央教育審議会「大学設置基準等の改正について」答申 ※新しい学位プログラムのあり方など
7.1 事務長制を廃止し、事務部の組織を学部等を単位とした組織から地区別・業務別組	6.18 文部科学省「国立大学改革方針」公表
	6.26 「法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律」等改正 ※法曹コースの開設可、在学中の司法試験受験可
	6.28 「学校教育の情報化の推進に関する法律」公布・施行
	7.18 京都アニメーション放火事件
	8.13 「学校教育法施行規則」等改正 ※大学が単位を与えることのできる学修を定める

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>織に再編し、一定業務を事務局に集約化</p> <p>※国際教養学部事務部、人文社会科学系事務部、教育学部事務部、理工系事務部を改組し、西千葉地区事務部（人社系総務課、理工系総務課、人社系学務課、教員養成系学務課、理工系学務課）を設置</p> <p>※未来医療系事務部を改組し、亥鼻地区事務部（総務課、管理企画課、研究推進課、学務課）を設置</p> <p>※園芸学部事務部を改組し、松戸地区事務部（松戸地区事務課）を設置</p> <p>※フィールドセンター事務部を改組し、柏の葉地区事務部（柏の葉地区事務課）を設置</p> <p>7.31 大学の世界展開力強化事業「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム [IMLEX]」にアソシエートパートナーとして参画（幹事校：豊橋技術科学大学）</p> <p>7.ー アカデミック・リンク松戸竣工</p> <p>8.9 学長と学部長等との夏季特別集中討議</p> <p>8.9 卓越大学院プログラムに2件採択「アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文教育プログラム」「革新医療創生 CHIBA 卓越大学院」</p> <p>8.13 課題解決型高度医療人材養成プログラムに連携大学として参加「臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成」</p> <p>9.13 国立大学イノベーション創出環境強化事業（内閣府）に採択「学術研究・イノベーション推進機構の設置」</p> <p>9.25 千葉大学・千葉県高等学校長協会連絡会議でENGINEプログラムを周知</p> <p>9.30 千葉大学経済人倶楽部「絆」が運営するアエレカフェのオープニングセレモニー</p> <p>10.1 植物分子科学研究センターを設置</p> <p>10.1 大学院工学研究院附属インテリジェント飛行センターを設置</p> <p>10.1 医学部附属病院に移行期医療支援センター、医師キャリア支援センターを設置</p> <p>10.1 「多様なメディアを高度に利用して行う授業に関する要項」制定</p> <p>11.2 千葉大学創立70周年記念シンポジウム「千葉大学が挑むグローバル人材育成戦略」開催</p> <p>11.5 附属図書館松戸分館リニューアル開館</p>	<p>件等の一部を改正する告示など</p> <p>9.5 文部科学省、指定国立大学法人として1法人（一橋大学）を指定</p> <p>9.9 台風15号（令和元年房総半島台風）が関東地方東部に上陸、千葉県を中心に暴風や停電による甚大な被害</p> <p>9.11 安倍晋三内閣改造、萩生田光一、文部科学大臣に就任</p> <p>9.20 ラグビーワールドカップ2019が日本で開幕</p> <p>10.1 消費税率8%から10%に引上げ、食料品などに軽減税率導入</p> <p>10.1 幼児教育の無償化本格実施</p> <p>10.9 吉野彰、ノーベル化学賞受賞決定</p> <p>10.12 台風19号（令和元年東日本台風）が首都圏を直撃、豪雨による甚大被害</p> <p>10.22 即位の礼</p> <p>10.25 千葉県を中心とする東日本の太平洋沿岸で記録的な大雨</p> <p>10.31 沖縄県那覇市、世界遺産である首里城跡の復元された正殿等焼失</p> <p>11.1 文部科学大臣、「大学入学共通テストにおける英語民間試験導入の延期（後に見送り）」を発表</p> <p>12.5 「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」閣議決定 ※GIGAスクール構想</p> <p>12.17 文部科学大臣、「大学入学共通テストにおける記述式問題導入の見送り」を発表</p> <p>12.19 文部科学省「GIGAスクール構想」発表 ※GIGAスクール実施推進本部設置</p> <p>12.20 「令和2年度予算政府案」閣議決定 ※高等教育の無償化</p> <p>12.27 文部科学省、「大学入試のあり方に関する検討会議」設置</p> <p>12.ー 中華人民共和国武漢市で原因不明の肺炎患者多数確認（後に新型コロナウイルス感染症と確認）</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
11.15 公益財団法人千葉県文化振興財団と包括的連携協定を締結	

2020年（令和2年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 「新年俸制職員給与規程」「教員業績評価規程」制定	1.15 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者を日本国内において初確認
1.18 大学入試センター試験（～1.19）	1.17 国際地質科学連合（IUGS）により市原市田淵の地層が地質年代境界の国際基準地（GSSP）として認定、これにより約77万4千年前～約12万9千年前の地質時代の名称を「チバニアン」と命名
1.28 全学生・教職員向け「新型コロナウイルスへの対応について」（第1報）を发出	1.23 中国が感染拡大防止のため武漢市を都市封鎖
1.31 「新型コロナウイルスへの対応について」（第2報）发出	1.24 文部科学省、新型コロナウイルス感染症対策について事務連絡 ※以後、様々な通知、事務連絡を发出
1.- 新型コロナ対応検討ワーキンググループを設置	1.30 世界保健機関（WHO）、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）で緊急事態宣言
1.- 医学部一般選抜「千葉県地域枠入試」を導入	1.30 「新型コロナウイルス感染症対策本部の設置について」閣議決定
1.- 大学院専門法務研究科（法科大学院）と本学法政経学部が連携協定を締結（法曹コース・プログラムによる実務法曹養成教育）※明治学院大学法学部、鹿児島大学法文学部とも同旨の連携協定を締結	1.31 英国が欧州連合（EU）から正式離脱
2.10 「【千葉大学を受験する皆さんへ】新型コロナウイルス感染症への対応について」をホームページに掲載	1.31 政府、法解釈を変更して検事長の定年延長を閣議決定
2.25 個別学力検査（前期日程）（～2.26）	2.1 新型コロナウイルスによる感染症を感染症法に基づく「指定感染症」に指定
3.6 「千葉大学一般入試（後期日程）を受験する皆さんへ」をホームページに掲載	2.5 横浜港に停泊中のクルーズ客船で新型コロナウイルスの集団感染が判明
3.12 個別学力検査（後期日程）（～3.13）	2.23 令和最初の天皇誕生日、一般参賀は新型コロナウイルス感染拡大のため中止
3.23 令和元年度千葉大学卒業式（千葉ポートアリーナ）を中止、学長メッセージ「千葉大学を卒業される皆さんへ」発表	2.25 「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」決定
3.23 「【在校生の皆さんへ】令和2年度第1ターム授業開始日の変更について」「【新入生の皆さんへ】令和2年度授業開始日の変更について」をホームページに掲載	2.27 安倍総理大臣「全国の小中学校等での3月2日からの一斉臨時休業要請の方針」表明
3.24 「新型コロナウイルス感染拡大に伴う教務関係の対応について（第1報）」通知 ※2020年度第1タームの授業開始日を4月22日とする	2.28 文部科学省「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について」通知 ※3月2日から春休みを越えて5月31日まで全国一斉休業
3.25 令和元年度大学院修了式・学位記授与式（千葉県文化会館）を中止、学長メッセージ「千葉大学大学院を修了される皆さんへ」をホームページに掲載	3.11 世界保健機構（WHO）、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）をパンデミック（世界的流行）と表明
3.31 環境健康フィールド科学センター海浜	3.11 日本高校野球連盟が選抜高等学校野球

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>環境園芸農場（熱川暖地農場）廃止</p> <p>4.1 大学院総合国際学位プログラム（修士課程）を設置</p> <p>4.1 研究組織として大学院国際学術研究院を設置</p> <p>4.1 学術研究推進機構を改組し、学術研究・イノベーション推進機構（IMO）（学術研究・イノベーション推進戦略室、戦略・IR部門、知財・技術移転戦略部門、プロジェクト推進部門、学術研究基盤支援部門、管理・リスクマネジメント部門、サイエンスパークセンター、知識集約型共同研究拠点）を設置</p> <p>4.1 運営基盤機構の男女共同参画推進部門をダイバーシティ推進部門に名称変更</p> <p>4.1 未来医療教育研究機構にイノベーション推進室、千葉大みらい医療基金室を設置</p> <p>4.1 国際未来教育基幹のもとにスマートオフィスを設置</p> <p>4.1 「千葉大学グローバル人材育成ENGINE」開始</p> <p>4.1 2020年4月入学者より授業料を改定</p> <p>4.1 法政経学部法学コースに法曹コース・プログラムを設置</p> <p>4.1 横芝光町、芝山町、長柄町、南房総市と包括的連携協定を締結</p> <p>4.2 「新型コロナウイルスに伴う教務関係の対応について（第2報）」通知 ※第1タームの授業開始日を5月7日、第2タームの授業開始日を6月18日とし、第1・第2タームの授業を全てメディア授業とする</p> <p>4.3 「【学生の皆さんへ】令和2年度授業開始日の変更について」をホームページに掲載</p> <p>4.5 令和2年度千葉大学入学式及び大学院入学式（千葉ポートアリーナ）を中止</p> <p>4.6 「令和2年度新入生への学長メッセージ・新入生代表宣誓」をホームページに掲載</p> <p>4.8 緊急事態宣言を受け、「学生の皆さんへ 新型コロナウイルス感染症に関する学長からのメッセージ」を发出</p> <p>4.8 「緊急事態宣言に基づく4月8日現在における千葉大学の対応について」通知 ※キャンパス入構制限、教職員原則自宅待機（4.8～5.6）</p> <p>4.20 「新入生の皆さんへ 留学に関する学長からのメッセージ」发出</p>	<p>大会（春の甲子園）の中止を決定</p> <p>3.13 「新型インフルエンザ等対策特別措置法」改正 ※新型コロナウイルス感染症に法適用</p> <p>3.14 JR山手線の「高輪ゲートウェイ駅」が開業</p> <p>3.24 本年夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピック開催の1年延期決定</p> <p>3.28 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」決定</p> <p>3.30 文部科学省、内閣府、国立大学協会「国立大学法人ガバナンス・コード」策定、公表</p> <p>4.1 国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学が統合し、国立大学法人東海国立大学機構となる</p> <p>4.7 新型コロナウイルス感染症対策で初の「緊急事態宣言」（当初千葉県を含む1都1府5県、後に全国に拡大）（～5.25）</p> <p>4.7 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定 ※文科省、厚労省予算として学生への就学支援援助や病院等の設備、患者受け入れ体制整備のための補助など大型の財政措置</p> <p>4.20 国民1人あたりに10万円の特別定額給付金を含む「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定</p> <p>4.26 全国高等学校総合体育大会の中止を決定</p> <p>5.20 日本高校野球連盟が全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）の中止を決定</p> <p>5.25 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を解除</p> <p>5.25 米国で白人警官による黒人暴行死事件</p> <p>6.6 東京メトロ日比谷線の「虎ノ門ヒルズ駅」が開業</p> <p>6.19 国民体育大会（鹿児島県開催）の延期を決定</p> <p>6.19 文部科学省「令和3年度大学入学者選抜実施要項」公表 ※1.16～17を共通テストの第1日程、1.30～31を共通テストの第2日程と位置づけ</p> <p>6.23 国民文化祭の延期を決定</p> <p>6.24 「科学技術基本法」改正 ※名称を「科学技術・イノベーション基本法」に変更、</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.22 「学生の皆さんへ 授業開始と学業支援に関する学長メッセージ」発出</p> <p>5.8 「【重要なお知らせ】千葉大学緊急学生支援事業について」通知 ※「千葉大学SEEDS基金」を主な財源として総額3億円規模の緊急学生支援事業を実施</p> <p>5.26 役員会において柏の葉キャンパスの一部(約48,000㎡)を英国ラグビー校に定期借地することを決定(9.4文部科学大臣認可)</p> <p>5.26 「『学びの継続』のための『学生支援緊急給付金』の受付について」通知</p> <p>6.19 「大学の入構制限の段階的解除について」通知 ※第2ターム半ば(7.9～)、第3ターム(8.3～)に段階的に解除し、第4ターム(10.1～)に全面解除の予定</p> <p>6.19 「学生の皆さんへ 大学の入構制限の段階的解除と第3タームの授業についての学長メッセージ」発出</p> <p>7.31 学内に初の感染者が出たことにより、千葉大学新型コロナウイルス危機対策本部を立ち上げ</p> <p>7.31 「新型コロナウイルス感染者の発生について(第1報)」をホームページに掲載 ※これ以降学内の感染者発生状況を逐次ホームページで公表</p> <p>7.31 「学長メッセージ 新型コロナウイルス感染状況を踏まえた第3ターム以降の対応について」発出</p> <p>8.17 地域住民あて「学生の課外活動の段階的再開について」ホームページに掲載</p> <p>9.18 「第4ターム以降の授業等の取扱い及び大学の入構制限の解除について」通知 ※10.1～入構制限の全面解除</p> <p>9.18 「学長メッセージ 第4ターム以降の学びについて」発出</p> <p>9.25 千葉大学に対する爆破予告により全キャンパスで終日構内立ち入りを制限</p> <p>9.28 「令和2年度千葉大学卒業式・大学院修了式・学位記授与式 学長式辞(英文)」をホームページに掲載</p> <p>9.- 医学部附属病院、新中央診療棟竣工(2021年1月開院)</p> <p>10.1 「令和2年度千葉大学大学院入学式 学長式辞(英文)」をホームページに掲載</p> <p>10.1 大学院理学研究院附属ハドロン宇宙国</p>	<p>人文科学にも対象拡大</p> <p>6.30 文部科学大臣が北海道大学学長を解任</p> <p>6.30 香港で国家安全維持法施行</p> <p>7.1 プラスチック製買物袋(レジ袋)有料化</p> <p>7.10 大規模イベントの開催制限緩和方針</p> <p>7.12 国立アイヌ民族博物館(北海道白老町)開館</p> <p>7.17 「規制改革実施計画」閣議決定 ※押印の見直しなど</p> <p>7.22 「Go To トラベルキャンペーン」を開始(12月に停止)</p> <p>7.23 この年に限り祝日「海の日」とする(通常は毎年7月第3月曜日(本年は7/20))</p> <p>7.24 この年に限り祝日「スポーツの日」とする(前年までの「体育の日」から名称変更。通常は毎年10月第2月曜日) ※オリンピック開会式を7月24日(金)に行う予定だった</p> <p>8.10 この年に限り祝日「山の日」とする(通常は毎年8月11日) ※オリンピック閉会式を8月9日(日)に行う予定だった</p> <p>8.13 新型コロナウイルス感染症への対応に係る学習指導要領の特例を告示 ※次年度等に学習内容の移行可</p> <p>9.1 「マイナポイント事業」開始</p> <p>9.16 菅義偉内閣成立、萩生田光一、文部科学大臣に再任</p> <p>10.1 日本学術会議会員の推薦候補者105名のうち6名除外で任命</p> <p>10.15 文部科学省、指定国立大学法人として2法人(筑波大学、東京医科歯科大学)を指定</p> <p>10.16 「成長戦略会議」設置(～2021.10.15 廃止)</p> <p>11.1 大阪都構想の住民投票(2回目)、反対多数で否決</p> <p>11.26 宮内庁、例年1月2日に行われている新年の一般参賀について、2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送ることを発表</p> <p>12.6 小惑星探査機「はやぶさ2」地球に帰還、小惑星「リュウグウ」内部の小サンプル採取に成功</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>際研究センターを改組し、共同利用教育研究施設として、ハドロン宇宙国際研究センターを設置</p> <p>10.24 「災害治療学シンポジウムin千葉ー台風被害とコロナ禍の複合災害に備える防災の最前線ー」を開催（医学部記念講堂）</p> <p>10.ー 「緑のテラス」等の整備によりアカデミック・リンク松戸が完成</p> <p>11.2 学長選考に係る学内意向聴取実施</p> <p>11.4 学長選考会議、中山俊憲副学長・大学院医学研究院長を次期学長に選考</p> <p>11.ー 国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）に採択「持続的な教育研究力強化のための戦略的投資による経営改革」</p> <p>11.ー 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に採択「グローバル・ダイバーシティ研究者育成」</p> <p>12.24 「令和3年度における授業等の実施方針について」通知</p>	<p>12.14 「Go To トラベル」を全国各地で一斉停止</p> <p>12.27 新型コロナウイルス感染症の全世界の感染者数が8,000万人を超える</p> <p>12.28 変異した新型コロナウイルスが世界各国で確認されている状況を受け、全ての国と地域を対象に外国人の日本への新規入国を一時停止</p> <p>12.31 第71回NHK紅白歌合戦、初の無観客開催</p>

2021年（令和3年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.1 医学部附属病院に超音波センターを設置</p> <p>1.4 医学部附属病院、中央診療棟新築オープン</p> <p>1.8 「緊急事態宣言に基づく1月8日現在における千葉大学の対応について」通知</p> <p>2.15 医学部附属病院にコロナワクチンセンターを設置</p> <p>3.15 令和2年度第3次補正予算「感染症医療人材養成事業」に採択</p> <p>3.20 墨田サテライトキャンパス開設式典</p> <p>3.23 令和2年度千葉大学卒業式を挙（千葉ポートアリーナ）※卒業生のみ出席、2回に分けて実施</p> <p>3.25 令和2年度大学院修了式・学位記授与式を挙（千葉県文化会館）※修了生・論文博士受領者のみ出席</p> <p>3.30 生活に困窮する学生へ「食の支援」を実施（～3.31）</p> <p>3.31 ベンチャービジネスラボラトリーを廃</p>	<p>1.1 宮内庁は本年の新年宮中一般参賀を取りやめた代替措置として、公式ホームページに天皇后両陛下の新年ビデオメッセージを公開</p> <p>1.6 米議会議事堂襲撃事件</p> <p>1.8 千葉県を含む1都3県に2回目の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（～3.21）</p> <p>1.16 初の「大学入学共通テスト」実施（第1日程、～1.17）</p> <p>1.26 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指してー全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現ー」答申</p> <p>1.30 大学入学共通テスト（第2日程・追試験、～1.31）</p> <p>2.3 「国立研究開発法人科学技術振興機構法」改正 ※大学ファンド創設に伴う資金運用や助成業務等の追加</p> <p>2.13 福島県沖地震 ※2011年の東日本大</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>止 ※学術研究・イノベーション推進機構(IMO)へ機能移転</p> <p>4.1 中山俊憲、第15代学長に就任</p> <p>4.1 経営・基金担当理事新設</p> <p>4.1 大学院園芸学研究科を改組し、研究組織として大学院園芸学研究院、教育組織として大学院園芸学研究科を設置 ※大学院園芸学研究科：環境園芸学専攻(園芸科学コース、ランドスケープ学コース/博士前期課程)、環境園芸学専攻(園芸科学コース、ランドスケープ学コース/博士後期課程)</p> <p>4.1 大学院看護学研究科を改組し、研究組織として大学院看護学研究院、教育組織として大学院看護学研究科を設置 ※大学院看護学研究科：看護学専攻(看護学コース、看護実践学コース/博士前期課程)、看護学専攻(博士後期課程)</p> <p>4.1 大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センターを、大学院看護学研究院附属看護実践・教育・研究共創センターに名称変更</p> <p>4.1 大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センターを大学院看護学研究院附属に移管</p> <p>4.1 墨田サテライトキャンパスを開設</p> <p>4.1 デザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)を設置</p> <p>4.1 学長企画室を設置</p> <p>4.1 産学官連携・研究推進・ベンチャー支援の新拠点として、IMO棟をオープン</p> <p>4.1 学術研究・イノベーション推進機構(IMO)の組織改編により、研究戦略企画本部(広報・IR室、連携推進企画室、基盤整備室、戦略企画支援室、リスクマネジメント室)、研究支援・推進本部(学術研究基盤支援部、プロジェクト推進部、知財・技術移転部)、サイエンスパークセンター、知識集約型共同研究拠点に改組</p> <p>4.1 事務局研究推進部に西千葉地区研究推進室を新設</p> <p>4.1 墨田地区事務部(墨田地区事務課)を設置</p> <p>4.1 医学部附属病院の「地域医療連携部」「患者支援センター」「周術期管理センターの事務部門」を統合した「患者支援部」が発足</p>	<p>震災の余震とみられている</p> <p>2.17 医療従事者へのワクチン接種開始(その後高齢者等へ対象拡大)</p> <p>3.9 スーパーコンピュータ「富岳」供用開始</p> <p>3.21 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言(2回目)を全面解除</p> <p>3.23 北海道旭川女子中学生いじめ凍死事件</p> <p>3.26 「第6期科学技術・イノベーション基本計画」閣議決定 ※「科学技術基本計画」から名称変更</p> <p>4.20 千葉県等に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置を適用(～5.31)</p> <p>4.22 気候変動サミット ※日本は温室効果ガスの2013年度比46%削減を目指すことを表明</p> <p>4.25 新型コロナウイルスの感染拡大を受け4都府県(千葉県は対象外)に緊急事態宣言を発出</p> <p>5.21 「国立大学法人法」改正(2022.4.1施行) ※学長選考・監察会議の設置、法定の年度計画・年度評価の廃止など</p> <p>6.1 「ワクチン開発・生産体制強化戦略」閣議決定</p> <p>6.3 教育再生実行会議「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について」(第12次提言)</p> <p>6.21 大学、会社等でのワクチン職域接種、本格実施</p> <p>7.22 この年に限り祝日「海の日」とする(通常は毎年7月第3月曜日(本年は7/19))</p> <p>7.23 第32回オリンピック東京大会を原則無観客で開催(～8.8) ※この年に限り7月23日を祝日「スポーツの日」とする(通常は毎年10月第2月曜日)</p> <p>7.29 福岡県中間市の認可保育園で、通園バスの車内に園児が取り残され熱中症で死亡</p> <p>7.30 「令和7年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告等について」通知 ※英語民間試験活用と記述式問題は導入せず</p> <p>8.2 千葉県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言(3回目)(～9.30)</p> <p>8.8 この年に限り祝日「山の日」とする(通常は毎年8月11日) ※オリンピック閉会</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 「在宅勤務実施要項」制定</p> <p>4.1 大学院看護学研究科、共同災害看護学専攻（2014年設置）の後継プログラムとして、災害看護副専攻プログラムを開始</p> <p>4.5 令和3年度千葉大学入学式及び大学院入学式を挙行（千葉ポートアリーナ）※新入生のみの出席、学部入学式は2回に分けて実施</p> <p>4.5 「新入生の皆さんへ 留学に関する学長からのメッセージ」発出</p> <p>4.8 「【学長メッセージ】令和3年度第1タームの開始にあたって」発出</p> <p>4.30 IMO開設記念シンポジウムをオンラインで開催</p> <p>4.- 亥鼻キャンパスに医学系総合研究棟（治療学研究棟）完成</p> <p>5.17 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）と包括的連携協定を締結</p> <p>5.24 爆破予告により一時構内立ち入りを制限</p> <p>6.3 「会議の短縮、学内事務書類の簡素化について」（学長通知）</p> <p>6.- 千葉県の新型コロナウイルスワクチン接種に医学部附属病院、医学部及び真菌医学研究センター所属の医師らが協力</p> <p>7.12 けやき会館を会場に新型コロナウイルスワクチン職域接種（大学拠点接種）を実施（～11.5まで）※期間中に2回接種</p> <p>7.30 英国ラグビー校（Rugby School Japan）の開校に係る基本合意書を締結</p> <p>7.30 アカデミック・リンク・センター、教育関係共同利用拠点（新たな時代の大学教育を創造する「教育・学修支援専門職」養成拠点）に再認定（認定期間：2022.4～2027.3）</p> <p>7.30 「緊急事態宣言に基づく千葉大学の対応について」通知</p> <p>7.- 千葉大学ビジョンChiba University Aspirations「世界に冠たる千葉大学」を策定</p> <p>7.- 墨田サテライトキャンパスを墨田区の新型コロナウイルスワクチン接種会場として提供、会場では本学学生が案内誘導等の業務をサポート</p> <p>8.1 経営戦略基幹（大学戦略室、IR戦略室）を設置</p> <p>9.1 爆破予告により不要不急の入構を控えるよう注意喚起</p>	<p>式を8月8日（日）に行った（翌9日は振替休日）</p> <p>8.24 第16回パラリンピック東京大会を原則無観客で開催（～9.5）</p> <p>8.26 国民体育大会（三重県開催）の中止を決定</p> <p>9.1 デジタル庁発足</p> <p>9.24 「特別支援学校設置基準」制定</p> <p>10.4 第1次岸田文雄内閣成立、末松信介、文部科学大臣に就任</p> <p>10.5 眞鍋淑郎（米国籍）、ノーベル物理学賞受賞決定</p> <p>10.15 「新しい資本主義実現会議」設置 ※「成長戦略会議」を引き継ぐ</p> <p>11.10 第2次岸田文雄内閣成立、末松信介、文部科学大臣に再任</p> <p>11.22 文部科学省、指定国立大学法人として1法人（九州大学）を指定</p> <p>12.3 「教育未来創造会議」創設 ※「教育再生実行会議」廃止</p> <p>12.17 大阪北新地クリニック放火殺人事件</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>9.7 次世代研究者挑戦的研究プログラムに採択「全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト」</p> <p>9.8 【「感染予防の徹底を」横手幸太郎病院長から学生の皆さんへお伝えしたいこと」発信</p> <p>9.10 大学教育再生戦略推進費・知識集約型社会を支える人材育成事業に採択「インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開」</p> <p>10.1 災害治療学研究所を設置</p> <p>10.1 大学院理学研究院附属膜タンパク質研究センターを設置</p> <p>10.1 台風接近により令和3年度大学院入学式を中止</p> <p>10.- デザイン・リサーチ・インスティテュート (dri) と墨田区の共同プロジェクトとして制作された「コロナワクチン接種ウェイファインディングシステム」およびリニューアルした附属図書館松戸分館と緑のテラス等の複合棟「アカデミックリンク松戸」が、2021年度グッドデザイン賞を受賞</p> <p>11.2 大学の世界展開力強化事業に採択「ソーシャル・デザイン・イニシアティブ [SDI-A]」</p> <p>12.1 医学部附属病院に千葉県肝疾患相談センター、千葉県がん・生殖医療相談支援センターを設置</p> <p>12.- 医学部附属病院、高精度のがん放射線治療システム「MRリニアック」を日本初導入</p>	

2022年（令和4年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.31 「ラグビースクールジャパン設置及び運営に関する基本協定書」を締結</p> <p>1.- 経営戦略基幹にアドバイザーボードを設置</p> <p>1.- 2022年度一般選抜よりインターネット出願を導入</p> <p>3.4 新型コロナウイルスワクチン職域追加接種（3回目接種）の実施（～7月まで不定期）</p> <p>3.11 ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業（令和3年度補正）に採択</p>	<p>1.1 宮内庁は前年同様、新年一般参賀を取りやめ、国民向けの天皇后両陛下ビデオメッセージを公開</p> <p>1.15 大学入学共通テスト試験会場（東京大学）前で高校2年生が受験生ら3人を刺傷</p> <p>1.15 大学入学共通テストの地理歴史・公民の試験時間中に問題とみられる画像が外部に流出（1.27この事件で19歳の女子大学生が香川県警丸亀署に出頭）</p> <p>1.17 ゆうちょ銀行、大量の硬貨預け入れに手数料を導入</p> <p>1.21 千葉県等に新型コロナウイルスまん延</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>3.20 dri・墨田サテライトキャンパス開設 1周年記念式典</p> <p>3.30 アカデミック・リンク開設10周年記念シンポジウムを開催</p> <p>3.30 技術移転機関 (TLO) の承認取り消し</p> <p>3.- 東京大学と土地交換契約書を締結 ※西千葉キャンパスに隣接する約3.1ヘクタールの東京大学生産技術研究所跡地の一部と、西千葉キャンパスの約0.8ヘクタールの一部敷地を有償で交換</p> <p>3.- 「千葉大学次世代人材育成計画」策定</p> <p>4.1 第4期中期目標期間 (2022年度～2027年度) 開始</p> <p>4.1 工学部総合工学科 (1学科制) の都市環境システムコースを都市工学コースに名称変更</p> <p>4.1 グローバルプロミナント研究基幹を廃止し、国際高等研究基幹 (全方位イノベーション創発センター) を設置</p> <p>4.1 国際未来教育基幹の組織再編により、同キャビネットのイノベーション教育センター、キャリアセンター、高大接続センター、地域連携教育センターを高等教育センターに改組し、英語教育開発センターおよびスマートラーニングセンターを新設</p> <p>4.1 グローバル・キャンパス推進基幹に海外キャンパス戦略室を設置</p> <p>4.1 藤井節郎記念治療学研究センター (千葉大学災害治療学研究所の附属センター) を設置</p> <p>4.1 事務局企画総務部を総務部と企画部に改組、施設環境部に亥鼻施設課を増設</p> <p>4.1 「学長選考規程」改正 ※「学長選考会議」を「学長選考・監察会議」に変更</p> <p>5.12 「七十五年史編集委員会規程」「七十五年史編集委員会通史編集専門部会要項」制定</p> <p>5.27 学長主催講演会シリーズ第1回を開催</p> <p>6.1 医学部附属病院に未来粘膜ワクチン研究開発センターを設置</p> <p>6.9 「CHIBADAI NEXT」を開設</p> <p>6.30 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業に採択「地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム」</p> <p>7.15 生活に困窮する学生へ「食の支援」を</p>	<p>防止等重点措置を適用 (～3.21)</p> <p>2.7 中央教育審議会「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について」答申</p> <p>2.11 外務省、ウクライナ危機に伴いウクライナ全土の危険情報を最高度の「レベル4 (退避勧告)」に引上げ</p> <p>2.24 ロシアがウクライナに軍事侵攻</p> <p>3.1 衆議院本会議で「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議案」を採択 (3.2参議院本会議でも同様の非難決議を採択)</p> <p>3.18 航空自衛隊府中基地内に「宇宙作戦群」発足</p> <p>3.23 ウクライナのゼレンスキー大統領が日本の国会でオンライン演説</p> <p>3.31 外務省、ウクライナの首都の呼称をロシア語に基づく「キエフ」からウクライナ語に基づく「キーウ」に変更すると発表 ※首都以外の地名も変更</p> <p>4.1 「改正民法」施行 ※成年年齢を18歳に引き下げ</p> <p>4.1 「改正少年法」施行 ※18歳及び19歳は「特定少年」と位置づけ</p> <p>4.1 小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学の3国立大学法人が統合し、国立大学法人北海道国立大学機構が発足</p> <p>4.1 奈良教育大学と奈良女子大学の2国立大学法人が統合し、国立大学法人奈良国立大学機構が発足</p> <p>4.1 大阪府立大学と大阪市立大学が統合し、大阪公立大学が発足</p> <p>4.23 知床遊覧船沈没事故</p> <p>5.11 「教育職員免許法」改正 (7.1施行) ※教員免許更新制を解消</p> <p>5.25 「国際卓越研究大学の研究及び研究成果のための体制の強化に関する法律」制定 (11.15施行) ※10兆円ファンドの大学支援の設計図を策定</p> <p>7.7 「改正刑法」施行 ※インターネット上の誹謗中傷対策で侮辱罪の法定刑を引き上げ</p> <p>7.8 安倍晋三元内閣総理大臣、奈良県で演説中に銃撃され死亡 (9.27国葬実施)</p> <p>7.15 厚生労働省のデータによると、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の検査陽性者数が1,000万人を超える</p> <p>8.10 岸田文雄内閣改造、永岡桂子、文部科</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>実施</p> <p>7.31 「千葉大学キャンパスマスタープラン2022」策定</p> <p>8.7 コロナ禍により中止していた渡航留学プログラムを一部再開</p> <p>8.26 日本医療研究開発機構「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」に採択</p> <p>9.1 承認TLOの発展的解消に伴い「IMOイノベーションパートナー制度」を発足</p> <p>9.7 大学の世界展開力強化事業に採択「グローバル地域ケアIPEプラス創生人材の育成〔GRIP Program〕」</p> <p>9.30 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）に採択「大学のデジタル変革による戦略的分析経営の強化―世界に冠たる研究が牽引するビジョン・オリエンテッドな大学改革―」</p> <p>9.- SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（JST）に採択「ソーラーシェアリングを活用した自立型脱炭素スマート農地の確立と展開」</p> <p>9.- 千葉大学創立75周年記念ロゴマークが完成</p> <p>10.1 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点を設置</p> <p>10.1 教育学部『百五十年史 千葉大学教育学部』を刊行</p> <p>10.22 教育学部創立150周年記念式典</p> <p>11.1 事務局の財務部契約課と研究推進部西千葉地区研究推進室を、西千葉地区事務部の財務課と研究推進課に再編</p> <p>11.4 医学部附属病院、公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価（一般病院3）に認定</p> <p>11.- 大学祭、すべてのキャンパスにおいて3年ぶりに実地開催 ※11.4～6 千葉大祭（西千葉）、11.6亥鼻祭（亥鼻）、11.5～6 戸定祭（松戸）、11.3センター祭（柏の葉）</p>	<p>学大臣に就任</p> <p>9.5 静岡県牧之原市の認定こども園で、通園バスの車内に園児が取り残され熱中症で死亡</p> <p>9.7 新型コロナウイルス感染症に係る水際措置の見直しにより外国人観光客の入国を緩和</p> <p>9.8 英国エリザベス女王逝去（9.19国葬）</p> <p>10.11 政府「全国旅行支援」開始（～12月下旬）</p> <p>10.11 新型コロナウイルス感染症に係る外国人の入国上限規制を撤廃、外国人観光客の個人旅行を解禁</p> <p>10.29 韓国ソウル梨泰院で群衆事故</p> <p>11.11 経済産業省、次世代半導体の研究開発プロジェクトに「Rapidus」を採択</p> <p>12.19 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について―「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成―」答申</p>

2023年（令和5年）

千葉大学関係	高等教育・社会一般
1.1 大学院園芸学研究院附属宇宙園芸研究センターを設置	1.2 コロナ禍で2021年・2022年は中止となった新年一般参賀を3年ぶりに実施（抽選

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.1 医学部附属病院に東洋医学センターを設置 ※柏の葉診療所を墨田サテライトキャンパスに移転、「千葉大学医学部附属病院東洋医学センター墨田漢方研究所」とした(1.24診療開始)</p> <p>2.22 株式会社帝国データバンクと連携協定を締結</p> <p>2.26 環境ISO学生委員会が初めてのSDGs海外留学プログラム(タイ・チェンマイ大学)を実施(～3.12)</p> <p>2.- 大規模災害時に学生・教職員の安否を迅速に把握するため「安否確認システムANPIC」を導入</p> <p>3.1 「国立大学法人千葉大学経営人材育成基本方針」学長決定</p> <p>3.12 墨田サテライトキャンパスの隣地に「キャンパスコモン」がオープン、セレモニー開催</p> <p>3.28 一般社団法人千葉県経営者協会と連携協定を締結</p> <p>3.- 災害治療学研究所棟完成</p> <p>4.1 大学院園芸学専攻(博士前期・後期課程)に国際環境園芸学コースを増設</p> <p>4.1 大学院医学薬学専攻(4年博士課程)にワクチン学コース、感染症学コースを設置</p> <p>4.1 医学部附属病院にクオリティ・マネジメント・センターを設置</p> <p>4.1 統合情報センター及び運営基盤機構情報環境部門等を発展的に改組し、情報戦略機構(データマネジメント部門、データサイエンス部門、データセキュリティ部門、データサービス部門)を設置</p> <p>4.1 運営基盤機構の組織再編により、運営基盤戦略室、危機管理部門、大学評価部門、ダイバーシティ推進部門、アラムナイ部門、キャンパス整備企画部門に改組</p> <p>4.1 学術研究・イノベーション推進機構の組織再編により、学術研究・イノベーション戦略企画本部(研究基盤支援部、産学官連携推進部、知財・技術移転部、スタートアップ・ラボ、リスクマネジメント部)、サイエンスパークセンター、知識集約型共同研究拠点に改組</p>	<p>制)</p> <p>1.6 国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が累計3千万人を超える</p> <p>2.23 令和初となる天皇誕生日一般参賀を抽選制で実施</p> <p>2.24 国際連合総会、ロシア軍にウクライナからの即時の完全撤退を求める決議を採択</p> <p>2.28 厚生労働省、2022年に生まれた子どもが80万人を割ったと公表</p> <p>3.8 中央教育審議会「次期教育振興基本計画について」答申</p> <p>3.11 国際宇宙ステーション(ISS)での長期滞在を終了した若田光一宇宙飛行士が搭乗するクルードラゴン宇宙船5号機がメキシコ湾に着水帰還</p> <p>3.22 野球のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)決勝戦で日本が米国を3-2で破り、3大会ぶり3度目の優勝</p> <p>3.27 文化庁、京都府京都市に移転して業務開始 ※明治以来初の中央省庁地方移転</p> <p>4.1 こども家庭庁発足</p> <p>4.1 文部科学省通達の新指針により、小中高校の児童生徒・教職員のマスク着用原則不要</p> <p>4.1 幼稚園、保育所等の送迎バスに置き取り防止を支援する安全装置の設置義務化</p> <p>4.15 岸田文雄総理大臣の遊説先、和歌山市雑賀崎漁港でパイプ爆弾爆発事件</p> <p>4.21 「新型インフルエンザ等対策特別措置法」「内閣法」改正</p> <p>5.5 能登群発地震(石川県珠洲市震源)</p> <p>5.5 世界保健機関(WHO)、新型コロナウイルスをめぐる緊急事態終了を宣言 ※2020.1.30の緊急事態宣言から約3年3か月で「平時」に戻る</p> <p>5.8 新型コロナウイルス感染症の「感染症法」上の位置付けを結核やSARS等と同様の2類相当から季節性インフルエンザと同様の「5類感染症」に移行</p> <p>5.11 春の園遊会を5年ぶりに開催(令和となって初)</p> <p>5.14 ジャニーズ事務所創業者による性加害疑惑めぐり同事務所社長が謝罪</p> <p>5.19 第49回先進国首脳会議(G7広島サミット、～5.21)</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>4.1 「就業規則」等改正 ※大学教員以外の職員について60歳の定年年齢を段階的に引き上げ、2031年度に65歳とする</p> <p>4.1 西千葉キャンパス内を全面禁煙</p> <p>4.21 文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」（令和4年度第2次補正予算）に採択「研究開発戦略の企画・実行に必要な体制整備等や設備等研究環境の高度化を支援、柏の葉キャンパスに「千葉大学 Biohealth Open Innovation Hub」を新築」</p> <p>5.8 「新型コロナウイルス感染症への大学の対応について」発出 ※感染症法上の位置付け変更に合わせて「行動制限」解除</p> <p>5.17 大学院園芸学研究院附属宇宙園芸研究センター開所式</p> <p>6.一 産学官民が連携する「稲毛コレクティブインパクト」を設立</p> <p>8.7 「ちばだいプレスデジタル」がオープン</p> <p>8.15 第72回関東甲信越大学体育大会を当番大学（主管大学は横浜国立大学）として開催（～8.31）</p> <p>9.15 柏の葉キャンパスに英国ラグビー校のインターナショナルスクール開校</p> <p>9.22 大学の世界展開力強化事業に採択「Blended Mobility Project (BMX) で生み出す「Society 5.0人材」の育成とそのインフラの創出」（関西大学・東北大学との連携事業）</p> <p>9.30 第17回高校生理科研究発表会を4年ぶりに対面でのポスター発表会として開催</p> <p>10.1 大学院医学研究院附属バイオリソース教育研究センターを廃止し、共同利用教育研究施設として、健康疾患オミクスセンターを設置</p> <p>10.11 教育学部附属特別支援学校創立50周年記念式典</p> <p>10.一 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業（内閣府）に採択「西千葉well-beingリサーチパークを中核としたイノベーション・エコシステム構築、well-beingデジタルコモンズの構築、ビッグデータ整備・利活用等の推進」</p> <p>11.1 千葉大学マスコットに「スミ」が加わる</p> <p>11.1 科学技術振興機構の共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）共創分野「災害な</p>	<p>5.20 ウクライナのゼレンスキー大統領が訪日、G7参加国等と会談</p> <p>5.21 ウクライナ首脳がG7のセッションに参加、招待国首脳等が平和記念資料館訪問、日・ウクライナ首脳会談、岸田総理大臣とゼレンスキー大統領が平和記念公園を訪問</p> <p>6.9 大学入試センター、2025年1月の大学入学共通テストから出題教科・科目に教科「情報」が新たに加わり、現行の6教科30科目から7教科21科目に再編されると発表</p> <p>6.13 「こども未来戦略方針」閣議決定</p> <p>6.16 「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（LGBT理解増進法）制定（6.23施行）</p> <p>7.1 「改正道路交通法」施行 ※「特定小型原動機付自転車」を新設</p> <p>7.3 麻布台ヒルズ森JPタワー完成（高さ330m）※この時点で日本一高い高層ビル</p> <p>7.29 第46回隅田川花火大会を4年ぶりに開催</p> <p>8.24 東京電力、福島第一原発で処理水の海洋放出を開始</p> <p>9.1 内閣感染症危機管理統括庁が発足</p> <p>9.1 国際卓越研究大学の認定候補に東北大学を選定</p> <p>9.13 岸田文雄内閣改造、盛山正仁、文部科学大臣に就任</p> <p>10.1 消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度を開始</p> <p>10.7 イスラム組織ハマスがパレスチナ自治区ガザ地区からイスラエルにロケット弾、イスラエルが報復空爆、双方に多数の死傷者</p> <p>10.8 外務大臣談話「イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突について」発表</p> <p>10.10 全国の銀行を結ぶ送金システムで不具合が発生（10.12朝に復旧）</p> <p>10.11 将棋の藤井聡太棋士、史上初の8冠を達成</p> <p>10.13 文部科学省が世界平和統一家庭連合（旧統一教会）への解散命令請求を行い、東京地方裁判所が受理</p> <p>10.28 国際連合総会、中東における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を採択（日本は棄権）</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>ど危機的状況から住民を守るレジリエントな広域連携医療拠点」に共同機関として参画 (代表機関：順天堂大学)</p> <p>11.2 中山俊憲学長逝去</p> <p>11.3 中谷晴昭理事、学長代行に就任</p> <p>11.3 千葉大学創立75周年・プレ記念行事開催</p> <p>12.19 故中山俊憲学長の大学葬</p> <p>12.22 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)に採択「免疫学・ワクチン学研究、予防医学研究等を戦略的に強化し、成果の社会実装に繋げるとともに、それらの取組を学内に横展開する」</p>	<p>11.6 国立科学博物館、クラウドファンディングで約9.2億円の寄付が集まったと発表</p> <p>12.1 NHKの新しい衛星放送チャンネル、NHK BSとNHK BSプレミアム4Kが放送開始</p> <p>12.13 「国立大学法人法」改正 ※事業規模が特に大きい国立大学法人(特定国立大学法人)等に運営方針会議を設置(2024.10.1施行)、国立大学法人等の資金調達方法の対象拡大及び資産管理方法の弾力化(2024.4.1施行)、東京医科歯科大学と東京工業大学を統合し東京科学大学とする(2024.10.1施行)</p> <p>12.14 岸田文雄総理大臣、裏金疑惑のある官房長官を含む4閣僚ら計10人を交代</p> <p>12.22 中央教育審議会大学分科会「人文科学・社会科学系における大学院教育の振興方策について」(審議まとめ)</p>

2024年(令和6年)

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>1.1 「全学副専攻プログラムに関する規程」制定</p> <p>1.12 大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」(2023年度)に採択「拠点都市プラットフォーム共創支援」</p> <p>1.16 学生・教職員を対象にHPVワクチンキャッチアップ接種を実施(～1.17) ※この後、2回目を3月中旬、3回目を7月中旬に実施</p> <p>1.19 学長選考に係る学内意向聴取実施</p> <p>1.25 学長選考・監察会議、横手幸太郎副学長・医学部附属病院長を次期学長に選考</p> <p>1.25 「学長となるべき者の決定について」記者発表およびホームページに掲載</p> <p>2.7 学長選考・監察会議議長名で「学長となるべき者の選考について」をホームページに掲載</p> <p>3.12 大栗真宗教授(先進科学センター)および清野宏卓越教授(未来医療教育研究機構)、日本学士院賞を受賞</p> <p>3.14 学長選考・監察会議議長名で「学長となるべき者の選考理由等について」をホームページに掲載</p> <p>3.21 経営協議会で、「千葉大学は2016年度</p>	<p>1.1 令和6年能登半島地震</p> <p>1.2 新年一般参賀取りやめ</p> <p>1.2 羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突</p> <p>1.8 東京目白台の元内閣総理大臣・田中角栄旧邸が全焼</p> <p>1.20 宇宙航空研究開発機構(JAXA)は月面探査機「SLIM」が月面着陸に成功したと発表</p> <p>1.31 「高等学校卒業程度認定試験規則」改正(2026.4.1施行) ※高等学校卒業程度認定試験科目に「情報」を追加</p> <p>2.15 内閣府、2023年の日本の名目GDPがドイツに抜かれ世界4位に後退したと発表</p> <p>2.20 日本経済団体連合会「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に向けた提言―高度専門人材が牽引する新たな日本の経済社会の創造―」発表</p> <p>2.27 政府は2024年問題への対応のため高速道路でのトラックの最高速度を時速90kmに引き上げる政令案を閣議決定</p> <p>3.12 古川聡宇宙飛行士が搭乗するクルードラゴン宇宙船7号機がミッションを終え、フロリダ沖に着水帰還</p> <p>3.16 北陸新幹線、金沢―敦賀間開業</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>入試から2024年度入試まで9年連続で一般選抜志願者数が国立大学で1位」と報告</p> <p>3.21 次世代研究者挑戦的研究プログラムに採択「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」</p> <p>3.22 令和5年度千葉大学卒業式および千葉大学大学院修了式・学位記授与式を合同で開催（千葉ポートアリーナ）</p> <p>3.31 各種学生保険が整備・拡充されたことから「学生保健互助会」を解散 ※1954年4月に「学生健康保険組合」として設立、1994年5月に「学生保健互助会」に改称</p> <p>4.1 横手幸太郎、第16代学長に就任</p> <p>4.1 情報・データサイエンス学部（情報・データサイエンス学科：データサイエンスコース、情報工学コース）を設置 ※工学部総合工学科の情報工学コースを発展的に解消</p> <p>4.1 大学院情報・データサイエンス学府（情報・データサイエンス専攻／後期3年博士課程）を設置 ※大学院融合理工学府（博士後期課程）の数学情報科学専攻情報科学コースおよび創成工学専攻イメージング科学コースを発展的に解消</p> <p>4.1 研究組織として大学院情報学研究院を設置</p> <p>4.1 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に博士前期課程を設置</p> <p>4.1 ソーシャル・デザイン・インスティテュートを設置</p> <p>4.1 医学部附属病院にリプロダクション支援センターを設置</p> <p>4.1 事務局に経営基盤強化推進チームを設置</p> <p>4.1 西千葉地区事務部の教員養成系学務課を教員養成系総務・学務課に改組</p> <p>4.1 「バンチプログラムに関する規程」制定</p> <p>4.1 令和5年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業（補正予算事業）－ASEAN諸国からの留学生受入、定着促進のためのシステム構築等支援－」に採択「ESG Sustainable Strategy」</p> <p>5.1 NEXT Decennium研究戦略推進本部を設置</p> <p>5.24 NEDO先導研究プログラムに採択「低</p>	<p>3.19 日本銀行は金融政策決定会合で、マイナス金利政策を解除し、17年ぶりに金利を引き上げることを決定</p> <p>3.30 小林製薬が製造した紅麹を含むサプリメントによる健康被害問題で、厚生労働省は同社工場に立入検査</p> <p>4.1 時間外労働の上限規制について、適用が猶予されていた建設業、運輸業、医師などへの適用開始 ※2024年問題</p> <p>4.1 相続登記の申請義務化</p> <p>4.3 台湾（花蓮）地震</p> <p>4.4 自民党、派閥の政治資金パーティをめぐる問題で議員39人の処分決定</p> <p>4.28 中央教育審議会の特別部会、教員の働き方をめぐり「危機的な状況」にあり社会全体で取り組むべきとする緊急提言</p> <p>5.17 「重要経済安保情報保護活用法」公布</p> <p>6.5 厚生労働省、2023年の人口動態統計（概数）を発表 ※出生数72万7,277人で過去最少、合計特殊出生率1.20で過去最低</p> <p>6.7 国立大学協会理事会「我が国の輝ける未来のために」声明公表 ※国立大学の財務状況の悪化に係る緊急声明</p> <p>7.3 新一万円紙幣（渋沢栄一）、新五千円紙幣（津田梅子）、新千円紙幣（北里柴三郎）発行</p> <p>8.27 中央教育審議会「「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について－全ての子供たちへのよりよい教育の実現を目指した、学びの専門職としての「働きやすさ」と「働きがい」の両立に向けて－」答申</p> <p>9.2 筑波大学マレーシア校開校（クアラルンプール）※海外で初めて日本の学位を授与する大学</p> <p>9.21 令和6年9月能登半島豪雨</p> <p>10.1 第1次石破茂内閣成立、阿部俊子、文部科学大臣に就任</p> <p>10.1 東京工業大学と東京医科歯科大学の2国立大学法人が統合し、国立大学法人東京科学大学が発足</p> <p>10.1 郵便料金値上げ ※定型郵便物84円・94円→110円、通常はがき63円→85円</p> <p>10.11 日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）、ノーベル平和賞受賞決定</p>

千葉大学関係	高等教育・社会一般
<p>温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセスの研究開発」</p> <p>5.30 次世代科学技術チャレンジプログラム（高校型）に採択「【ASCENT-6E】：Six Evolutions – Encourage, Enrich, Endeavor, Educate, Embody, Expand – of ASCENT program」</p> <p>6.3 アルティーマ千葉と包括的連携協定を締結</p> <p>6.11 記者懇談会を10年ぶりに開催 ※学長が運営費交付金削減に危機感を表明</p> <p>6.18 地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業に採択「地域に愛着をもち、「日本の縮図」千葉県教育課題に強い教員の養成」</p> <p>7.1 データサイエンスコアを設置</p> <p>7.1 「出資に関する規程」制定</p> <p>7.5 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) キックオフシンポジウム」に参加</p> <p>7.11 「オープンアクセス加速化事業」（令和5年度補正予算）に採択</p> <p>7.20 医学部・病院創立150周年記念式典</p> <p>8.1 医学部附属病院に次世代医療構想センターを設置</p> <p>9.11 「経済安全保障重要技術育成プログラム／有事に備えた止血剤製造技術の開発・実証」（NEDO）に採択された大型プロジェクトに参画</p> <p>9.24 「千葉大学DEIB (C-DEIB) 推進宣言」および「千葉大学DEIB (C-DEIB) 基本方針」を策定</p> <p>9.- 工学・情報学系講義棟竣工</p> <p>10.1 再生治療学研究センターを発展的に改組し、ヒト免疫疾患治療研究・開発センターを設置</p> <p>10.9 千葉市、ノボノルディスクファーマ株式会社と肥満および肥満対策に関する連携協定を締結</p> <p>10.22 「国立大学法人千葉大学ネーミングライツ基本方針」策定</p> <p>11.2 陸上競技場オープニングイベントを開催</p> <p>11.2 千葉大学創立75周年記念式典・講演会・祝賀会を開催</p>	<p>10.27 衆議院議員総選挙 ※自民党・公明党の連立与党が過半数割れし少数与党へ</p> <p>10.29 国連の女性差別撤廃委員会、日本政府に対して選択的夫婦別姓の導入や皇室典範の改正を求める勧告を公表</p> <p>11.8 東北大学、国際研究卓越大学の第1号に正式認定</p> <p>11.11 第2次石破茂内閣成立、阿部俊子、文部科学大臣に再任</p>